

令和 6 年度  
自転車等の安全利用（保険加入等）に関する調査報告書

令和 7 年 3 月  
東京都生活文化スポーツ局都民安全推進部  
総合推進課



# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1.調査の目的.....	2
2.調査実施方法.....	2
3.調査結果の見方.....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1.対象者の特性.....	4
2.自転車等の安全利用（保険加入、ヘルメット着用など）について.....	6
3.自転車等の点検整備について.....	12
4.自転車の保険について.....	15
5.ヘルメット着用(自転車乗車中)の努力義務について.....	26
6.自転車ルール全般について.....	38
7.自転車の交通安全教育について.....	70
8.スマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」について.....	76
9.特定原付（電動キックボード等）について.....	80

## I 調査概要

## 1.調査の目的

東京都では、東京都内における自転車の安全利用を一層推進するため、平成 25 年 3 月、東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「東京都自転車条例」という。）を制定した。その後条例を改正し、令和 2 年 4 月 1 日から自転車利用者などに対して自転車損害賠償保険等への加入を義務付けた。

そこで、改正東京都自転車条例施行以降の東京都内の自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入率等を含め、東京都内の自転車利用者の自転車安全利用に関する状況を把握するため、調査を実施する。

## 2.調査実施方法

調査は以下の方法にて実施。

1.調査手法	インターネット調査
2.調査対象者	18～79 歳の都内在住の自転車利用者
3.有効回答数	区部 695 サンプル 市部 305 サンプル 計 1,000 サンプル
4.調査期間	令和 7 年 2 月 21 日(金)～2 月 26 日(水)
5.割付	東京都(住民基本台帳による東京都の世帯と人口 令和 6 年 1 月より)の区部と市町村部の居住人口構成から割付を実施

## 3.調査結果の見方

1) 結果（グラフおよび数表）は、パーセントで示しています。表示している「n」は、「number」の略であり、パーセントを計算するときの母数（回答者数）を示しています。

2) 算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

3) 回答された回答者や該当者がいない場合（0.0%）、数表では「-」と表記し、グラフでは数字表記を割愛しています。

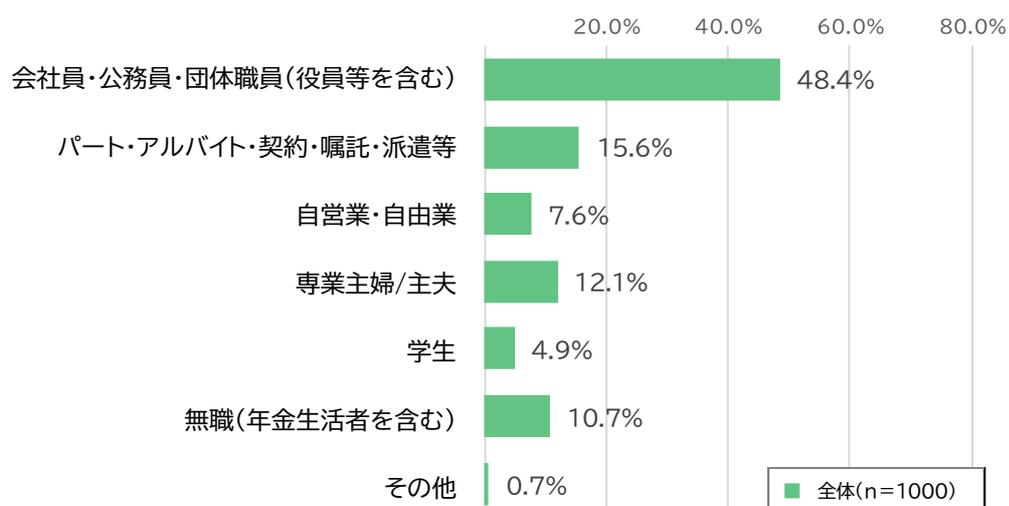
## II 調査結果

## 1.対象者の特性

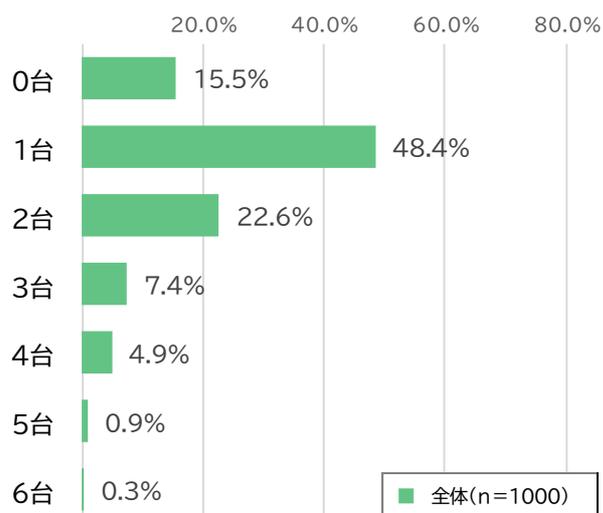
### 1. 性別・年代

上段:n数 下段:構成比(横%)		(n)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体		1000	20	157	166	193	201	133	130
		100.0%	2.0%	15.7%	16.6%	19.3%	20.1%	13.3%	13.0%
性別	男性	501	9	79	84	98	103	67	61
		100.0%	1.8%	15.8%	16.8%	19.6%	20.6%	13.4%	12.2%
女性	女性	499	11	78	82	95	98	66	69
		100.0%	2.2%	15.6%	16.4%	19.0%	19.6%	13.2%	13.8%

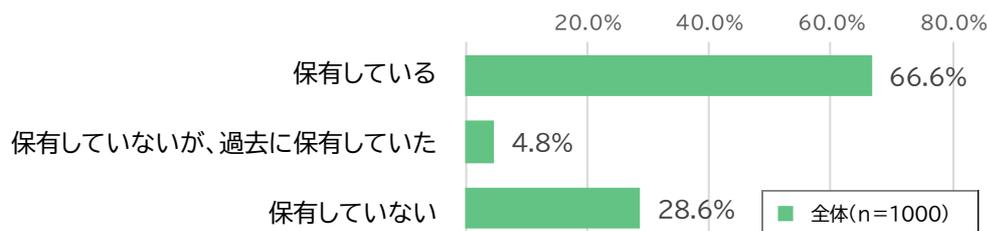
### 2. 職業



### 3. 自転車の保有台数



4. 自動車(原動付自転車含む)免許の保有状況



5. 居住地域

23区	(n)	構成比
千代田区	7	0.7%
中央区	6	0.6%
港区	13	1.3%
新宿区	32	3.2%
文京区	17	1.7%
台東区	17	1.7%
墨田区	22	2.2%
江東区	32	3.2%
品川区	32	3.2%
目黒区	25	2.5%
大田区	42	4.2%
世田谷区	76	7.6%
渋谷区	16	1.6%
中野区	17	1.7%
杉並区	40	4.0%
豊島区	16	1.6%
北区	27	2.7%
荒川区	16	1.6%
板橋区	46	4.6%
練馬区	56	5.6%
足立区	67	6.7%
葛飾区	32	3.2%
江戸川区	41	4.1%
23区計	695	69.5%

市町村	(n)	構成比
八王子市	37	3.7%
立川市	20	2.0%
武蔵野市	9	0.9%
三鷹市	21	2.1%
青梅市	7	0.7%
府中市	18	1.8%
昭島市	9	0.9%
調布市	18	1.8%
町田市	24	2.4%
小金井市	12	1.2%
小平市	11	1.1%
日野市	17	1.7%
東村山市	10	1.0%
国分寺市	17	1.7%
国立市	6	0.6%
福生市	2	0.2%
狛江市	5	0.5%
東大和市	10	1.0%
清瀬市	5	0.5%
東久留米市	11	1.1%
武蔵村山市	4	0.4%
多摩市	6	0.6%
稲城市	7	0.7%
羽村市	4	0.4%
あきる野市	3	0.3%
西東京市	10	1.0%
瑞穂町	1	0.1%
日の出町	1	0.1%
市町村計	305	30.5%

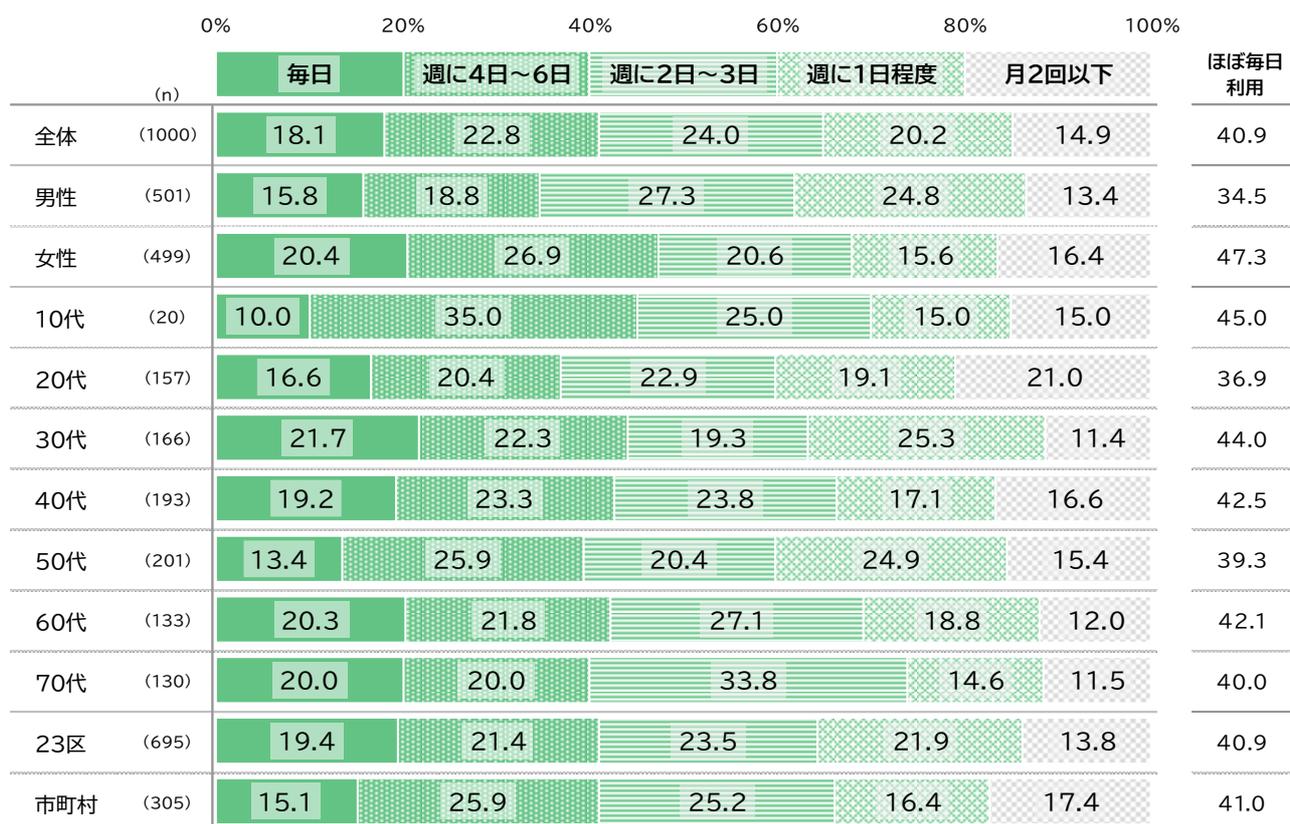
## 2. 自転車等の安全利用（保険加入、ヘルメット着用など）について

Q1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。(単一回答)

自転車利用の頻度について、「毎日」「週に4日～6日」を合わせた『ほぼ毎日自転車を利用している人』は40.9%となっています。

性別にみると『ほぼ毎日自転車を利用している人』は男性が34.5%、女性が47.3%となり、女性のほうが12.8ポイント高くなっています。

年代別ではどの年代においても『ほぼ毎日自転車を利用している人』が約4割となっています。

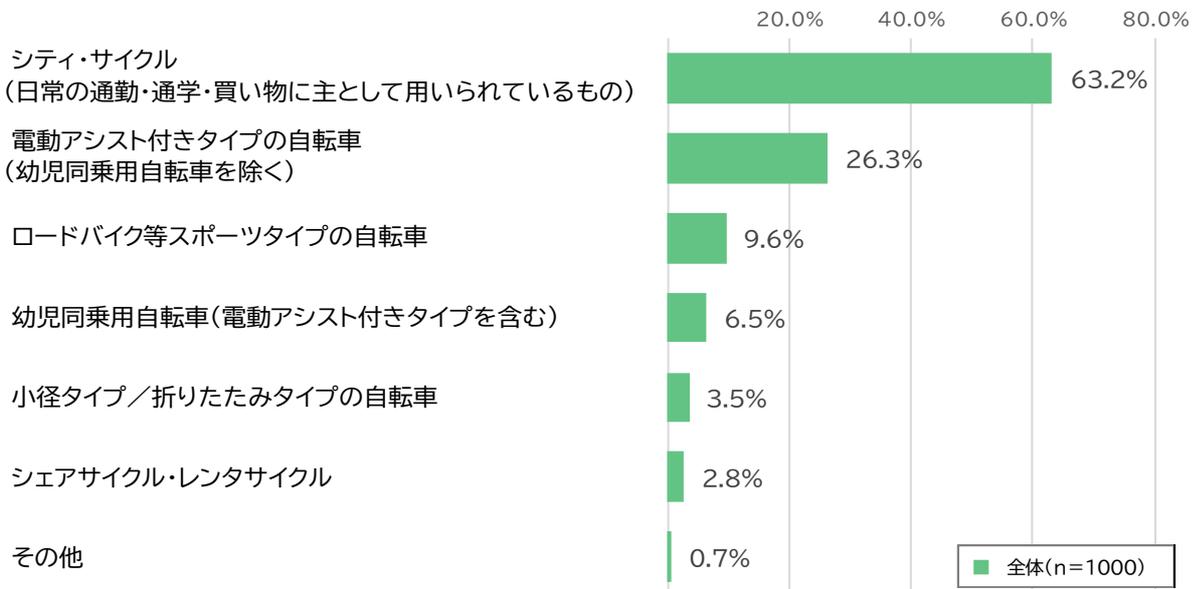


※ ほぼ毎日自転車を利用している人＝「毎日」＋「週に4日～6日」

## Q2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

## (1)全体

普段利用している自転車について、「シティ・サイクル」が63.2%と最も高く、次いで「電動アシスト付きタイプの自転車」が26.3%、「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」が9.6%となっています。



## ●その他の内容

- ・その他、特になし(5件)など

Q2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

(2)属性別

普段利用している自転車について、性別にみると「シティ・サイクル」は男性が62.7%、女性が63.7%となり、男女間で大きな差は見られません。

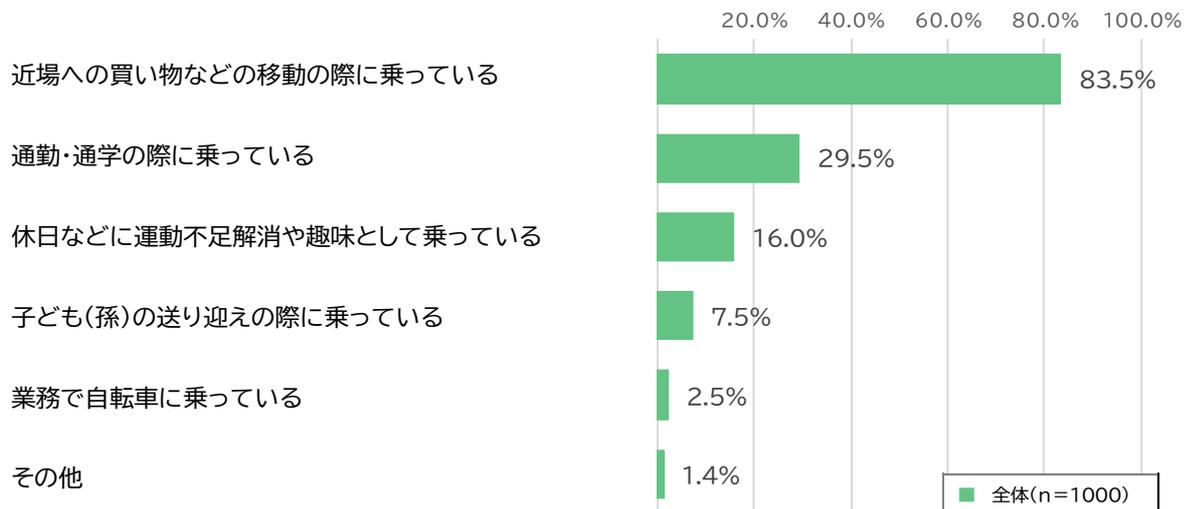
年代別にみると「シティ・サイクル」は10代が85.0%と最も高く、次いで70代が71.5%となっています。「電動アシスト付きタイプの自転車」は60代が32.3%と最も高く、次いで70代が30.0%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「幼児同乗用自転車」では30代が15.1%で最も高く、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			シ ティ ・ サイ クル (日 常 の 通 勤 ・ 通 学 ・ 買 い 物 に 主 と し て 用 い ら れ て い る も の)	電 動 ア シ ス ト 付 き タ イ プ の 自 転 車 (幼 児 同 乗 用 自 転 車 を 除 く)	ス ロ ー ド ツ バ イ ク の 自 転 車	幼 児 同 乗 用 自 転 車 (電 動 ア シ ス ト 付 き タ イ プ を 含 む)	折 り た た み タ イ プ の 自 転 車	シ エ ア サイ クル ・ レ ン タ サイ クル	そ の 他
	(n)								
全体	(1000)	63.2	26.3	9.6	6.5	3.5	2.8	0.7	
性別	男性 (501)	62.7	23.8	15.8	3.8	5.4	3.6	0.8	
	女性 (499)	63.7	28.9	3.4	9.2	1.6	2.0	0.6	
年代	10代 (20)	85.0	5.0	10.0	-	5.0	5.0	-	
	20代 (157)	59.9	21.0	12.7	10.2	3.8	7.0	-	
	30代 (166)	55.4	25.9	13.3	15.1	1.8	4.8	0.6	
	40代 (193)	58.5	28.5	9.3	10.4	3.1	2.6	1.0	
	50代 (201)	69.2	24.4	7.0	2.0	5.0	1.5	0.5	
	60代 (133)	63.2	32.3	9.0	-	4.5	-	0.8	
	70代 (130)	71.5	30.0	6.2	-	2.3	-	1.5	
地域	23区 (695)	62.9	27.8	9.2	6.3	3.6	2.7	0.9	
	市町村 (305)	63.9	23.0	10.5	6.9	3.3	3.0	0.3	

Q3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

(1)全体

自転車利用の主な目的について、「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が83.5%と最も高く、次いで「通勤・通学の際に乗っている」が29.5%、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が16.0%となっています。



●その他の内容

- ・通院(3件)など

Q3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

(2)属性別

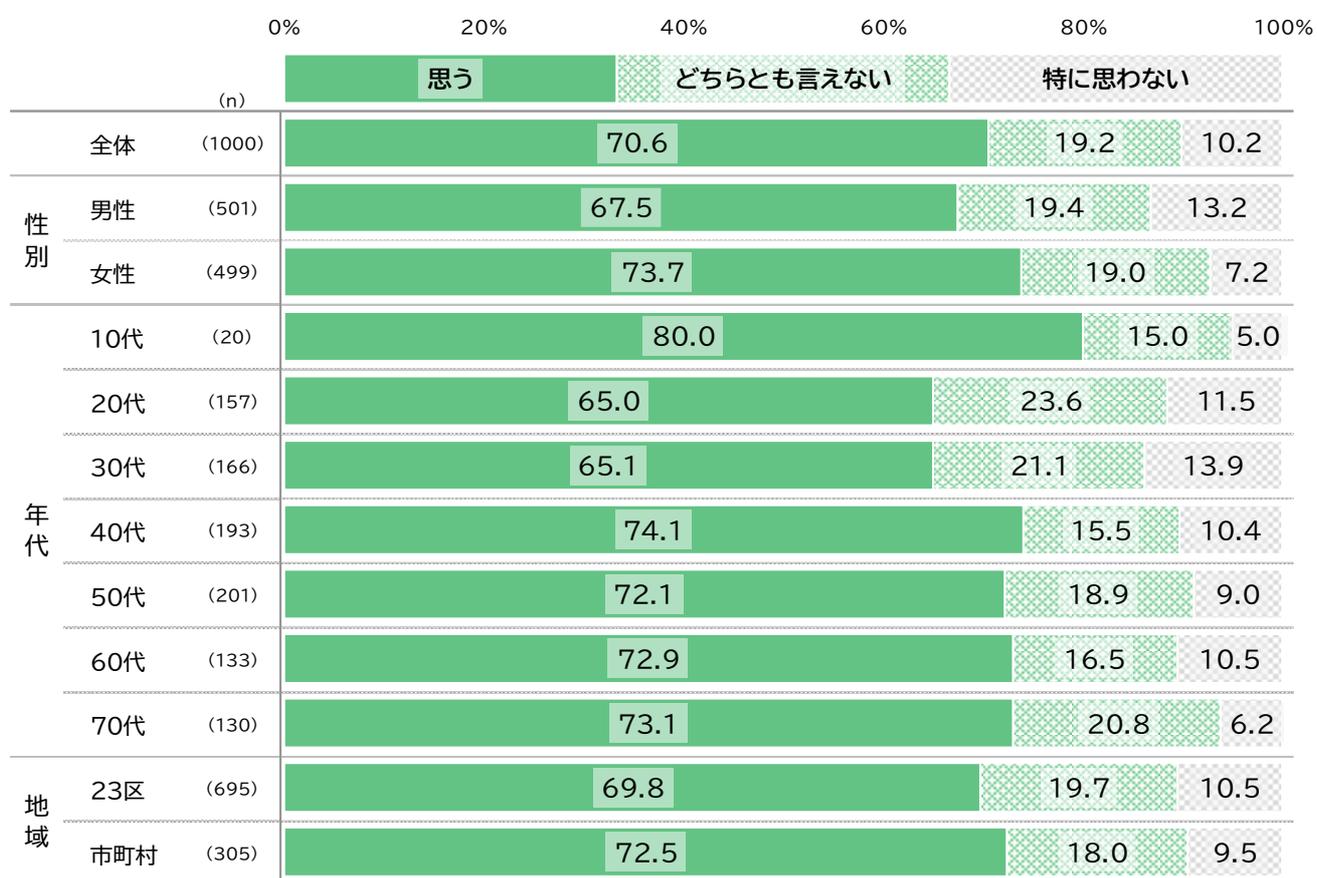
自転車利用の主な目的について、性別にみると「近場への買い物などの移動の際に乗っている」は男性が80.0%、女性が87.0%となり、女性のほうが7.0ポイント高くなっています。

年代別にみると「近場への買い物などの移動の際に乗っている」は70代が94.6%と最も高く、次いで60代の88.0%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「通勤・通学の際に乗っている」は10代が70.0%となり、突出して高い結果となっています。「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」は30代が17.5%、40代が15.5%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			近場への買い物などの移動の際に乗っている	通勤・通学の際に乗っている	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	業務で自転車に乗っている	その他
	(n)							
	全体	(1000)	83.5	29.5	16.0	7.5	2.5	1.4
性別	男性	(501)	80.0	28.3	22.4	6.6	2.4	1.4
	女性	(499)	87.0	30.7	9.6	8.4	2.6	1.4
年代	10代	(20)	60.0	70.0	20.0	-	-	-
	20代	(157)	72.0	39.5	18.5	4.5	2.5	-
	30代	(166)	77.7	37.3	17.5	17.5	3.6	1.2
	40代	(193)	86.5	32.6	18.7	15.5	2.6	1.0
	50代	(201)	86.6	26.9	12.4	4.0	2.0	1.0
	60代	(133)	88.0	23.3	15.0	-	2.3	2.3
	70代	(130)	94.6	6.9	13.1	0.8	2.3	3.8
地域	23区	(695)	84.0	28.6	14.8	7.8	3.0	1.3
	市町村	(305)	82.3	31.5	18.7	6.9	1.3	1.6

Q4. 自転車を運転することには危険が伴うと思いますか。(単一回答)

自転車を運転することには危険が伴うかについて、「思う」とした回答は70.6%となっています。  
 性別にみると「思う」は男性が67.5%、女性が73.7%となり、女性のほうが6.2ポイント高くなっています。  
 年代別にみると40代以上では「思う」とした回答が7割を超えています。

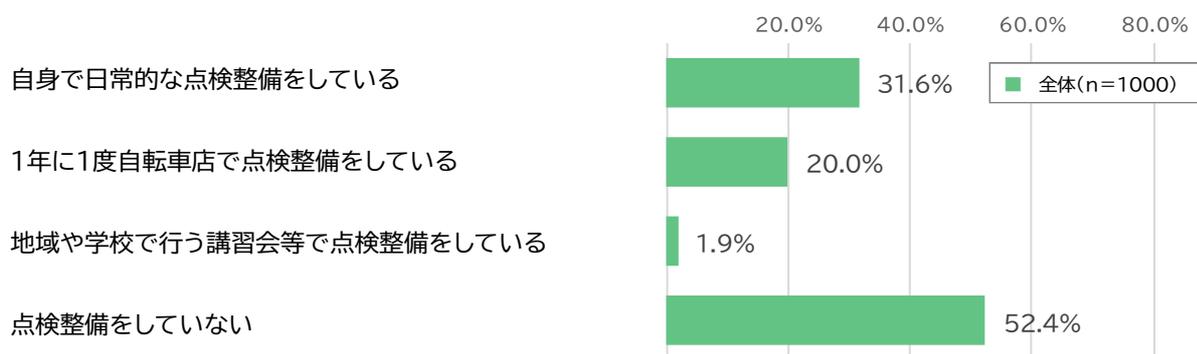


### 3. 自転車等の点検整備について

Q5. あなたは自転車の点検整備をしていますか。(複数回答)

(1) 全体

自転車の点検整備について、「自身で日常的な点検整備をしている」「1年に1度自転車店で点検整備をしている」「地域や学校で行う講習会等で点検整備をしている」との回答を合わせると53.5%となっています。一方で「点検整備をしていない」とした回答も52.4%となっており、ほぼ同程度の割合となっています。



Q5. あなたは自転車の点検整備をしていますか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の点検整備について、性別にみると「自身で日常的な点検整備をしている」は男性が36.1%、女性が27.1%となり、男性のほうが9.0ポイント高くなっています。

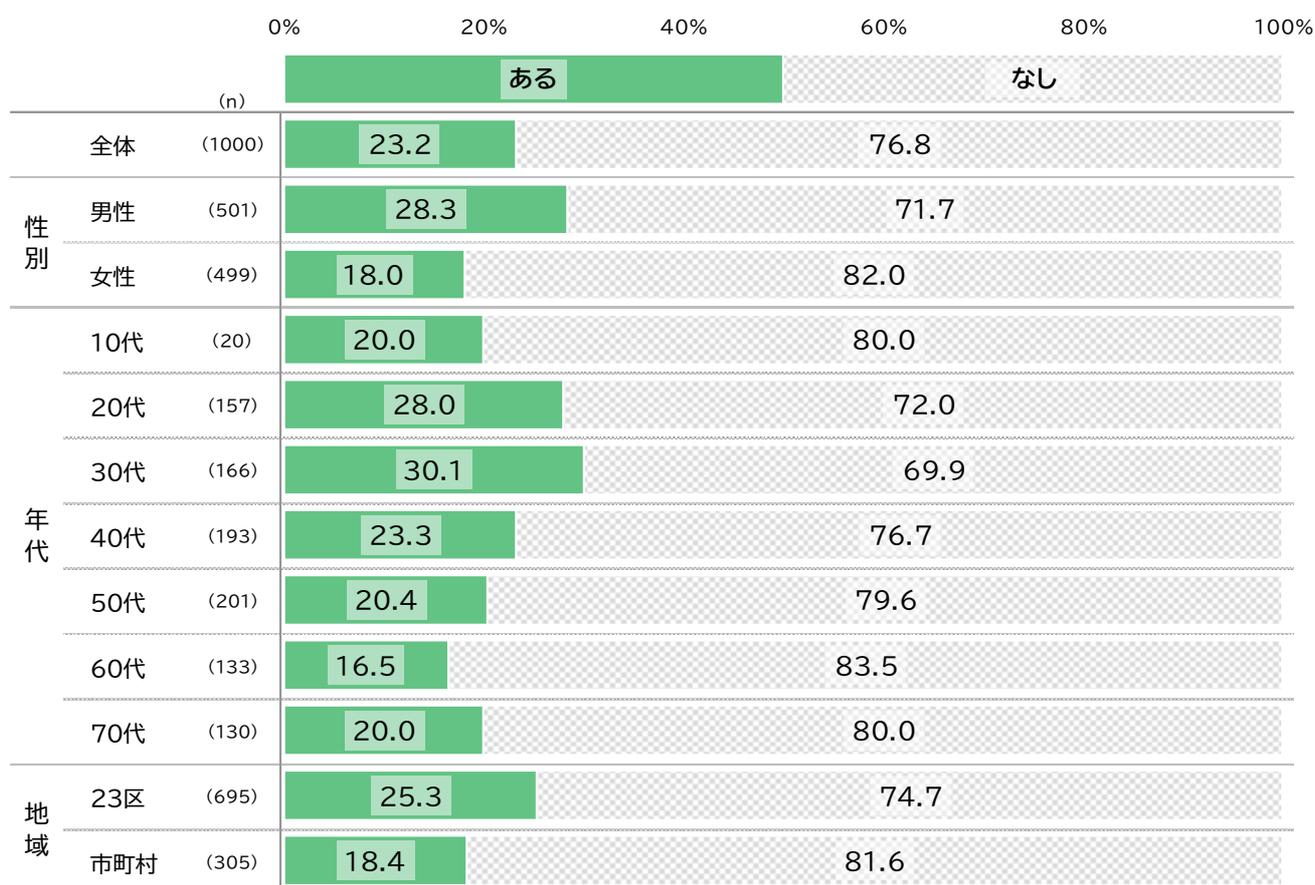
年代別にみると「自身で日常的な点検整備をしている」は70代が40.8%と最も高く、次いで60代が33.8%となっています。一方で10代では「点検整備をしていない」とした回答が80.0%となり、他の年代よりも高い結果となっています。

横%		点検整備を していない	自身で 日常的 に している	1年 に 1度 を して いる 自転車 店で	地域 や 学校 で 行う 講習 会 等 を して いる	点検 整備 を して いない
	(n)					
全体	(1000)	52.4	31.6	20.0	1.9	
性別	男性 (501)	46.9	36.1	21.4	2.2	
	女性 (499)	57.9	27.1	18.6	1.6	
年代	10代 (20)	80.0	15.0	5.0	-	
	20代 (157)	49.0	33.1	22.9	5.1	
	30代 (166)	50.0	31.9	23.5	4.2	
	40代 (193)	58.5	29.0	16.1	-	
	50代 (201)	61.7	26.9	15.9	0.5	
	60代 (133)	49.6	33.8	18.8	1.5	
	70代 (130)	34.6	40.8	27.7	0.8	
地域	23区 (695)	51.4	32.7	19.3	2.2	
	市町村 (305)	54.8	29.2	21.6	1.3	

Q6. 自転車の乗車中にブレーキの利きが悪かったり、ライトが点灯しなかった等、故障・不具合が原因と思われる事故に遭った、または、事故に遭いそうになった経験はありますか。(単一回答)

故障・不具合が原因と思われる事故に遭った、または、事故に遭いそうになった経験について、「ある」とした回答は23.2%となっています。

性別にみると「ある」は男性が28.3%、女性が18.0%となり、男性のほうが10.3ポイント高く、年代別にみると30代が30.1%と最も高く、次いで20代が28.0%となっています。最も低いのは60代の16.5%となっています。

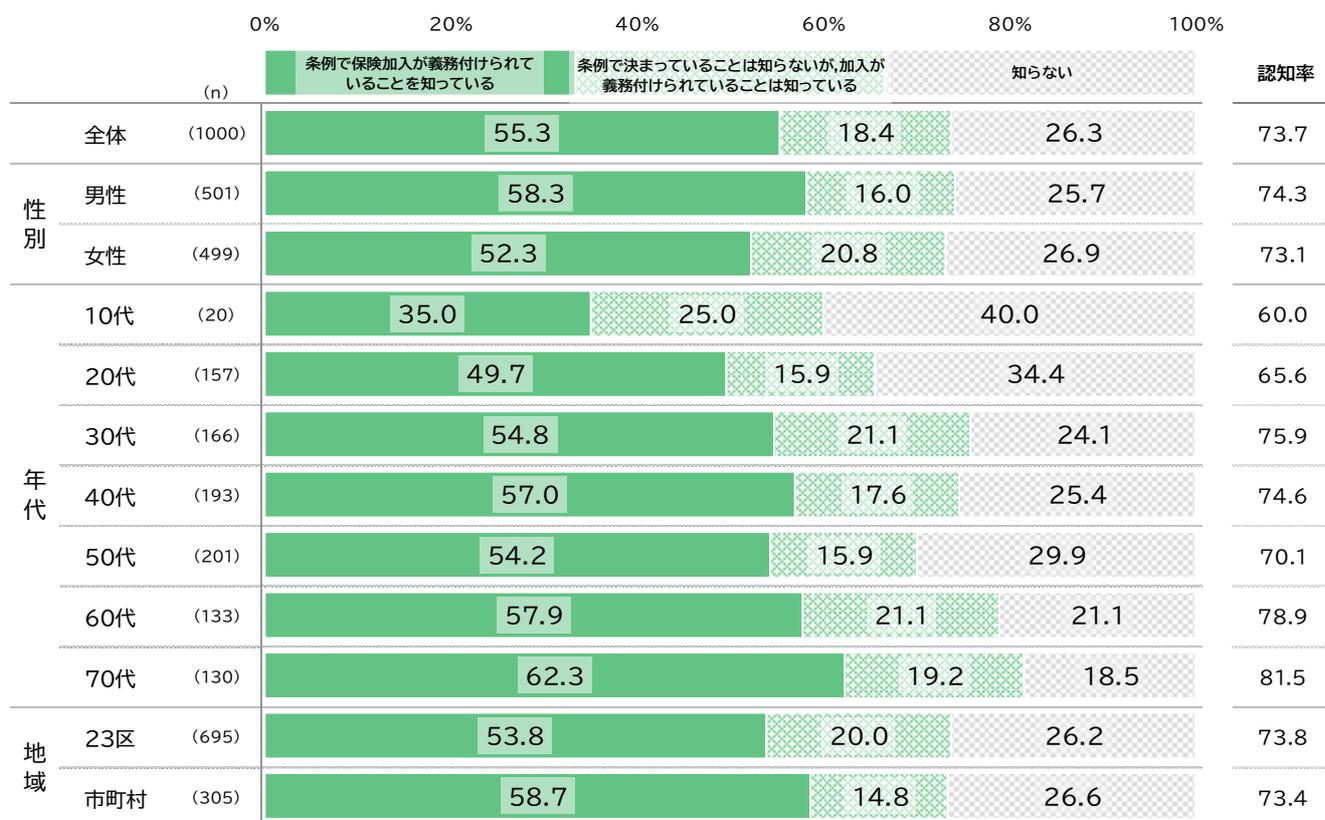


## 4. 自転車の保険について

Q7. あなたは条例において、自転車利用中の事故により、他人にケガをさせてしまった場合などの損害を賠償できる保険等への加入が義務付けられていることを知っていますか。(単一回答)

自転車損害賠償保険等への加入義務の認知について、「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」が55.3%、「条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている」が18.4%となり、『認知率』は73.7%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が74.3%、女性が73.1%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が81.5%と最も高く、次いで60代が78.9%となっています。一方で「知らない」は10代が40.0%で最も高く、次いで20代の34.4%となっています。

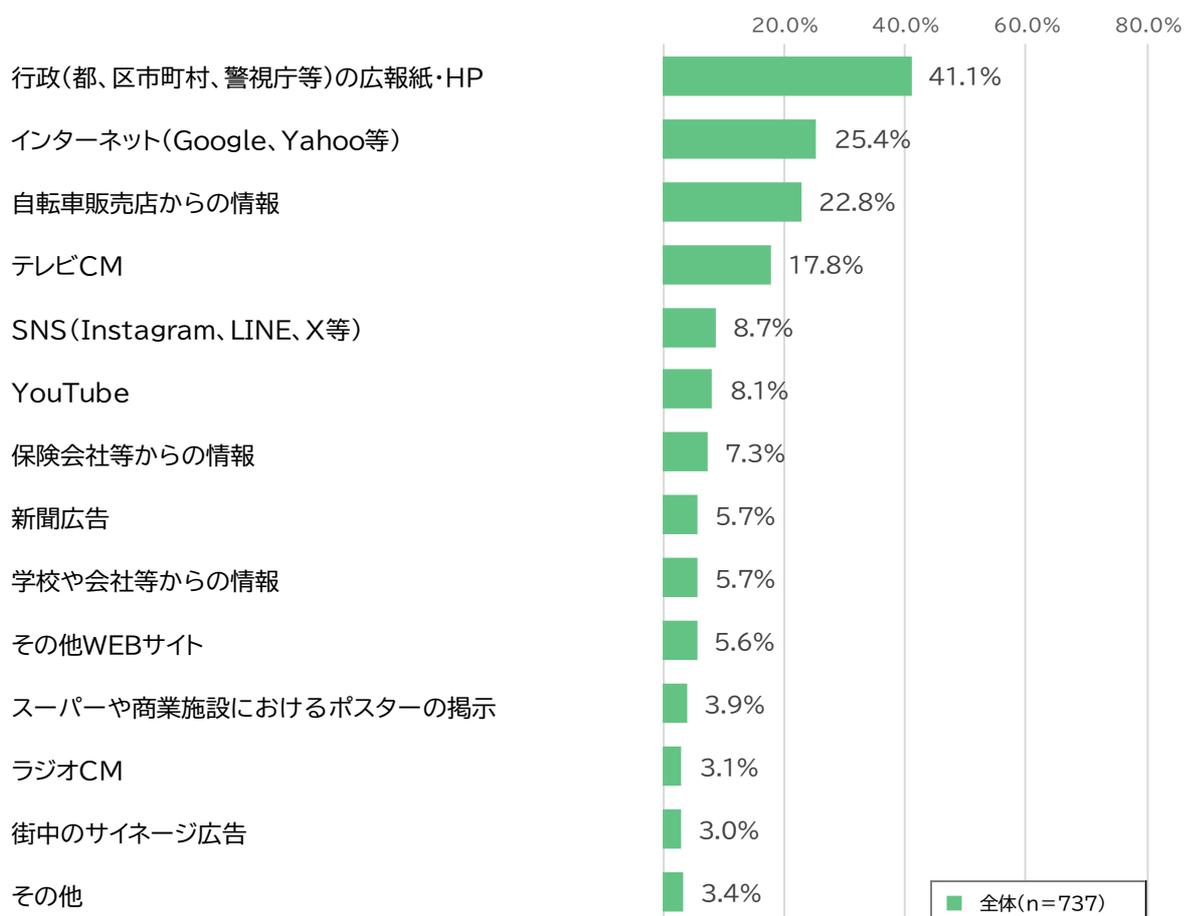


※ 認知率＝「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」＋「条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている」

Q8. あなたは条例において、自転車保険への加入が義務化されていることをどこで知りましたか。(複数回答)  
 <Q7で、「加入が義務付けられていることを知っている」とした回答者が対象=737人>

(1)全体

自転車保険への加入が義務化されていることを知った情報源について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が41.1%と最も高く、次いで「インターネット（Google、Yahoo等）」が25.4%、「自転車販売店からの情報」が22.8%となっています。



●その他の内容

- ・テレビ番組、テレビニュース(10件)など

Q8. あなたは条例において、自転車保険への加入が義務化されていることをどこで知りましたか。(複数回答)  
 <Q7で、「加入が義務付けられていることを知っている」とした回答者が対象=737人>

(2)属性別

自転車保険への加入が義務化されていることを認知した情報源について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が42.2%、女性が40.0%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は70代が54.7%と最も高く、次いで50代が46.1%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。一方で50代以下では「インターネット（Google、Yahoo等）」を情報源とする回答が3割前後となり、60代以上よりも高い結果となっています。また、30代以下では「SNS（Instagram、LINE、X等）」を情報源とするが他の年代よりも高いことが特徴です。

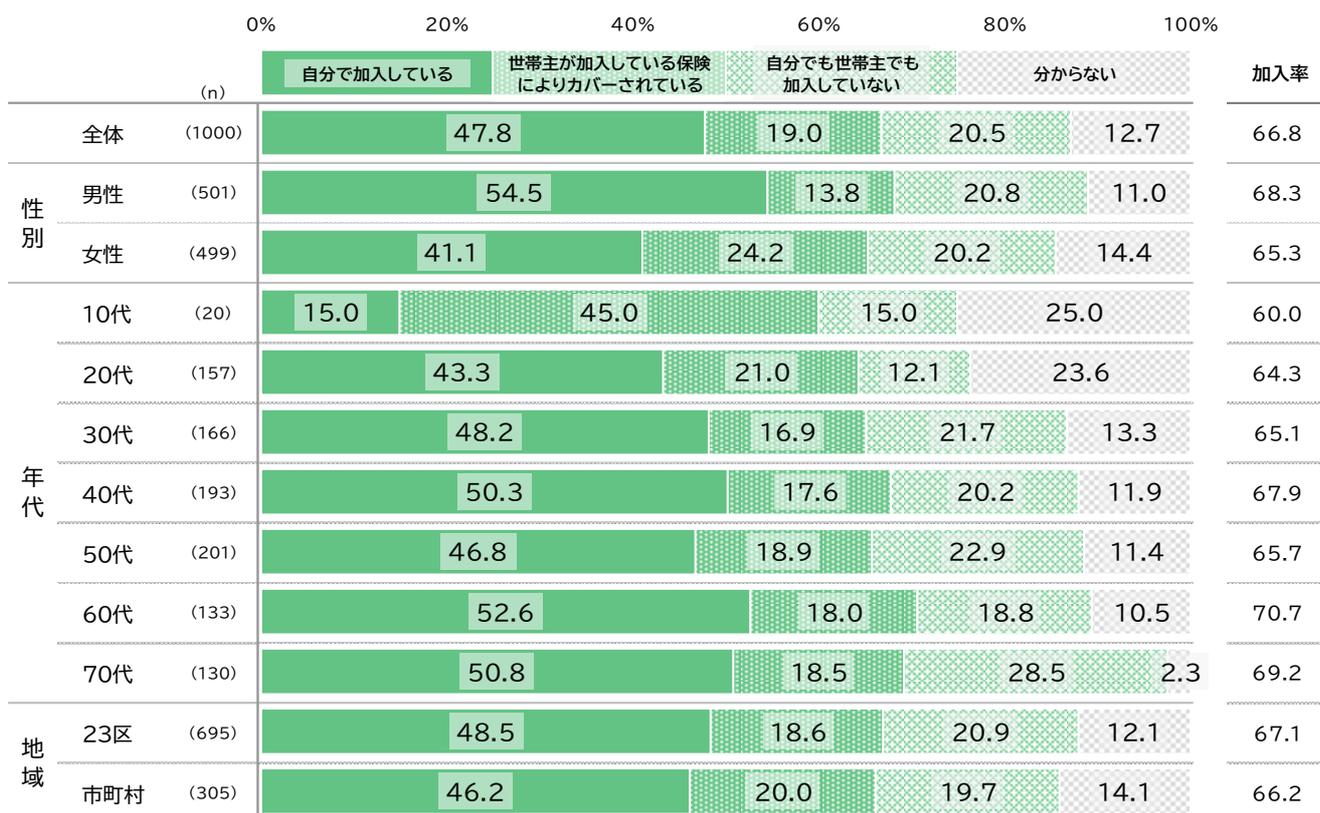
横%	(n)	行政 (都、 区市町村、 警視庁等) の広報紙・ HP	イン ター ネッ ト (G o o g l e、 Y a h o o 等)	自 転 車 販 売 店 か ら の 情 報	テ レ ビ C M	S N S (I n s t a g r a m、 L I N E、 X 等)	Y o u T u b e	保 険 会 社 等 か ら の 情 報	新 聞 広 告	学 校 や 会 社 等 か ら の 情 報	そ の 他 W E B サ イ ト	ス ー パ ー や 商 業 施 設 に お け る ポ ス タ ー の 掲 示	ラ ジ オ C M	街 中 の サ イ ネ ー ジ 広 告	そ の 他
全体	(737)	41.1	25.4	22.8	17.8	8.7	8.1	7.3	5.7	5.7	5.6	3.9	3.1	3.0	3.4
性別	男性 (372)	42.2	26.9	22.0	16.7	10.2	11.8	8.1	6.7	6.5	4.6	3.8	3.8	4.0	3.5
	女性 (365)	40.0	23.8	23.6	18.9	7.1	4.4	6.6	4.7	4.9	6.6	4.1	2.5	1.9	3.3
年代	10代 (12)	25.0	33.3	25.0	8.3	16.7	16.7	-	-	8.3	33.3	-	-	-	-
	20代 (103)	34.0	26.2	22.3	16.5	22.3	21.4	5.8	6.8	10.7	8.7	5.8	7.8	8.7	3.9
	30代 (126)	32.5	31.7	19.8	16.7	20.6	17.5	4.8	4.8	4.8	7.9	6.3	7.1	7.9	0.8
	40代 (144)	36.8	28.5	27.1	13.9	4.2	5.6	4.2	2.1	6.3	2.1	5.6	0.7	0.7	3.5
	50代 (141)	46.1	29.1	18.4	17.0	3.5	2.1	6.4	5.0	6.4	6.4	2.1	0.7	0.7	3.5
	60代 (105)	45.7	17.1	21.0	21.0	1.0	1.9	11.4	8.6	4.8	1.9	1.0	2.9	-	6.7
	70代 (106)	54.7	15.1	28.3	24.5	0.9	0.9	14.2	9.4	0.9	3.8	2.8	0.9	0.9	2.8
地域	23区 (513)	42.1	25.1	21.2	17.9	10.1	9.2	6.8	5.3	5.3	6.0	4.5	3.7	3.1	4.1
	市町村 (224)	38.8	25.9	26.3	17.4	5.4	5.8	8.5	6.7	6.7	4.5	2.7	1.8	2.7	1.8

Q9. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

自転車損害賠償保険等への加入状況について、「自分で加入している」が47.8%、「世帯主が加入している保険によりカバーされている」が19.0%となり、『加入率』は66.8%となっています。

性別にみると『加入率』は男性が68.3%、女性が65.3%となり、男性のほうが3.0ポイント高く、年代別にみると60代が70.7%と最も高く、次いで70代が69.2%となり、年代が上がるにつれて『加入率』が高い傾向が見られます。一方で「自分でも世帯主でも加入していない」では70代が28.5%で最も高く、「分からない」では10代の25.0%が最も高くなっています。



※ 加入率＝「自分で加入している」＋「世帯主が加入している保険によりカバーされている」

Q9. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。(単一回答)

(2)Q3. 自転車利用の主な目的/Q4. 自転車の危険性/Q7. 自転車損害賠償保険等への加入義務の認知でみた結果

自転車損害賠償保険等への加入状況について、自動車利用の主な目的別にみると「自分で加入している」は「業務で自転車に乗っている」が64.0%と最も高く、次いで「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が57.5%となっています。『加入率』では「子供(孫)の送り迎えの際に乗っている」が82.7%と最も高い結果となっています。

自転車運転における危険性の認識の差でみると「(自転車の運転に危険性が伴うと思う)」と回答した人の『加入率』は72.5%となり、「自分で加入している」も53.0%と半数に達しています。

自転車損害賠償保険等への加入義務の認知別にみると「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」の『加入率』は87.5%、「知らない」では26.6%となっています。加入義務の認知有無によって、『加入率』に大きな差が見られます。

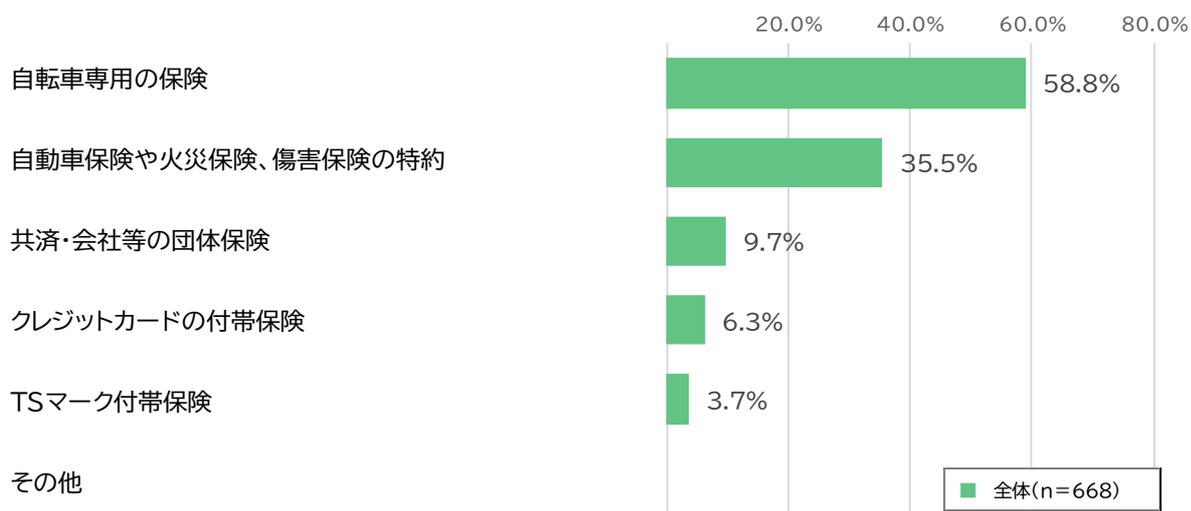
横%		(n)	自分で加入している	世帯主が加入している保険によりカバーされている	自分でも世帯主でも加入していない	分からない	加入率
	全体	(1000)	47.8	19.0	20.5	12.7	66.8
Q3 自転車利用目的	通勤・通学の際に乗っている	(295)	53.2	19.3	15.3	12.2	72.5
	近場への買い物などの移動の際に乗っている	(835)	48.9	18.8	21.4	10.9	67.7
	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	(75)	56.0	26.7	13.3	4.0	82.7
	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	(160)	57.5	13.8	16.9	11.9	71.3
	業務で自転車に乗っている	(25)	64.0	8.0	4.0	24.0	72.0
	その他	(14)	14.3	7.1	71.4	7.1	21.4
Q4 危険性	(自転車の運転に危険性が伴うと思う)	(706)	53.0	19.5	18.8	8.6	72.5
	どちらとも言えない	(192)	39.6	20.3	25.0	15.1	59.9
	特に思わない	(102)	27.5	12.7	23.5	36.3	40.2
Q7 認知	条例で保険加入が義務付けられていることを知っている	(553)	67.3	20.3	10.1	2.4	87.5
	条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている	(184)	34.2	27.7	27.7	10.3	62.0
	知らない	(263)	16.3	10.3	37.3	36.1	26.6

※ 加入率=「自分で加入している」+「世帯主が加入している保険によりカバーされている」

Q10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=668人>

(1)全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、「自転車専用の保険」が58.8%と最も高く、次いで「自動車保険や火災保険、傷害保険の特約」が35.5%となっています。



Q10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=668人>

(2)属性別

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、性別にみると「自転車専用の保険」は男性が59.1%、女性が58.6%となり、男女間で大きな差は見られません。

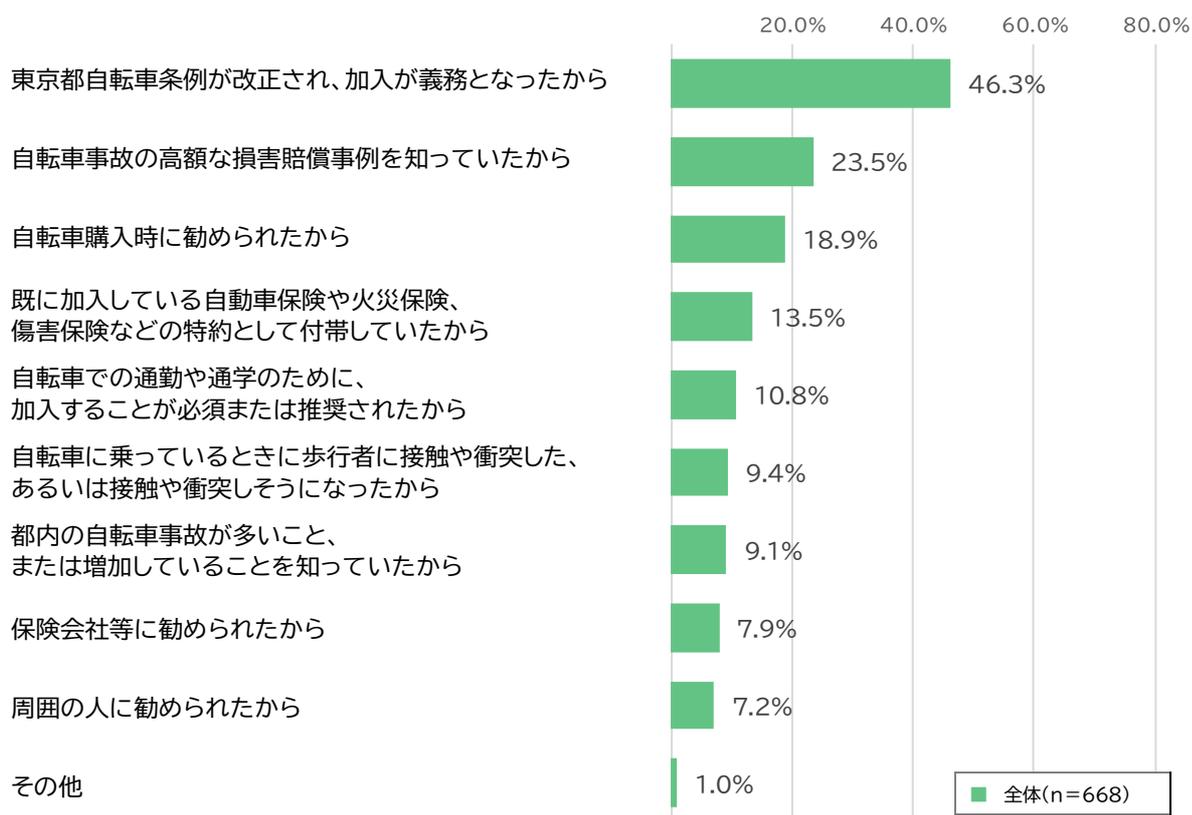
年代別にみると「自転車専用の保険」は10代が66.7%と最も高く、次いで40代が64.1%となっています。「共済・会社等の団体保険」「クレジットカードの付帯保険」「TSマーク付帯保険」では、20代・30代が他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			自転車専用の保険	傷害自動車保険の特約や火災保険、	共済・会社等の団体保険	クレジットカードの付帯保険	TSマーク付帯保険	その他
	(n)							
全体	(668)		58.8	35.5	9.7	6.3	3.7	-
性別	男性	(342)	59.1	36.0	9.6	6.7	5.0	-
	女性	(326)	58.6	35.0	9.8	5.8	2.5	-
年代	10代	(12)	66.7	50.0	8.3	-	-	-
	20代	(101)	62.4	26.7	16.8	12.9	7.9	-
	30代	(108)	60.2	35.2	12.0	10.2	7.4	-
	40代	(131)	64.1	35.9	3.8	5.3	2.3	-
	50代	(132)	51.5	42.4	7.6	3.0	2.3	-
	60代	(94)	56.4	33.0	9.6	3.2	2.1	-
	70代	(90)	57.8	35.6	11.1	4.4	1.1	-
地域	23区	(466)	59.7	34.1	10.7	7.5	3.2	-
	市町村	(202)	56.9	38.6	7.4	3.5	5.0	-

Q11. あなたが自転車損害賠償保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=668人>

(1)全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」が46.3%と最も高く、次いで「自転車事故の高額な損害賠償事例を知っていたから」が23.5%、「自転車購入時に勧められたから」が18.9%となっています。



●その他の内容

- ・衝突しそうになっていたのを見たから(1件)など

Q11. あなたが自転車損害賠償保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=668人>

(2)属性別

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、性別にみると「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」は男性が49.7%、女性が42.6%となり、男性のほうが7.1ポイント高くなっています。

年代別にみると「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」は40代が50.4%と最も高く、次いで60代が47.9%となっています。「自転車事故の高額な損害賠償事例を知っていたから」は70代が34.4%と最も高く、次いで40代が24.4%となっています。「自転車購入時に勧められたから」では、20代・30代が他の年代よりも高い結果となっています。

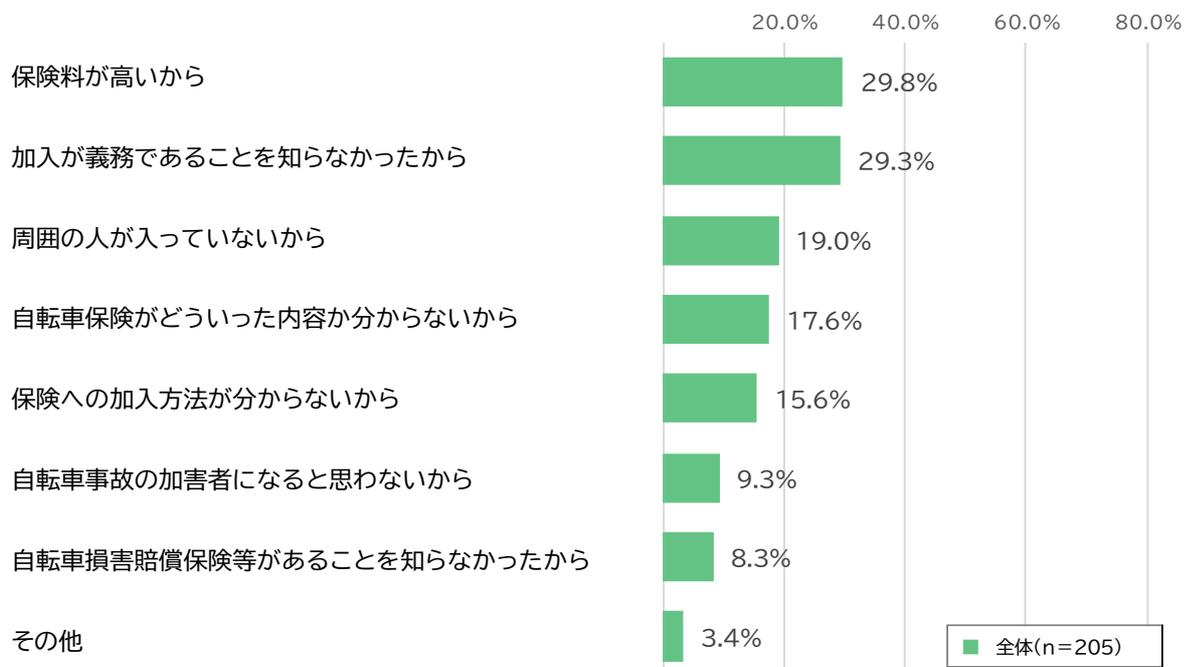
横%		加入が義務となったから	東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから	知っていたから	自転車事故の高額な損害賠償事例を知っていたから	自転車購入時に勧められたから	付帯していたから	既に加入している	保険に加入している	推奨されたから	加入されたから	自転車での通勤や通学のために、加入されたから	接触や衝突しそうなところから	接触や衝突した、あるいは歩行者に自転車で乗っていると	知っていたから	また増加していること、	都内の自転車事故が多いこと、	保険会社等に勧められたから	周囲の人に勧められたから	その他
	(n)																			
全体	(668)	46.3	23.5	18.9	13.5	10.8	9.4	9.1	7.9	7.2	1.0									
性別	男性 (342)	49.7	21.3	19.0	13.5	11.7	10.8	8.8	7.3	6.4	1.2									
	女性 (326)	42.6	25.8	18.7	13.5	9.8	8.0	9.5	8.6	8.0	0.9									
年代	10代 (12)	41.7	16.7	16.7	-	25.0	-	-	-	25.0	-									
	20代 (101)	46.5	20.8	24.8	6.9	21.8	11.9	10.9	13.9	11.9	1.0									
	30代 (108)	45.4	21.3	29.6	12.0	17.6	15.7	4.6	6.5	6.5	-									
	40代 (131)	50.4	24.4	17.6	12.2	9.2	6.9	8.4	7.6	6.9	-									
	50代 (132)	47.0	19.7	14.4	14.4	5.3	6.1	8.3	4.5	6.1	1.5									
	60代 (94)	47.9	23.4	9.6	16.0	6.4	7.4	10.6	7.4	5.3	3.2									
	70代 (90)	38.9	34.4	17.8	22.2	3.3	11.1	14.4	10.0	4.4	1.1									
地域	23区 (466)	46.1	23.4	19.1	13.7	11.4	10.3	9.4	8.6	7.5	1.3									
	市町村 (202)	46.5	23.8	18.3	12.9	9.4	7.4	8.4	6.4	6.4	0.5									

Q12. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。(複数回答)

<Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入していない」とした回答者が対象=205人>

(1)全体

自転車損害賠償保険等に加入していない理由について、「保険料が高いから」が29.8%と最も高く、次いで「加入が義務であることを知らなかったから」が29.3%、「周囲の人が入っていないから」が19.0%となっています。上位2つの理由は約3割となり、拮抗する結果となっています。



●その他の内容

- ・その他(5件)など

Q12. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。(複数回答)

<Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入していない」とした回答者が対象=205人>

(2)属性別

自転車損害賠償保険等に加入していない理由について、性別にみると「保険料が高いから」「加入が義務であることを知らなかったから」は男性・女性ともにそれぞれ約3割となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「保険料が高いから」は30代が44.4%と最も高く、次いで60代が36.0%となっています。「加入が義務であることを知らなかったから」は70代が35.1%と最も高く、次いで50代が34.8%となっています。「周囲の人が入っていないから」では30代・40代が他の年代よりも高い結果となっています。

横%		保険料が高いから	加入が義務であることを知らなかったから	周囲の人が入っていないから	自転車の保険がどういった内容から分からないから	保険への加入方法が分からないから	自転車事故の原因が加害者になると思わないから	自転車損害賠償保険等があることを知らなかったから	その他
(n)									
全体	(205)	29.8	29.3	19.0	17.6	15.6	9.3	8.3	3.4
性別	男性	(104) 29.8	29.8	14.4	21.2	16.3	12.5	9.6	3.8
	女性	(101) 29.7	28.7	23.8	13.9	14.9	5.9	6.9	3.0
年代	10代	(3) -	66.7	33.3	-	-	-	-	-
	20代	(19) 31.6	26.3	-	15.8	15.8	10.5	10.5	5.3
	30代	(36) 44.4	16.7	27.8	25.0	27.8	5.6	8.3	-
	40代	(39) 28.2	30.8	25.6	10.3	12.8	10.3	10.3	-
	50代	(46) 23.9	34.8	17.4	8.7	13.0	8.7	8.7	4.3
	60代	(25) 36.0	24.0	20.0	36.0	16.0	20.0	4.0	-
	70代	(37) 21.6	35.1	13.5	18.9	10.8	5.4	8.1	10.8
地域	23区	(145) 30.3	29.0	21.4	16.6	15.2	9.7	9.0	2.1
	市町村	(60) 28.3	30.0	13.3	20.0	16.7	8.3	6.7	6.7

※ 10代はサンプル数=3のため、コメントは記載していない

## 5.ヘルメット着用(自転車乗車中)の努力義務について

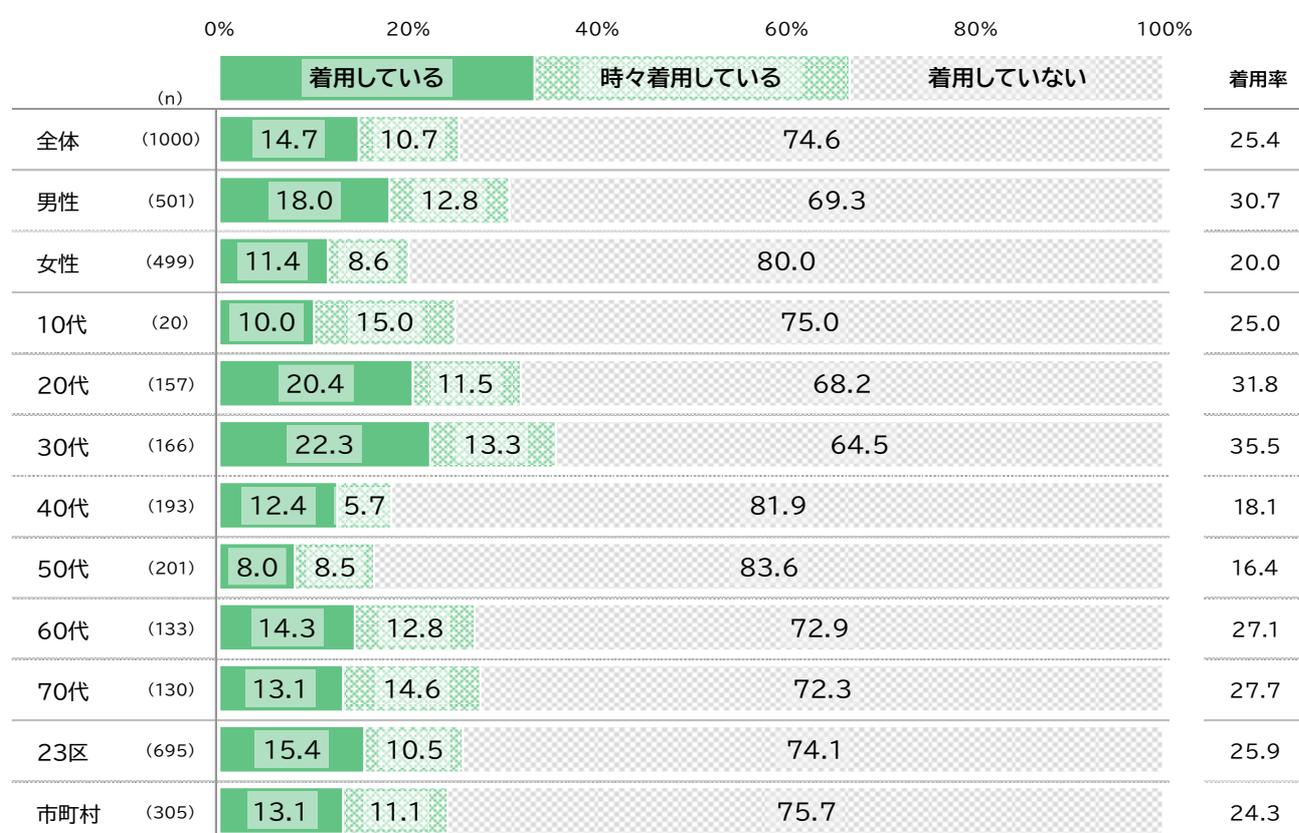
Q13. あなたは、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

自転車を利用する際にヘルメットを着用しているかについて、「着用している」が14.7%、「時々着用している」が10.7%となり、『着用率』は25.4%となっています。一方で「着用していない」は74.6%となっています。

性別にみると『着用率』は男性が30.7%、女性が20.0%となり、男性のほうが10.7ポイント高く、年代別にみると30代が35.5%と最も高く、次いで20代が31.8%となっています。

一方で「着用していない」では50代が83.6%と最も高く、次いで40代が81.9%となり、他の年代よりも高い結果となっています。



※ 着用率=「着用している」+「時々着用している」

Q13. あなたは、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。(単一回答)

(2)Q3. 自転車利用の主な目的/Q4. 自転車の危険性でみた結果

自転車を利用する際にヘルメットを着用しているかについて、自動車利用の主な目的別にみると「着用している」は「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が25.6%と最も高く、次いで「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」が22.7%となり、『着用率』はそれぞれ約4割となっています。

自転車運転における危険性の認識の差でみると「(自転車の運転に危険性が伴うと思う)」と回答した人の『着用率』は29.5%となっています。「特に思わない」では7.8%となり、1割に満たない結果となっています。

横%		着用している	時々着用している	着用していない	着用率
	(n)				
全体	(1000)	14.7	10.7	74.6	25.4
Q3 自転車利用目的	通勤・通学の際に乗っている	16.6	9.5	73.9	26.1
	近場への買い物などの移動の際に乗っている	12.8	10.1	77.1	22.9
	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	22.7	16.0	61.3	38.7
	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	25.6	13.8	60.6	39.4
	業務で自転車に乗っている	20.0	4.0	76.0	24.0
	その他	7.1	-	92.9	7.1
	Q4 危険性	(自転車の運転に危険性が伴うと思う)	18.1	11.3	70.5
	どちらとも言えない	7.8	12.0	80.2	19.8
	特に思わない	3.9	3.9	92.2	7.8

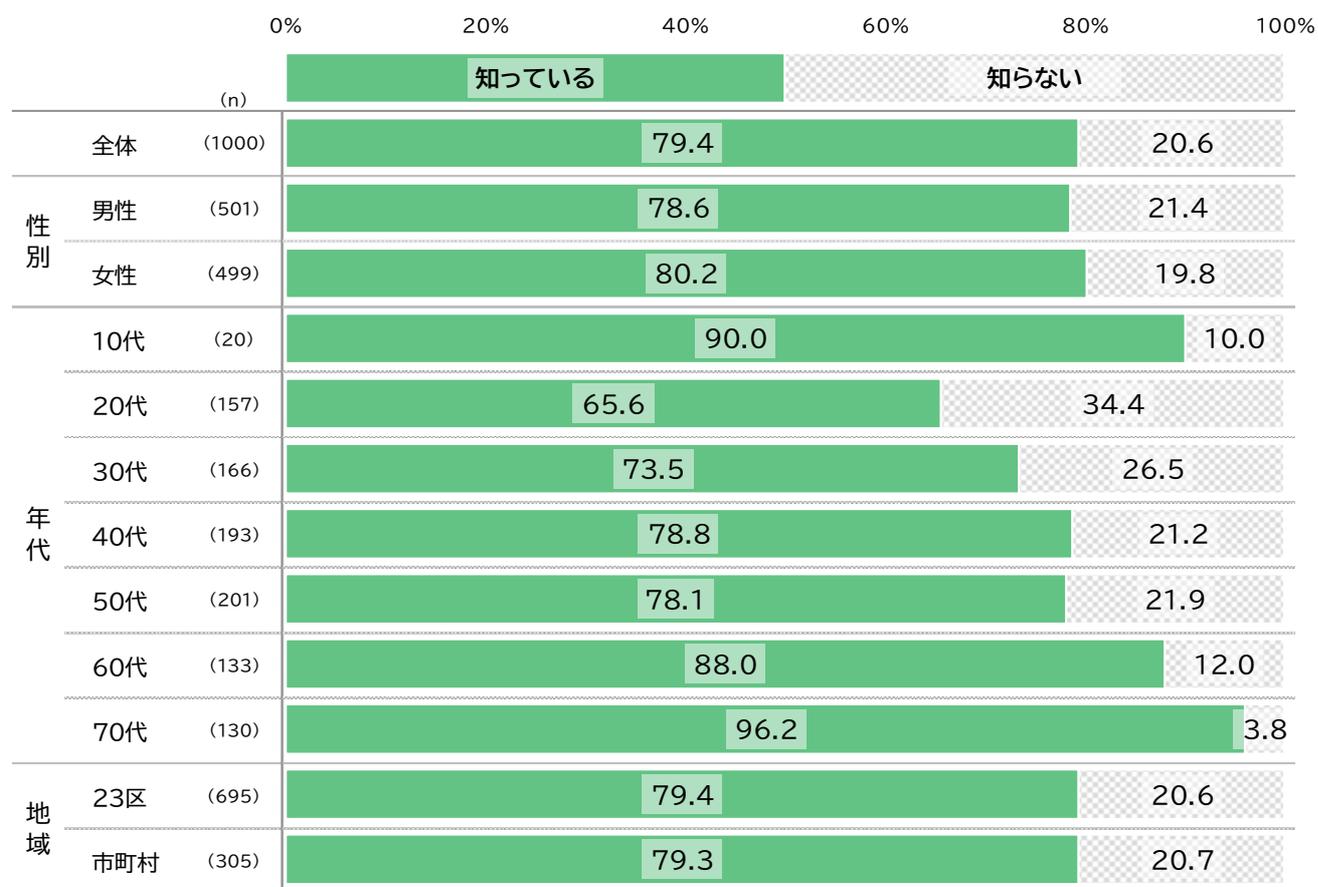
※ 着用率=「着用している」+「時々着用している」

Q14. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。(単一回答)

(1)全体/属性別

道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っているかについて、「知っている」とした回答が79.4%となっています。

性別にみると「知っている」は男性が78.6%、女性が80.2%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が96.2%と最も高く、次いで10代が90.0%となっています。20代以上では、年代が上がるにつれて認知率が高い傾向が見られます。一方で「知らない」が最も高いのは20代の34.4%となっています。



Q14. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。(単一回答)

(2)Q14. 努力義務(自転車ヘルメットの着用)の認知×Q13. 自転車利用時のヘルメット着用状況でみた結果

自転車ヘルメットの『着用率』について、努力義務（自転車ヘルメットの着用）の認知別にみると「（着用が努力義務であることを）知っている」と回答した人のヘルメット『着用率』は28.6%となっています。一方で「知らない」と回答した人の『着用率』は13.1%となっています。

横%		(n)	着用している	時々着用している	着用していない	着用率
全体		1000	14.7	10.7	74.6	25.4
Q1	(着用が努力義務であることを)知っている	794	17.5	11.1	71.4	28.6
Q4	(着用が努力義務であることを)知らない	206	3.9	9.2	86.9	13.1

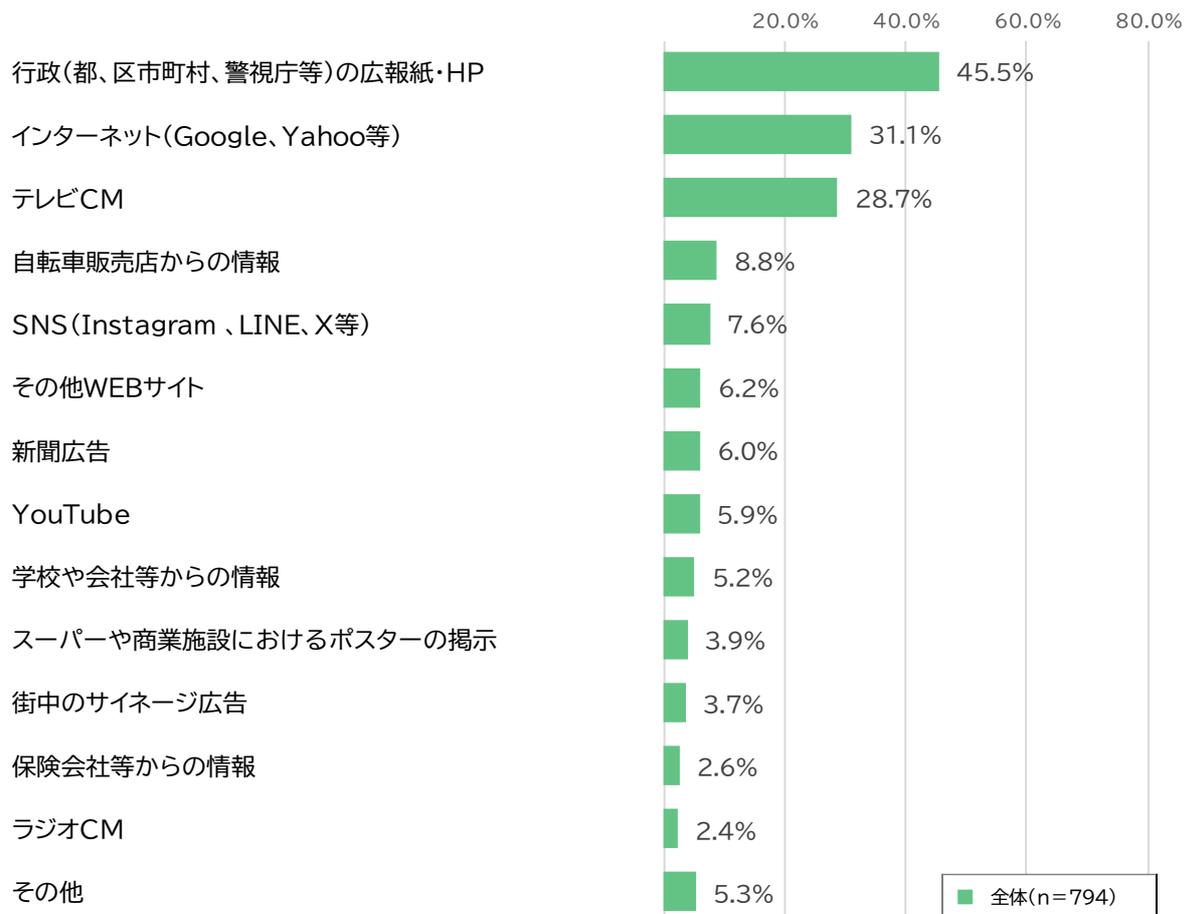
※ 着用率＝「着用している」＋「時々着用している」

Q15. あなたは道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることをどこで知りましたか。(複数回答)

<Q14で、「着用が努力義務であることを知っている」とした回答者が対象=794人>

(1)全体

道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知った情報源について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が45.5%と最も高く、次いで「インターネット（Google、Yahoo等）」が31.1%、「テレビCM」が28.7%となっています。行政を情報源とする回答が半数近くとなっています。



●その他の内容

- ・テレビニュース、テレビ番組(29件)など

Q15. あなたは道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることをどこで知りましたか。(複数回答)

<Q14で、「着用が努力義務であることを知っている」とした回答者が対象=794人>

(2)属性別

道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知った情報源について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が44.9%、女性が46.0%となり、男女間で大きな差は見られません。「インターネット（Google、Yahoo等）」では男性が38.3%、女性が24.0%となり、男性のほうが14.3ポイント高くなっています。

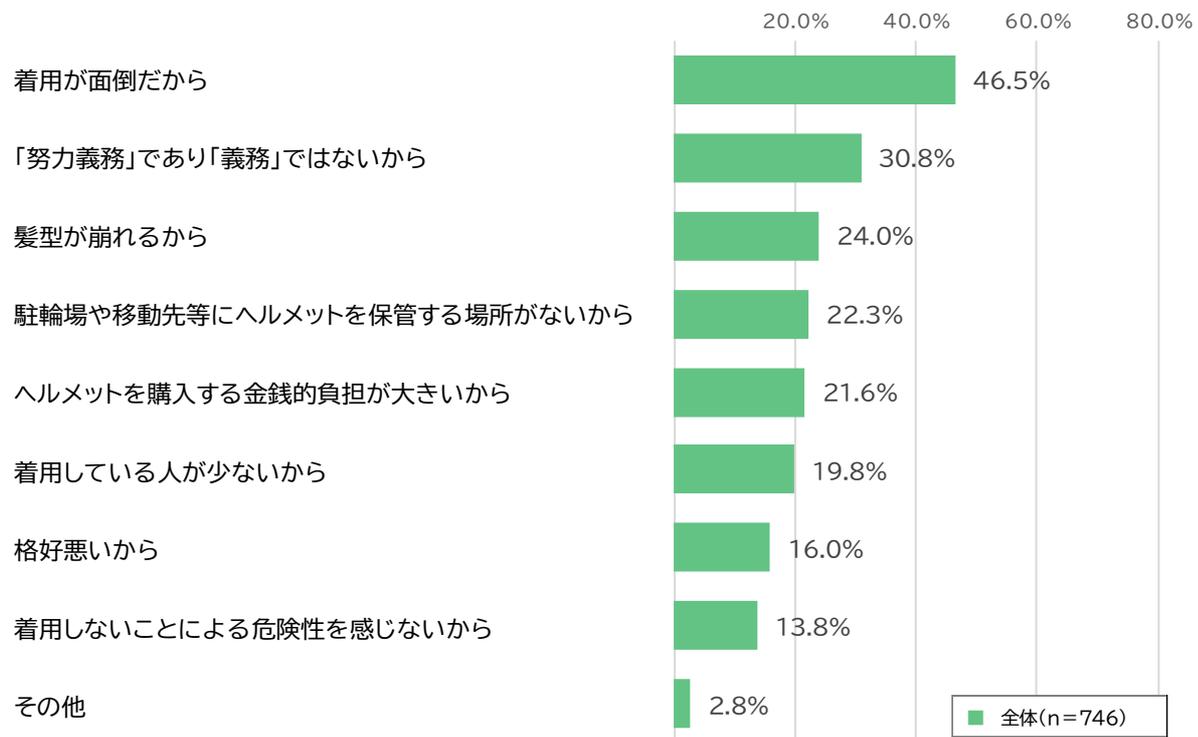
年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は70代が64.8%と最も高く、次いで50代が48.4%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。一方で50代以下では「インターネット（Google、Yahoo等）」を情報源とする回答が高くなり3割を超える結果となっています。また、30代以下では「SNS（Instagram、LINE、X等）」を情報源とするが他の年代よりも高いことが特徴です。

横%	(n)	行政 (都、 区市町村、 警視庁等) の広報紙・ HP	イン ター ネ ット (G o o g l e 、 Y a h o o 等)	テ レ ビ C M	自 転 車 販 売 店 か ら の 情 報	S N S (I n s t a g r a m 、 L I N E 、 X 等)	そ の 他 W E B サ イ ト	新 聞 広 告	Y o u T u b e	学 校 や 会 社 等 か ら の 情 報	ス ー パ ー や 商 業 施 設 に お け る ポ ス タ ー の 掲 示	街 中 の サ イ ネ ー ジ 広 告	保 険 会 社 等 か ら の 情 報	ラ ジ オ C M	そ の 他
全体	(794)	45.5	31.1	28.7	8.8	7.6	6.2	6.0	5.9	5.2	3.9	3.7	2.6	2.4	5.3
性別	男性 (394)	44.9	38.3	26.1	8.4	9.9	6.6	6.6	9.1	5.6	3.8	4.6	3.3	3.0	3.6
	女性 (400)	46.0	24.0	31.3	9.3	5.3	5.8	5.5	2.8	4.8	4.0	2.8	2.0	1.8	7.0
年代	10代 (18)	16.7	50.0	27.8	-	27.8	11.1	-	27.8	5.6	-	5.6	-	-	11.1
	20代 (103)	36.9	33.0	21.4	10.7	16.5	8.7	5.8	14.6	13.6	5.8	6.8	3.9	5.8	4.9
	30代 (122)	38.5	36.1	20.5	9.0	17.2	9.0	1.6	12.3	4.1	3.3	9.0	4.1	4.9	4.9
	40代 (152)	39.5	37.5	21.7	9.2	3.9	3.9	0.7	3.3	4.6	3.9	2.6	0.7	1.3	6.6
	50代 (157)	48.4	31.8	31.2	6.4	3.2	7.0	5.1	2.5	5.7	1.3	1.3	1.3	0.6	4.5
	60代 (117)	47.9	23.1	35.0	6.8	1.7	3.4	8.5	1.7	3.4	3.4	-	2.6	3.4	7.7
	70代 (125)	64.8	20.8	42.4	12.8	3.2	4.8	16.8	0.8	0.8	7.2	3.2	4.8	-	2.4
地域	23区 (552)	45.7	30.1	29.2	8.3	8.2	6.2	6.2	7.1	5.4	4.2	4.2	2.0	2.5	6.2
	市町村 (242)	45.0	33.5	27.7	9.9	6.2	6.2	5.8	3.3	4.5	3.3	2.5	4.1	2.1	3.3

Q16. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を教えてください。(複数回答)  
 <Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=746人>

(1)全体

自転車ヘルメットを着用していない理由について、「着用が面倒だから」が46.5%と最も高く、次いで「『努力義務』であり『義務』ではないから」が30.8%、「髪型が崩れるから」が24.0%となっています。



●その他の内容

- ・自転車にあまり乗っていないから(2件)など

Q16. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を教えてください。(複数回答)

<Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=746人>

(2)属性別

自転車ヘルメットを着用していない理由について、性別にみると「着用が面倒だから」は男性が54.2%、女性が39.8%となり、男性のほうが14.4ポイント高くなっています。「髪型が崩れるから」では男性が17.9%、女性が29.3%となり、女性のほうが11.4ポイント高くなっています。

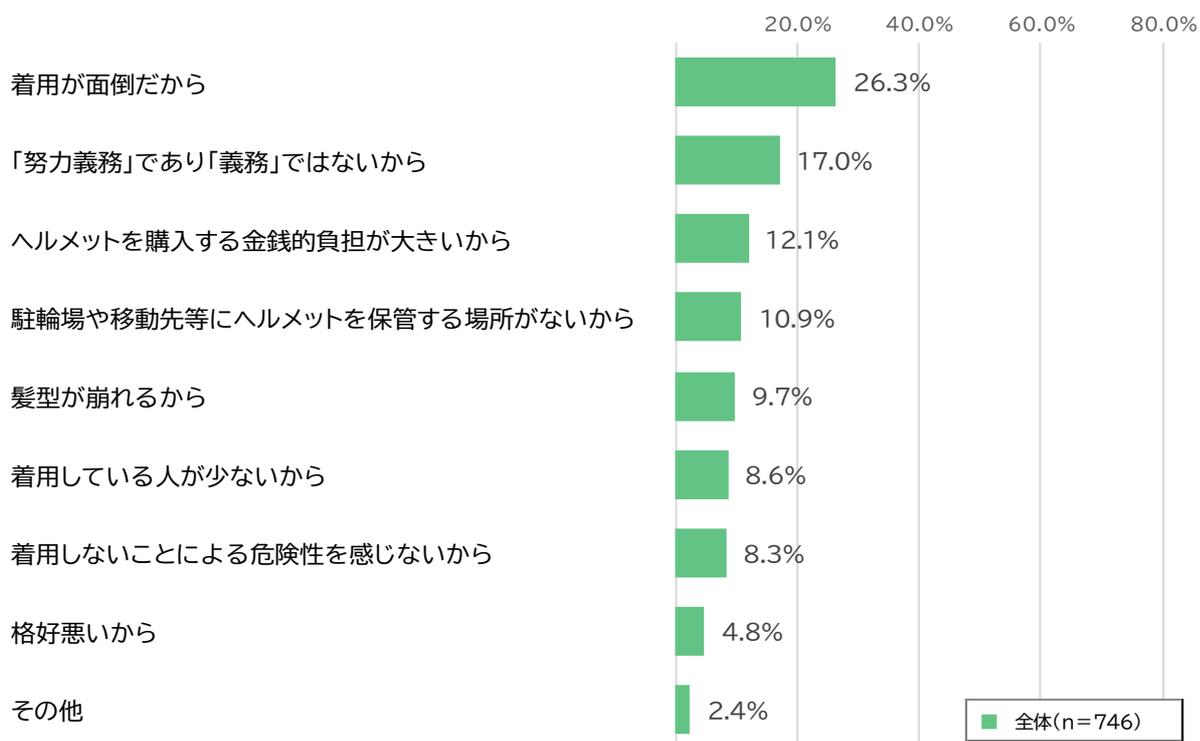
年代別にみると「着用が面倒だから」は10代が53.3%と最も高く、次いで20代が52.3%となっています。「『努力義務』であり『義務』ではないから」は70代が55.3%と最も高く、次いで10代が33.3%となっています。「着用している人が少ないから」では10代で46.7%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		着用が面倒だから	「努力義務」ではないから	髪型が崩れるから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	金銭的負担が大きいため購入しないから	着用している人が少ないから	格好悪いから	着用しないことによる危険性を感ぜないから	その他
	(n)									
全体	(746)	46.5	30.8	24.0	22.3	21.6	19.8	16.0	13.8	2.8
性別	男性 (347)	54.2	28.8	17.9	17.9	22.5	16.4	13.3	17.6	2.9
	女性 (399)	39.8	32.6	29.3	26.1	20.8	22.8	18.3	10.5	2.8
年代	10代 (15)	53.3	33.3	26.7	6.7	20.0	46.7	26.7	13.3	-
	20代 (107)	52.3	19.6	21.5	10.3	26.2	7.5	18.7	11.2	2.8
	30代 (107)	49.5	29.9	28.0	17.8	23.4	21.5	22.4	15.0	3.7
	40代 (158)	46.8	25.3	27.8	20.3	21.5	22.8	17.7	17.1	1.9
	50代 (168)	40.5	28.6	26.8	22.6	25.0	15.5	10.7	12.5	2.4
	60代 (97)	43.3	33.0	18.6	34.0	16.5	22.7	13.4	13.4	5.2
	70代 (94)	48.9	55.3	16.0	34.0	13.8	27.7	12.8	12.8	2.1
地域	23区 (515)	48.7	31.7	25.0	24.5	21.7	18.8	15.7	14.2	2.7
	市町村 (231)	41.6	29.0	21.6	17.3	21.2	22.1	16.5	13.0	3.0

Q17. あなたが自転車ヘルメットを着用していない最大の理由を教えてください。(単一回答)  
 <Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=746人>

(1)全体

自転車ヘルメットを着用していない最大の理由について、「着用が面倒だから」が26.3%と最も高く、次いで「『努力義務』であり『義務』ではないから」が17.0%、「ヘルメットを購入する金銭的負担が大きいから」が12.1%となっています。



●その他の内容

- ・自転車にあまり乗っていないから(2件)など

Q17. あなたが自転車ヘルメットを着用していない最大の理由を教えてください。(単一回答)

<Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=746人>

(2)属性別

自転車ヘルメットを着用していない最大の理由について、性別にみると「着用が面倒だから」は男性が34.9%、女性が18.8%となり、男性のほうが16.1ポイント高くなっています。「髪型が崩れるから」では男性が5.8%、女性が13.0%となり、女性のほうが7.2ポイント高くなっています。

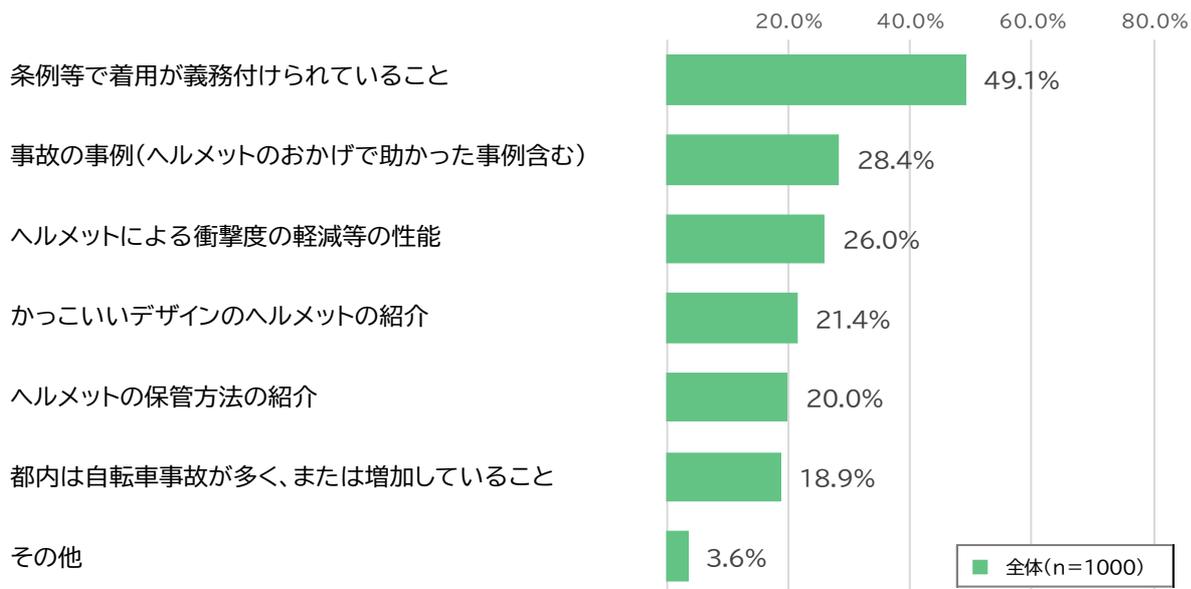
年代別にみると「着用が面倒だから」は10代が46.7%と最も高く、次いで20代が29.9%となっています。「『努力義務』であり『義務』ではないから」は70代が31.9%と最も高く、次いで30代が16.8%となっています。「着用している人が少ないから」では10代で26.7%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		着用が面倒だから	「努力義務」ではないから	金銭的負担が大きいから	ヘルメットを購入するから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	髪型が崩れるから	着用している人が少ないから	着用しないことによる危険性を感ぜないから	格好悪いから	その他
(n)											
全体	(746)	26.3	17.0	12.1	10.9	9.7	8.6	8.3	4.8	2.4	
性別	男性	(347)	34.9	16.1	12.1	7.5	5.8	6.6	11.2	3.5	2.3
	女性	(399)	18.8	17.8	12.0	13.8	13.0	10.3	5.8	6.0	2.5
年代	10代	(15)	46.7	6.7	6.7	-	-	26.7	6.7	6.7	-
	20代	(107)	29.9	13.1	22.4	4.7	9.3	1.9	6.5	10.3	1.9
	30代	(107)	25.2	16.8	10.3	6.5	10.3	11.2	6.5	9.3	3.7
	40代	(158)	23.4	14.6	8.9	10.1	13.9	12.7	9.5	5.1	1.9
	50代	(168)	26.2	16.1	17.3	12.5	11.3	4.2	8.9	1.8	1.8
	60代	(97)	24.7	14.4	6.2	17.5	9.3	10.3	13.4	-	4.1
	70代	(94)	26.6	31.9	5.3	16.0	1.1	9.6	4.3	3.2	2.1
地域	23区	(515)	27.4	16.9	11.8	11.7	9.1	7.8	8.3	4.9	2.1
	市町村	(231)	23.8	17.3	12.6	9.1	10.8	10.4	8.2	4.8	3.0

Q18. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思いますか。  
 (複数回答)

(1)全体

自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思うかについて、「条例等で着用が義務付けられていること」が49.1%と最も高く、次いで「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」が28.4%、「ヘルメットによる衝撃度の軽減等の性能」が26.0%となっています。



●その他の内容

- ・購入費用一部負担(5件)など

Q18. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思いますか。  
(複数回答)

(2)属性別

自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思うかについて、性別にみると「条例等で着用が義務付けられていること」は男性が50.5%、女性が47.7%となり、男女間で大きな差は見られません。「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」では男性が33.1%、女性が23.6%となり、男性のほうが9.5ポイント高くなっています。

年代別にみると「条例等で着用が義務付けられていること」は70代が60.0%と最も高く、次いで60代が50.4%となっています。「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」は70代が35.4%と最も高く、次いで10代が35.0%となっています。

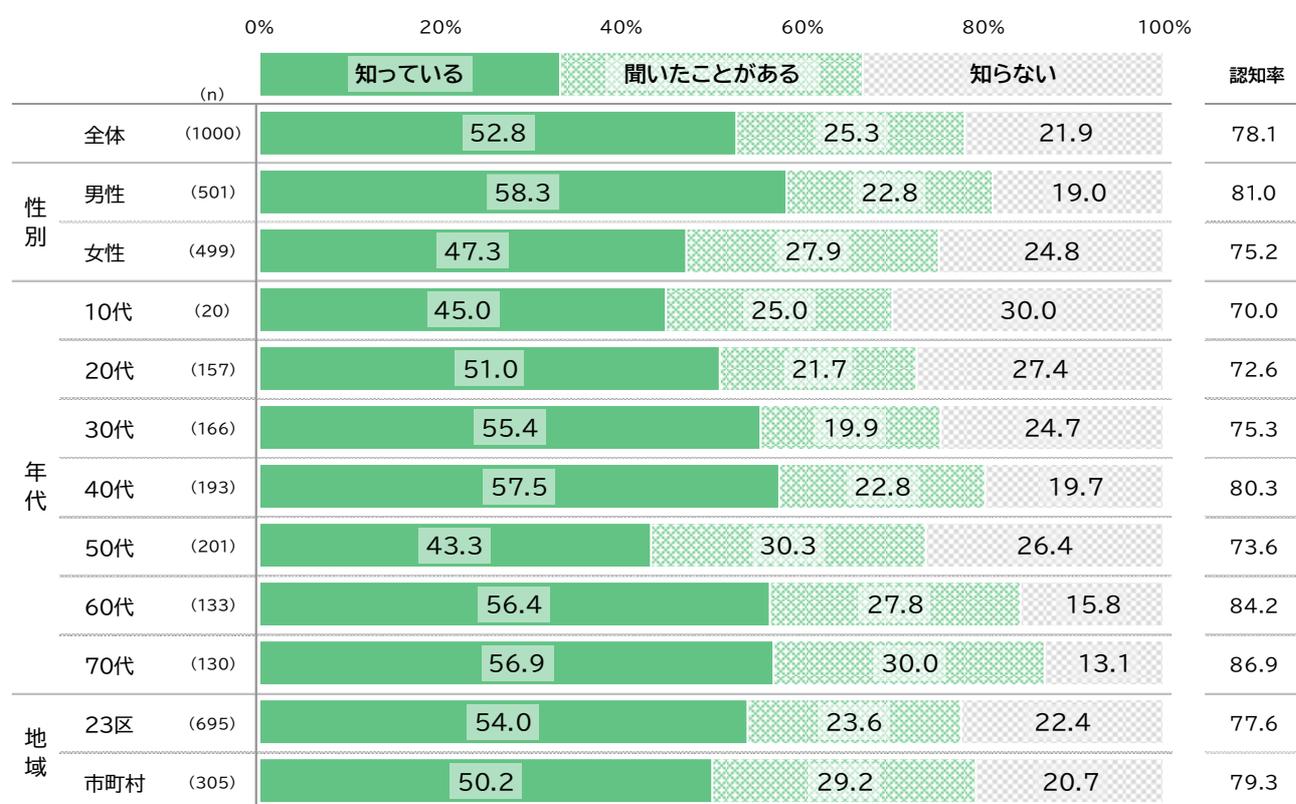
横%		義 条 務 例 付 等 け 着 ら 用 れ て が い る こ と	で 事 助 故 か の つ 事 た 例 事 (ヘ 例 ル 含 ム メ む ッ ト の お け が	衝 ハ 撃 ル 度 メ の ッ 軽 ト 減 による 等 の 性能	ハ か ル っ メ こ ツ い の デ 紹 ザ 介 イ の ン の の	ヘル メ ットの 保管 方法 の 紹介	ま 都 た は は は 自 増 転 加 し 車 事 て 故 い が る 多 こ く 、	そ の 他
	(n)							
全体	(1000)	49.1	28.4	26.0	21.4	20.0	18.9	3.6
性別	男性 (501)	50.5	33.1	25.9	17.0	17.0	19.2	3.8
	女性 (499)	47.7	23.6	26.1	25.9	23.0	18.6	3.4
年代	10代 (20)	45.0	35.0	30.0	10.0	15.0	20.0	10.0
	20代 (157)	43.3	29.3	25.5	20.4	17.2	15.9	1.9
	30代 (166)	47.0	33.1	25.3	24.1	19.9	16.3	2.4
	40代 (193)	47.2	21.2	21.8	20.7	15.5	23.3	4.1
	50代 (201)	49.8	24.4	19.9	19.4	20.9	15.4	5.0
	60代 (133)	50.4	30.1	29.3	21.1	24.1	19.5	5.3
	70代 (130)	60.0	35.4	39.2	25.4	25.4	23.8	1.5
地域	23区 (695)	48.8	29.9	26.3	22.0	20.1	18.6	3.7
	市町村 (305)	49.8	24.9	25.2	20.0	19.7	19.7	3.3

## 6. 自転車ルール全般について

Q19. 自転車による道路交通法違反が犯罪となる可能性がある(有罪になれば前科が付く)ことを知っていますか。  
(単一回答)

自転車による道路交通法違反が犯罪となる可能性がある(有罪になれば前科が付く)ことを知っているかについて、「知っている」とした回答は52.8%となっています。一方で「知らない」は21.9%となっています。

性別にみると「知っている」は男性が58.3%、女性が47.3%となり、男性のほうが11.0ポイント高く、年代別にみると40代が57.5%と最も高く、次いで70代が56.9%となっています。一方で「知らない」は10代が30.0%と最も高く、次いで20代の27.4%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

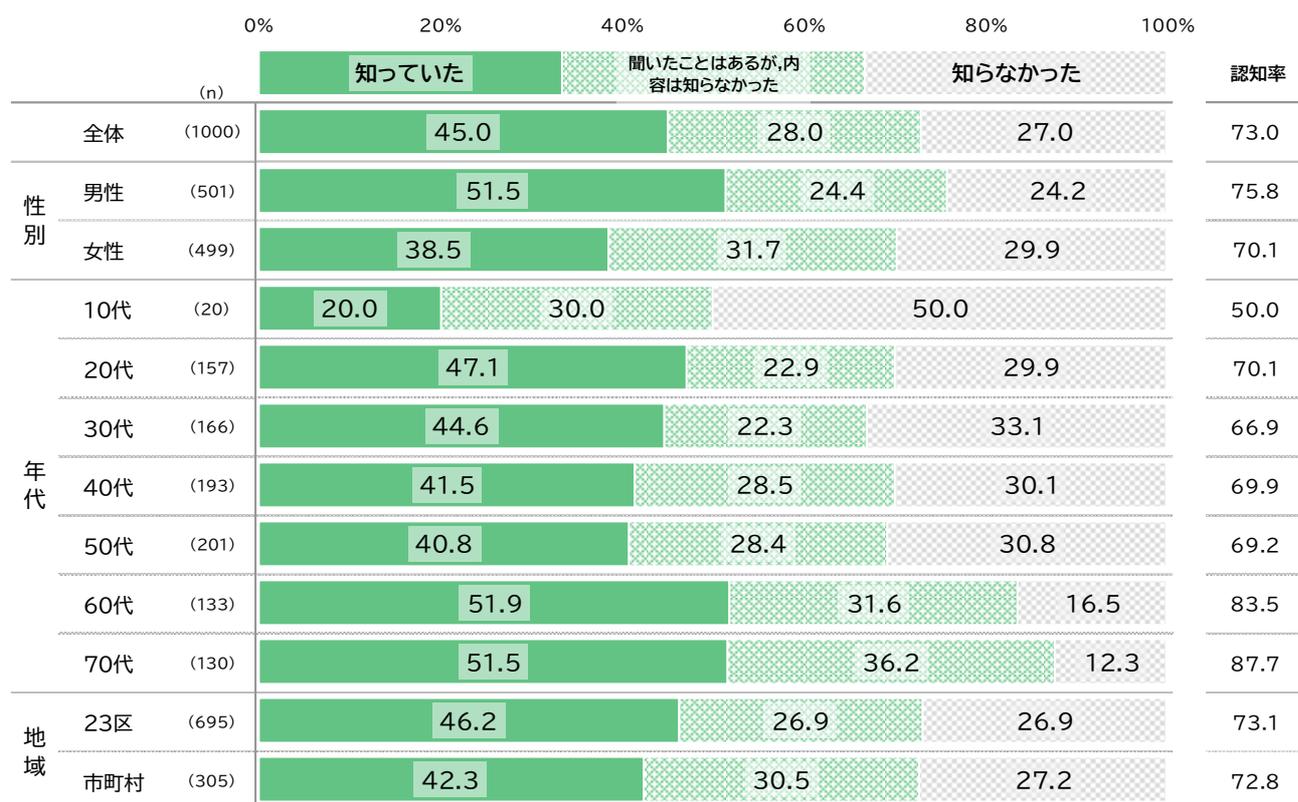


※ 認知率=「知っている」+「聞いたことがある」

Q20. 改正道路交通法が令和6年5月に成立・公布され、令和8年5月23日までに自転車の交通違反に対しても交通反則通告制度(いわゆる「青切符」)が導入されることになりました。このことについて、どの程度知っていますか。  
(単一回答)

自転車の交通違反に対しても交通反則通告制度が導入されることをどの程度知っているかについて、「知っていた」とした回答は45.0%となっています。一方で「知らなかった」は27.0%となっています。

性別にみると「知っている」は男性が51.5%、女性が38.5%となり、男性のほうが13.0ポイント高く、年代別にみると60代が51.9%と最も高く、次いで70代が51.5%となっています。一方で「知らなかった」は10代が50.0%と最も高く、次いで30代の33.1%となっています。

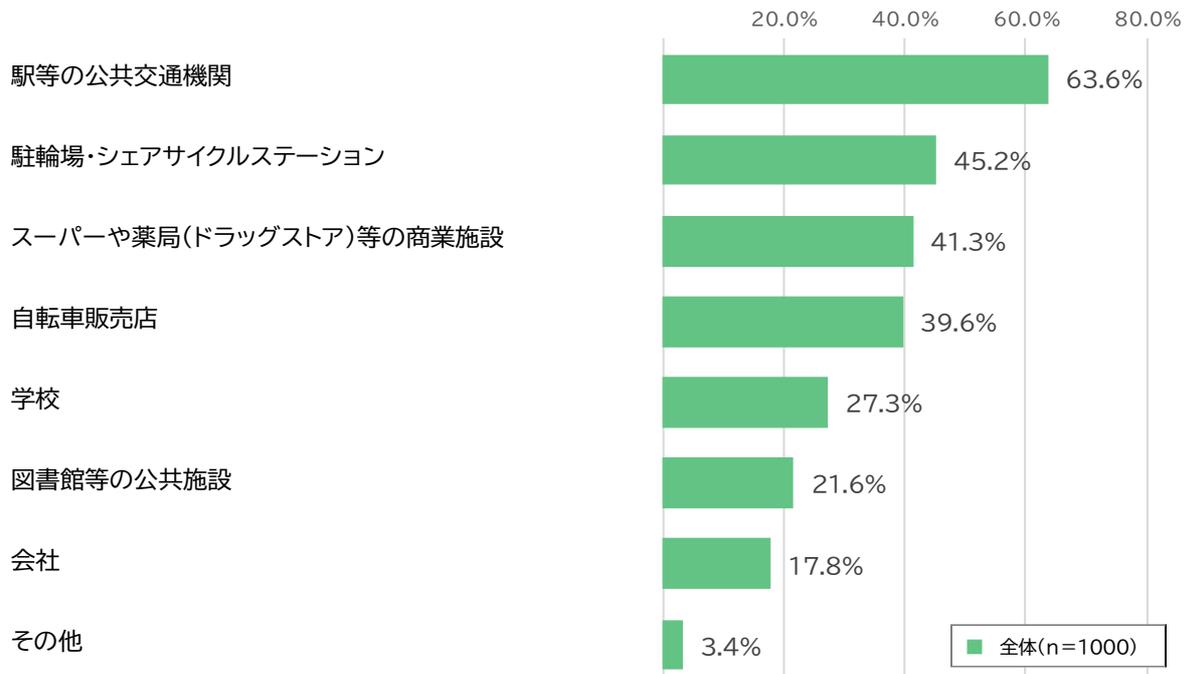


※ 認知率＝「知っていた」＋「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」

Q21. 自転車”青切符”制度の周知について、ポスターやチラシ等により周知を図る場合、どのような場所に掲出・配布することが効果的だと思いますか。(複数回答)

(1)全体

ポスターやチラシ等をどのような場所に掲出・配布することが効果的かについて、「駅等の公共交通機関」が63.6%と最も高く、次いで「駐輪場・シェアサイクルステーション」が45.2%、「スーパーや薬局(ドラッグストア)等の商業施設」が41.3%となっています。



●その他の内容

- ・テレビ(8件)など

Q21. 自転車”青切符”制度の周知について、ポスターやチラシ等により周知を図る場合、どのような場所に掲出・配布することが効果的だと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

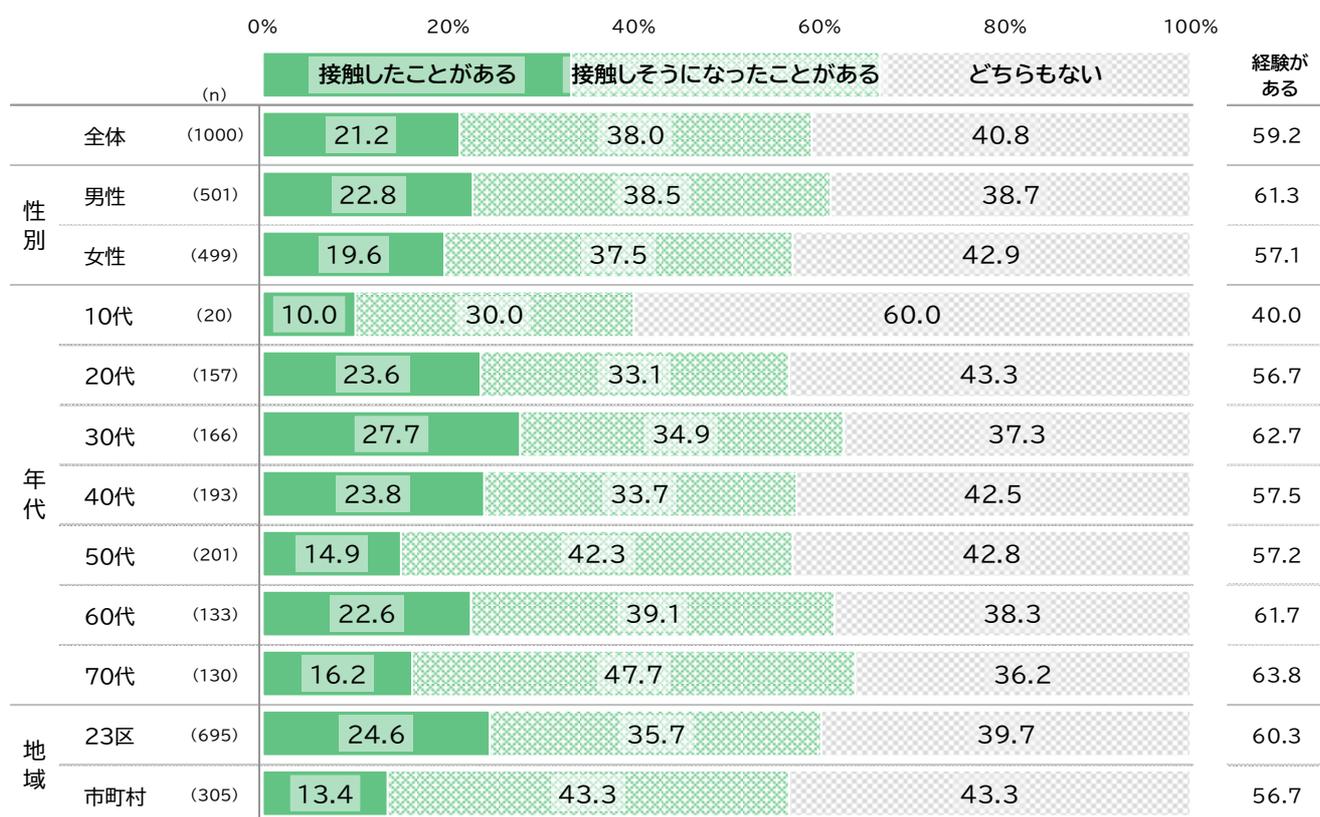
ポスターやチラシ等をどのような場所に掲出・配布することが効果的かについて、性別にみると「駅等の公共交通機関」は男性が66.7%、女性が60.5%となり、男性のほうが6.2ポイント高くなっています。年代別にみると「駅等の公共交通機関」は40代が67.9%と最も高く、次いで50代・70代が66.2%となっています。「駐輪場・シェアサイクルステーション」は70代が64.6%と最も高く、次いで10代が55.0%となっています。「学校」では10代が65.0%となり、他の年代に比べ突出して高いことが特徴です。

横%			駅等の公共交通機関	駐輪場・シェアサイクルステーション	（ドライバーや薬局等）等の商業施設	自転車販売店	学校	図書館等の公共施設	会社	その他
	(n)									
全体	(1000)		63.6	45.2	41.3	39.6	27.3	21.6	17.8	3.4
性別	男性	(501)	66.7	43.7	38.1	35.1	26.3	22.0	19.0	4.0
	女性	(499)	60.5	46.7	44.5	44.1	28.3	21.2	16.6	2.8
年代	10代	(20)	60.0	55.0	25.0	30.0	65.0	30.0	10.0	5.0
	20代	(157)	59.9	33.1	31.2	29.3	26.8	17.8	15.9	1.9
	30代	(166)	59.0	38.6	39.2	27.7	24.1	19.9	19.9	2.4
	40代	(193)	67.9	42.5	34.7	37.3	30.1	17.6	21.2	2.1
	50代	(201)	66.2	42.8	42.3	34.3	23.9	17.9	17.9	5.0
	60代	(133)	61.7	54.9	48.1	51.9	27.1	27.8	18.8	4.5
	70代	(130)	66.2	64.6	60.0	67.7	27.7	32.3	12.3	4.6
地域	23区	(695)	64.3	45.6	41.4	39.9	27.6	21.3	18.1	2.9
	市町村	(305)	62.0	44.3	41.0	39.0	26.6	22.3	17.0	4.6

Q22. 過去にあなたが”歩道”を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。(単一回答)

歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験について、「接触したことがある」が21.2%、「接触しそうになったことがある」が38.0%となり、合わせると『経験がある』とした回答が59.2%となっています。

性別にみると『経験がある』は男性が61.3%、女性が57.1%となり、男性のほうが4.2ポイント高くなっており、年代別にみると70代が63.8%と最も高く、次いで30代の62.7%となっています。



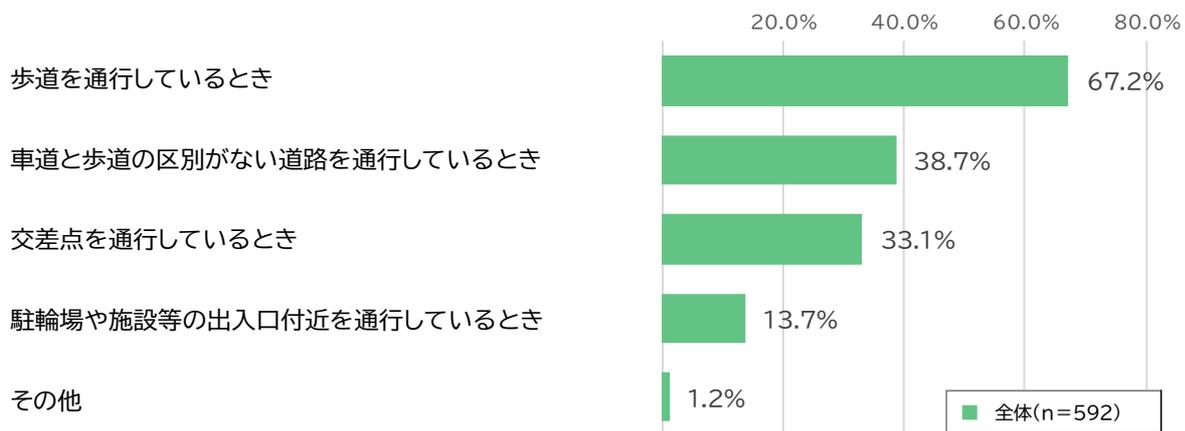
※ 経験がある＝「接触したことがある」＋「接触しそうになったことがある」

Q23. 自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったか教えてください。(複数回答)

<Q22で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=592人>

(1)全体

自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったかについて、「歩道を通行しているとき」が67.2%と最も高く、次いで「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」が38.7%となっています。



●その他の内容

- ・その他(5件)など

Q23. 自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったか教えてください。(複数回答)

<Q22で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=592人>

(2)属性別

自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったかについて、性別にみると「歩道を通行しているとき」は男性が70.0%、女性が64.2%となり、男性のほうが5.8ポイント高くなっています。

年代別にみると「歩道を通行しているとき」は60代が74.4%と最も高く、次いで70代が71.1%となっています。「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」は20代が44.9%と最も高く、次いで30代が43.3%となっています。「交差点を通行しているとき」では年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

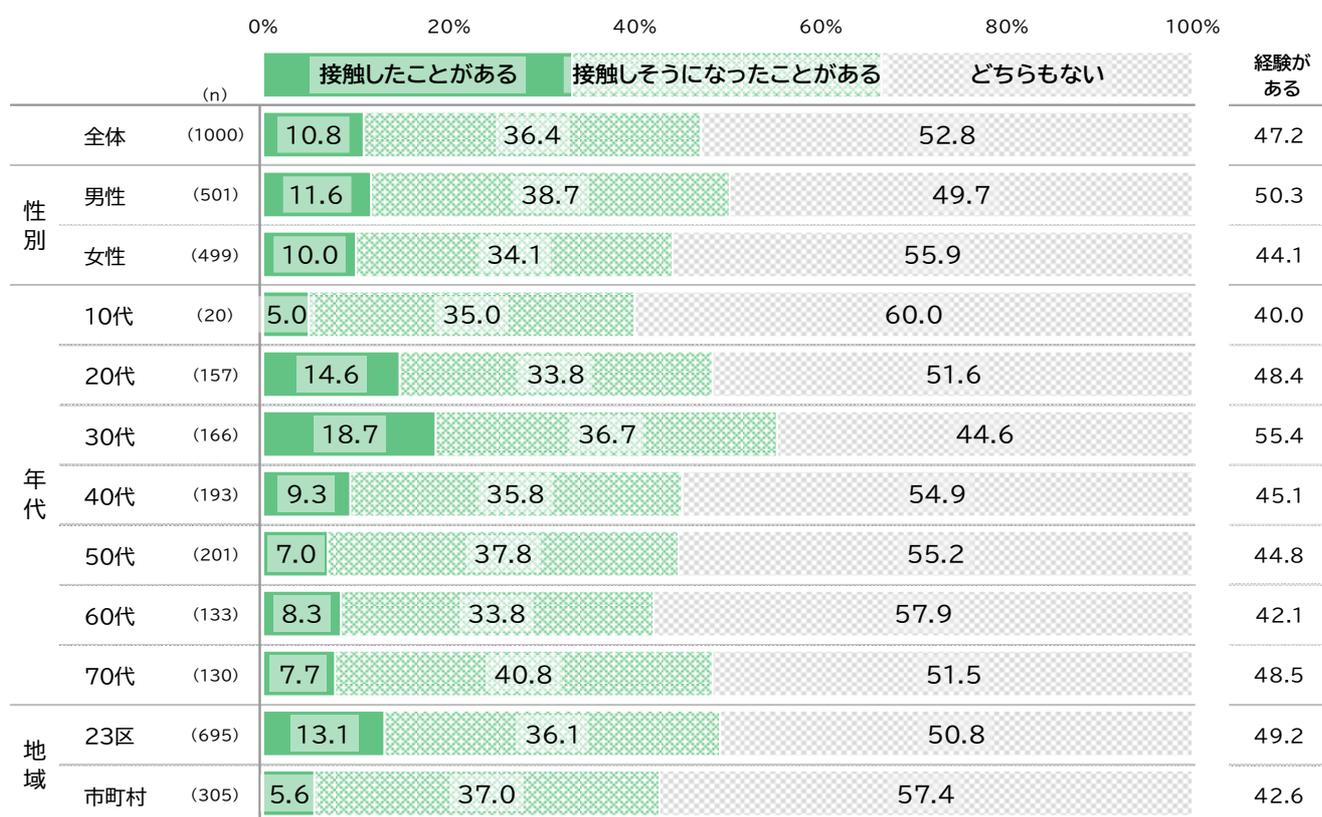
横%			歩道を通行しているとき	車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき	交差点を通行しているとき	駐輪場や施設等の出入口付近を通行しているとき	その他
(n)							
全体	(592)		67.2	38.7	33.1	13.7	1.2
性別	男性	(307)	70.0	39.1	38.1	14.7	0.7
	女性	(285)	64.2	38.2	27.7	12.6	1.8
年代	10代	(8)	62.5	25.0	50.0	12.5	12.5
	20代	(89)	58.4	44.9	47.2	14.6	-
	30代	(104)	62.5	43.3	37.5	11.5	1.0
	40代	(111)	70.3	34.2	37.8	13.5	-
	50代	(115)	67.8	33.9	30.4	14.8	2.6
	60代	(82)	74.4	39.0	19.5	14.6	2.4
	70代	(83)	71.1	39.8	21.7	13.3	-
地域	23区	(419)	66.6	39.1	34.8	13.6	1.4
	市町村	(173)	68.8	37.6	28.9	13.9	0.6

※ 10代はサンプル数=8のため、コメントは記載していない

Q24. 過去にあなたが”自転車”に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。(単一回答)

自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験について、「接触したことがある」が10.8%、「接触しそうになったことがある」が36.4%となり、合わせると『経験がある』とした回答が47.2%となっています。

性別にみると『経験がある』は男性が50.3%、女性が44.1%となり、男性のほうが6.2ポイント高くなり、年代別にみると30代が55.4%と最も高く、次いで70代の48.5%となっています。



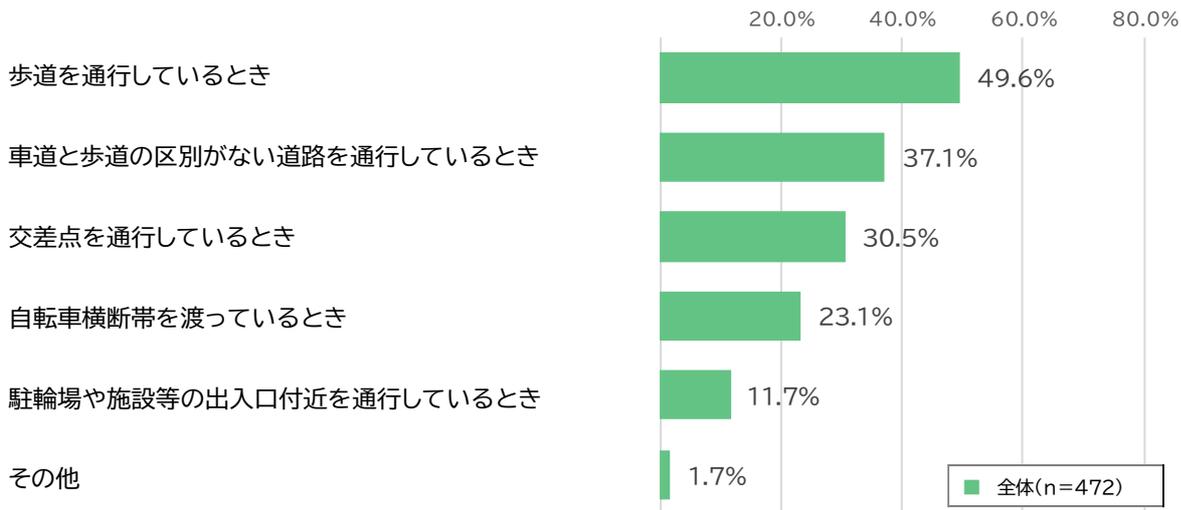
※ 経験がある＝「接触したことがある」＋「接触しそうになったことがある」

Q25. 歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったか教えてください。  
 (複数回答)

<Q24で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=472人>

(1)全体

歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったかについて、「歩道を通行しているとき」が49.6%と最も高く、次いで「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」が37.1%となっています。



●その他の内容

- ・その他(6件)など

Q25. 歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったか教えてください。  
(複数回答)

<Q24で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=472人>

(2)属性別

歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったかについて、性別にみると「歩道を通行しているとき」は男性が52.0%、女性が46.8%となり、男性のほうが5.2ポイント高くなっています。

年代別にみると「歩道を通行しているとき」は60代が58.9%と最も高く、次いで40代が58.6%となっています。「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」は60代が44.6%と最も高く、次いで30代が41.3%となっています。「交差点を通行しているとき」では年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

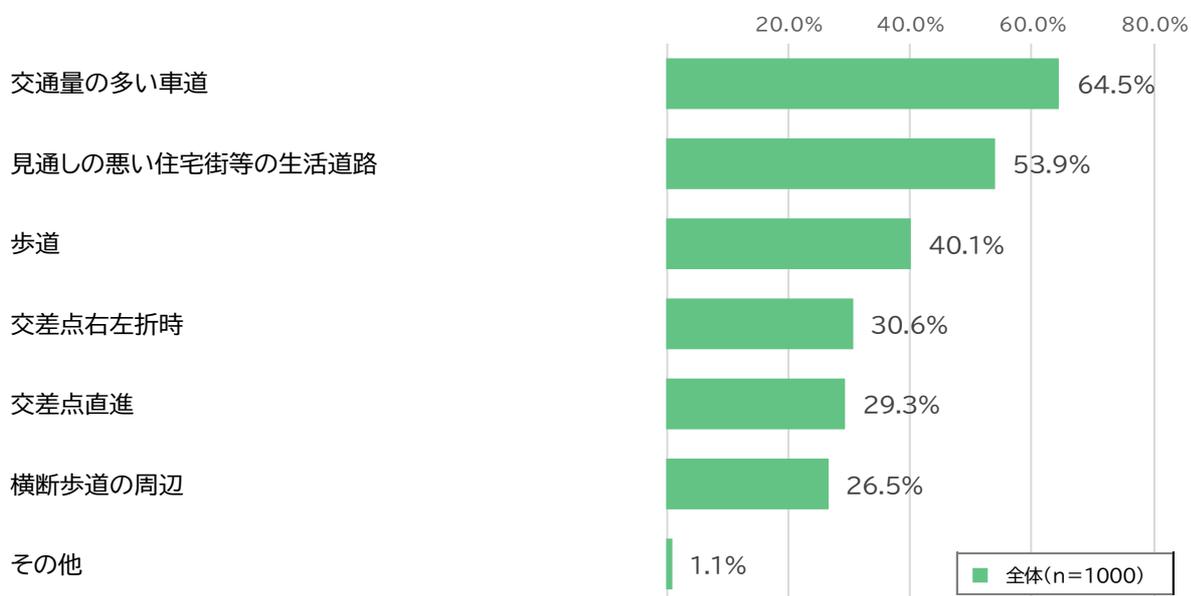
横%			歩道を通行しているとき	車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき	交差点を通行しているとき	自転車横断帯を渡っているとき	駐輪場や施設等の出入口付近を通行しているとき	その他
	(n)							
全体	(472)		49.6	37.1	30.5	23.1	11.7	1.7
性別	男性	(252)	52.0	34.5	34.1	26.6	11.1	2.0
	女性	(220)	46.8	40.0	26.4	19.1	12.3	1.4
年代	10代	(8)	37.5	50.0	50.0	12.5	-	-
	20代	(76)	35.5	35.5	34.2	32.9	14.5	-
	30代	(92)	41.3	41.3	38.0	31.5	12.0	-
	40代	(87)	58.6	27.6	40.2	24.1	10.3	-
	50代	(90)	52.2	37.8	27.8	18.9	11.1	2.2
	60代	(56)	58.9	44.6	14.3	10.7	14.3	7.1
	70代	(63)	55.6	36.5	17.5	15.9	9.5	3.2
地域	23区	(342)	49.1	36.0	33.0	23.1	10.8	1.5
	市町村	(130)	50.8	40.0	23.8	23.1	13.8	2.3

※ 10代はサンプル数=8のため、コメントは記載していない

Q26. 自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所をお聞かせください。(複数回答)

(1)全体

自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所について、「交通量の多い車道」が64.5%と最も高く、次いで「見通しの悪い住宅街等の生活道路」が53.9%、「歩道」が40.1%となっています。



●その他の内容

- ・店舗の出入り口(2件)など

Q26. 自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所をお聞かせください。(複数回答)

(2)属性別

自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所について、性別にみると「交通量の多い車道」は男性が63.5%、女性が65.5%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「交通量の多い車道」は60代が72.2%と最も高く、次いで40代が68.4%となっています。「見通しの悪い住宅街等の生活道路」は70代が63.1%と最も高く、次いで60代が58.6%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。

横%	(n)	交通量の多い車道	見通しの悪い住宅街等の生活道路	歩道	交差点右左折時	交差点直進	横断歩道の周辺	その他
全体	(1000)	64.5	53.9	40.1	30.6	29.3	26.5	1.1
性別	男性 (501)	63.5	51.3	43.7	28.3	30.7	23.0	1.6
	女性 (499)	65.5	56.5	36.5	32.9	27.9	30.1	0.6
年代	10代 (20)	65.0	50.0	30.0	35.0	35.0	10.0	-
	20代 (157)	59.9	42.0	42.0	24.8	27.4	19.7	0.6
	30代 (166)	59.6	47.0	34.3	26.5	26.5	23.5	0.6
	40代 (193)	68.4	58.5	43.0	31.1	34.2	32.1	1.0
	50代 (201)	64.2	55.7	34.8	28.4	28.9	21.4	2.5
	60代 (133)	72.2	58.6	48.9	36.8	30.1	35.3	0.8
	70代 (130)	63.1	63.1	41.5	38.5	26.9	31.5	0.8
地域	23区 (695)	63.2	53.8	40.4	31.4	30.8	26.2	1.4
	市町村 (305)	67.5	54.1	39.3	28.9	25.9	27.2	0.3

Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(1)全体

自転車に関する交通ルールについて、18項目中7項目において『認知率』が9割以上となっています。その中で『認知率』が最も高いのは「夜間はライトを点灯する」の93.3%、次いで「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」の92.0%となっています。一方で最も低いのは「右折、左折、徐行・停車、後退する際は、手信号で知らせる」の70.1%、次いで「横断歩道では歩行者の妨げにならない場合を除き押し歩いて渡る」の72.9%となっています。



※ 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

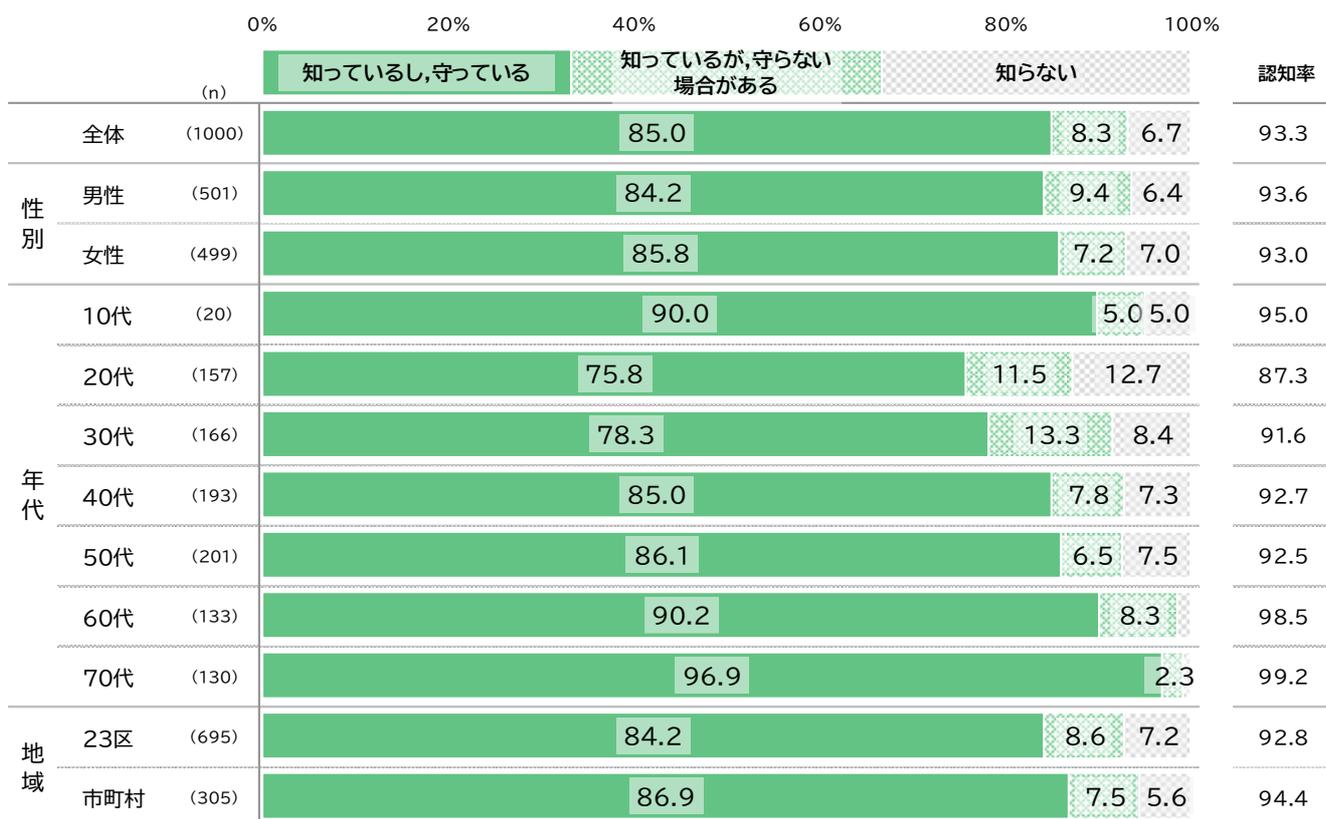
Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

① 夜間はライトを点灯する

『夜間はライトを点灯する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が85.0%、「知っているが守らない場合がある」が8.3%となり、『認知率』は93.3%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が93.6%、女性が93.0%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が99.2%と最も高く、次いで60代が98.5%となっています。また、「知っているし、守っている」は、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 認知率=「知っているし、守っている」+「知っているが、守らない場合がある」

※2 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

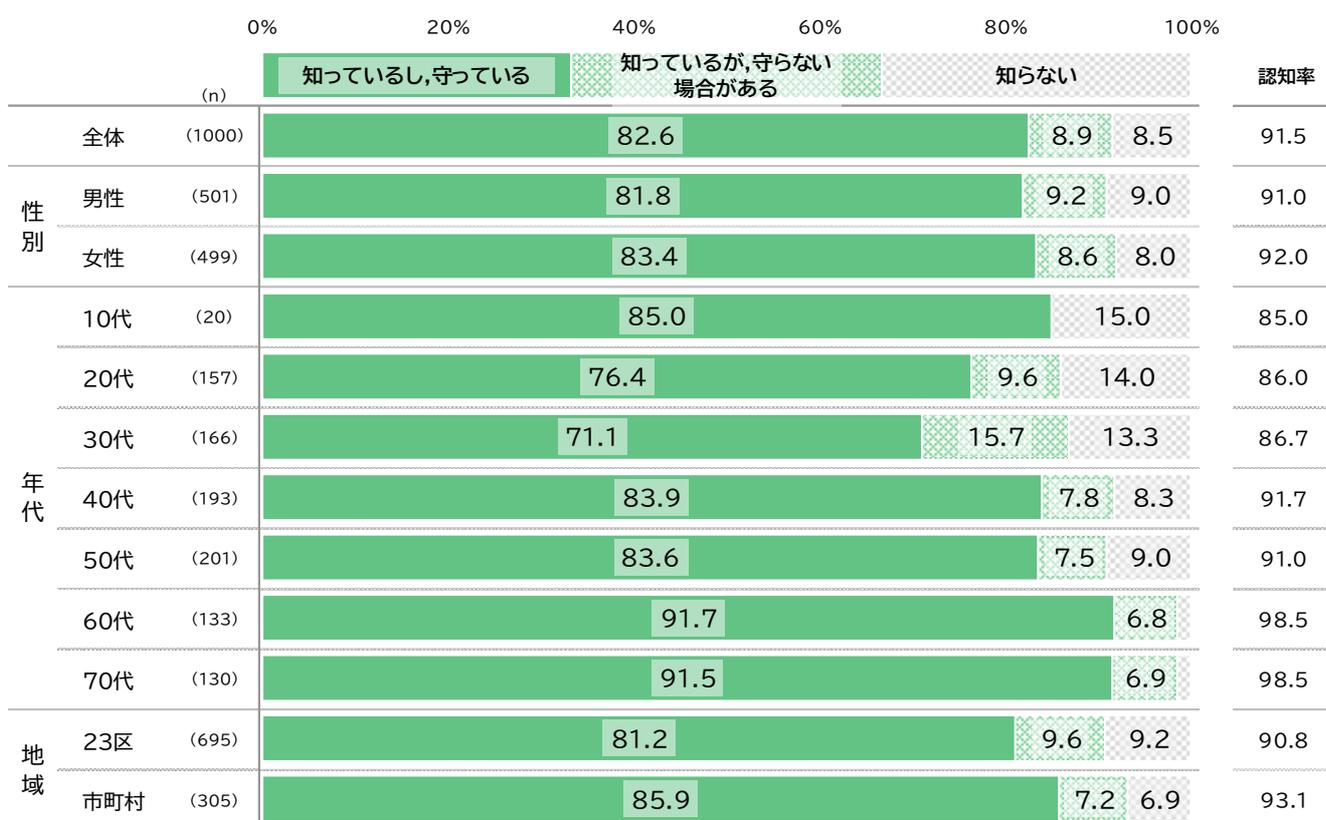
Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

② 自転車も飲酒運転は禁止されている

『自転車も飲酒運転は禁止されている』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が82.6%、「知っているが守らない場合がある」が8.9%となり、『認知率』は91.5%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が91.0%、女性が92.0%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると60代・70代が98.5%で最も高くなっています。また、「知っているし、守っている」は、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

※2 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

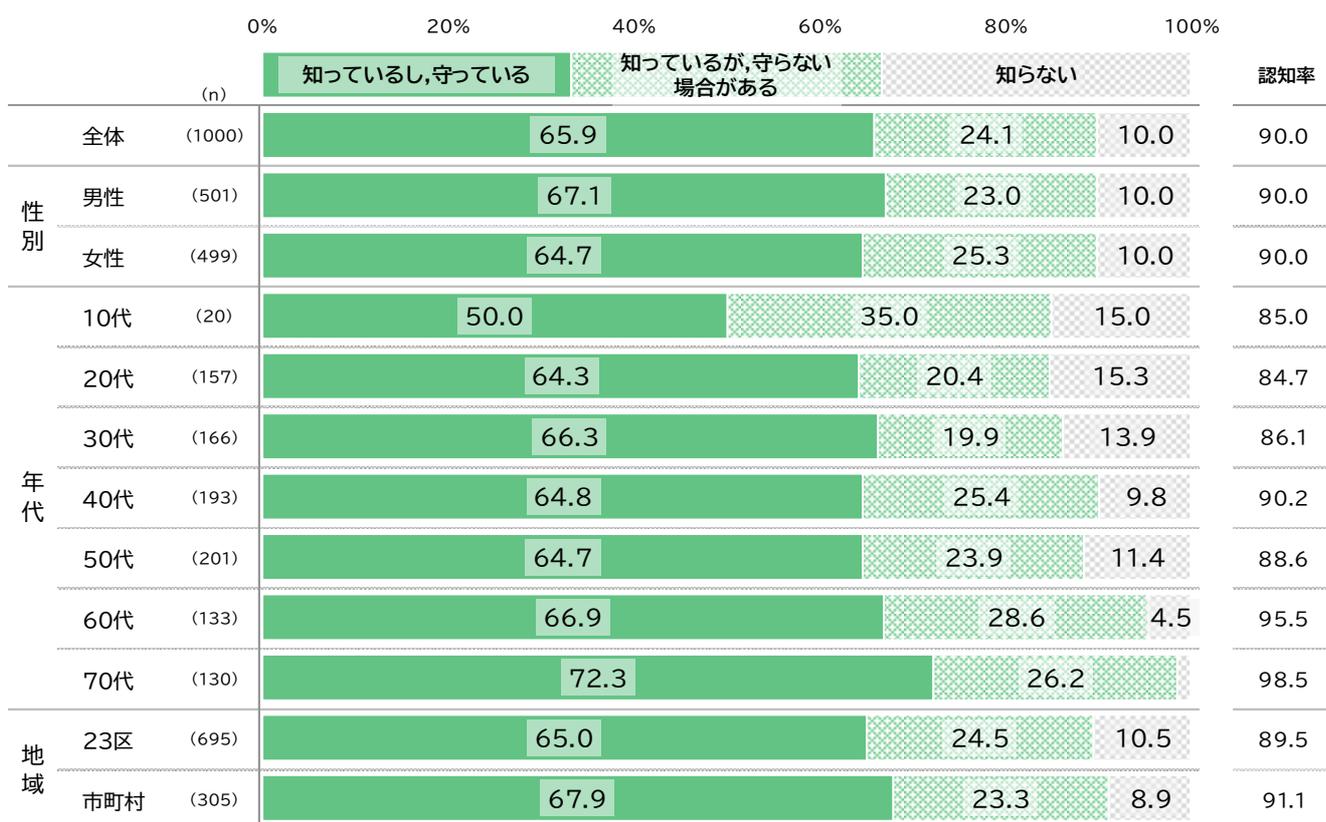
Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

③ 自転車は、原則として車道の左側を通行する

『自転車は、原則として車道の左側を通行する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が65.9%、「知っているが守らない場合がある」が24.1%となり、『認知率』は90.0%となっています。

性別にみると『認知率』は男性・女性ともに90.0%となり、年代別にみると70代が98.5%と最も高く、次いで60代が95.5%となっています。また、「知っているし、守っている」は、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 認知率=「知っているし、守っている」+「知っているが、守らない場合がある」

※2 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

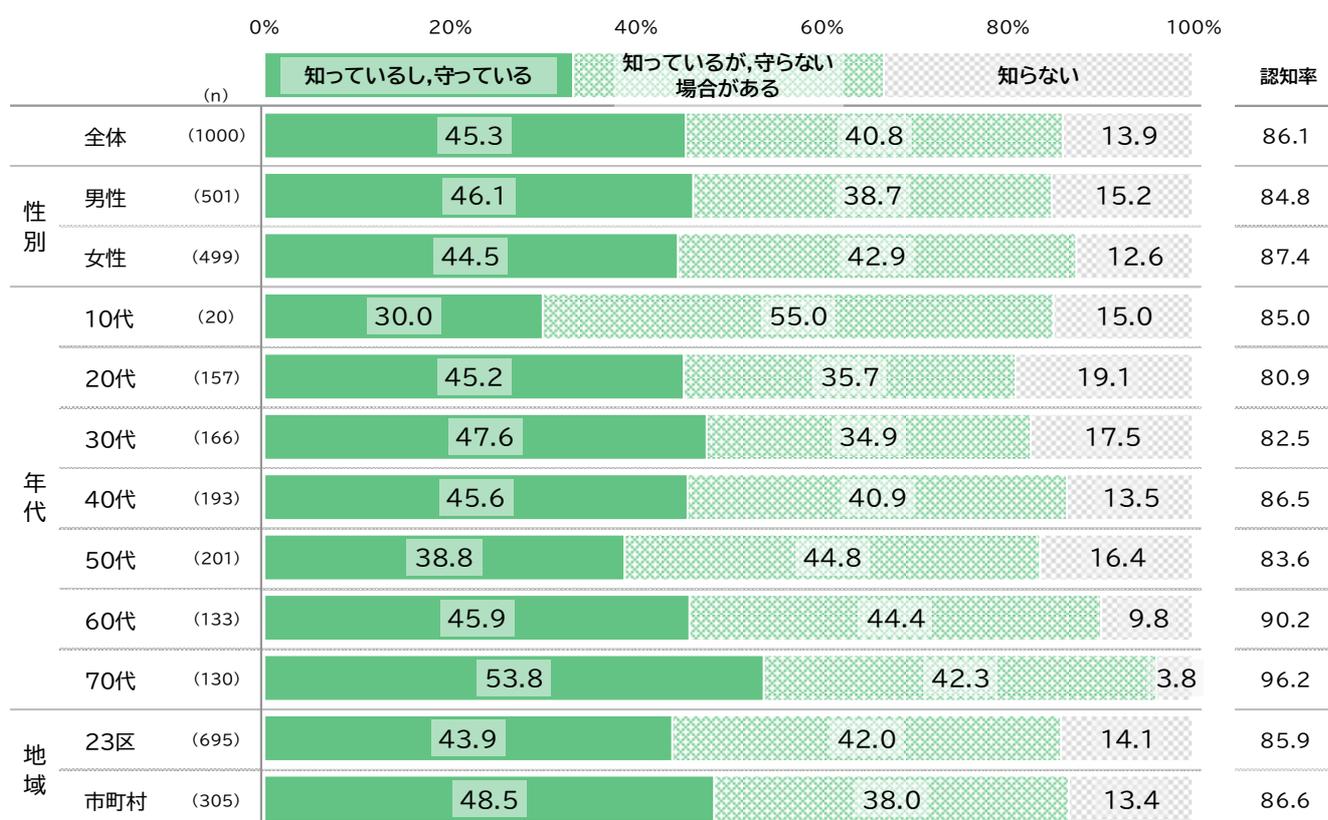
Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

④ 自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある

『自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が45.3%、「知っているが守らない場合がある」が40.8%となり、『認知率』は86.1%となっています。「知っているし、守っている」割合は半数を下回り、自転車安全利用五則の中で最も低い結果となっています。

性別にみると『認知率』は男性が84.8%、女性が87.4%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が96.2%と最も高く、次いで60代が90.2%となっています。



※ 認知率=「知っているし、守っている」+「知っているが、守らない場合がある」

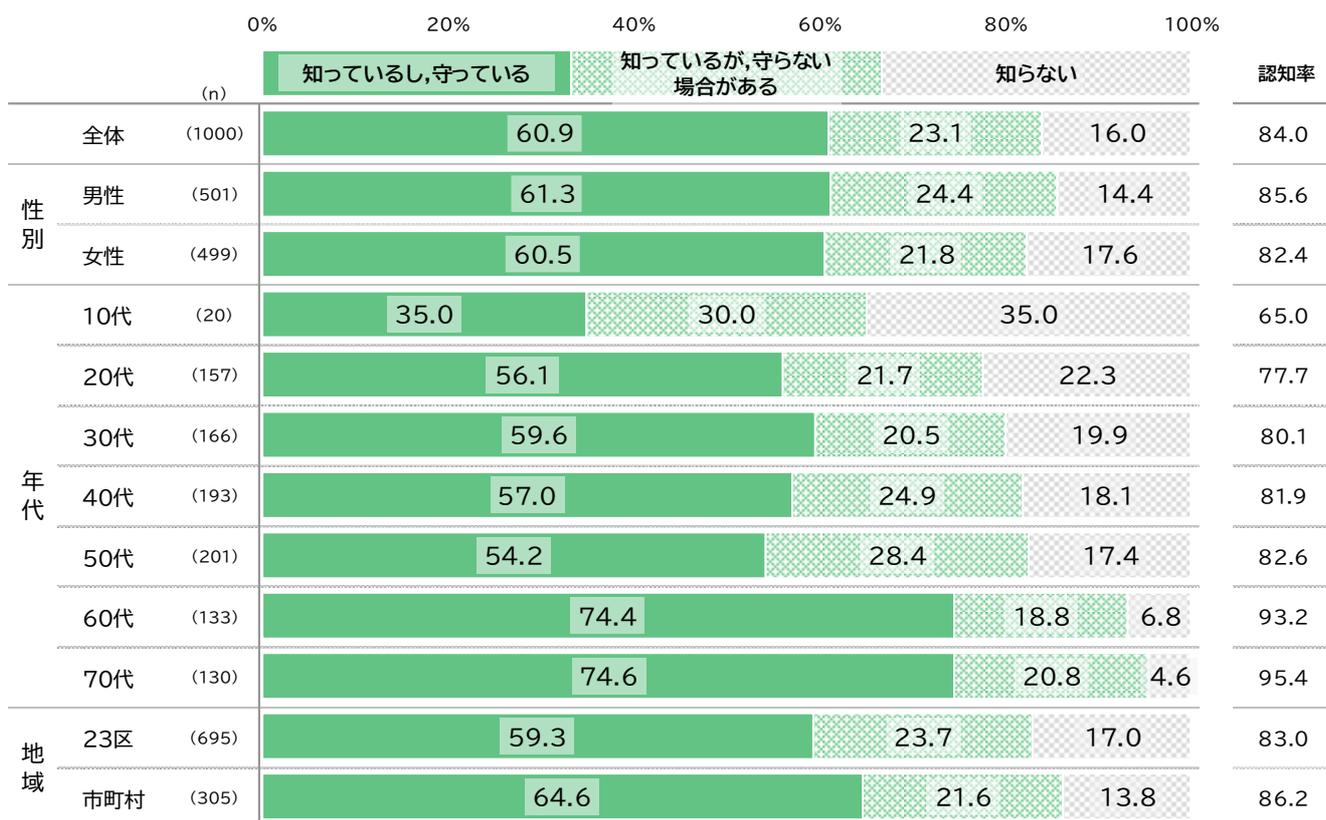
Q27. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

⑤一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する

『一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が60.9%、「知っているが守らない場合がある」が23.1%となり、『認知率』は84.0%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が85.6%、女性が82.4%となり、男性のほうが3.2ポイント高く、年代別にみると70代が95.4%と最も高く、次いで60代が93.2%となっています。

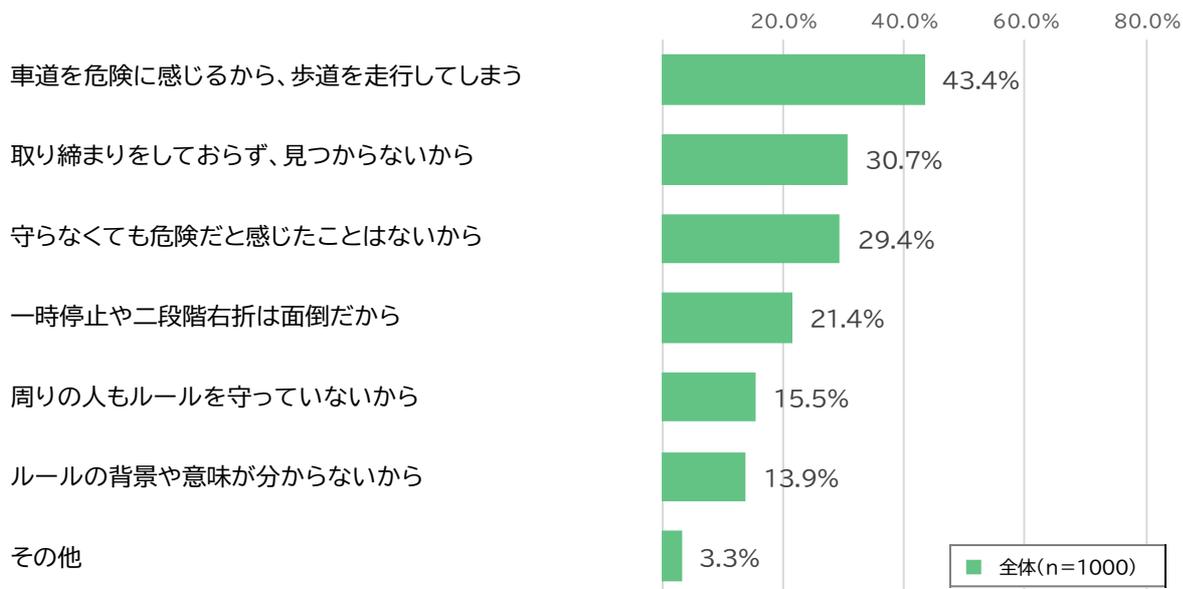


※ 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

Q28. 自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、つい違反をしてしまうことがあるとすれば、それはなぜだと思いますか。(複数回答)

(1)全体

自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、つい違反をしてしまう理由について、「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」が43.4%と最も高く、次いで「取り締まりをしておらず、見つからないから」が30.7%、「守らなくても危険だと感じたことはないから」が29.4%となっています。



●その他の内容

- ・違反はしない(9件)など

Q28. 自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、ついつい違反をしてしまうことがあるとすれば、それはなぜだと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、ついつい違反をしてしまう理由について、性別にみると「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」は男性が38.1%、女性が48.7%となり、女性のほうが10.6ポイント高くなっています。

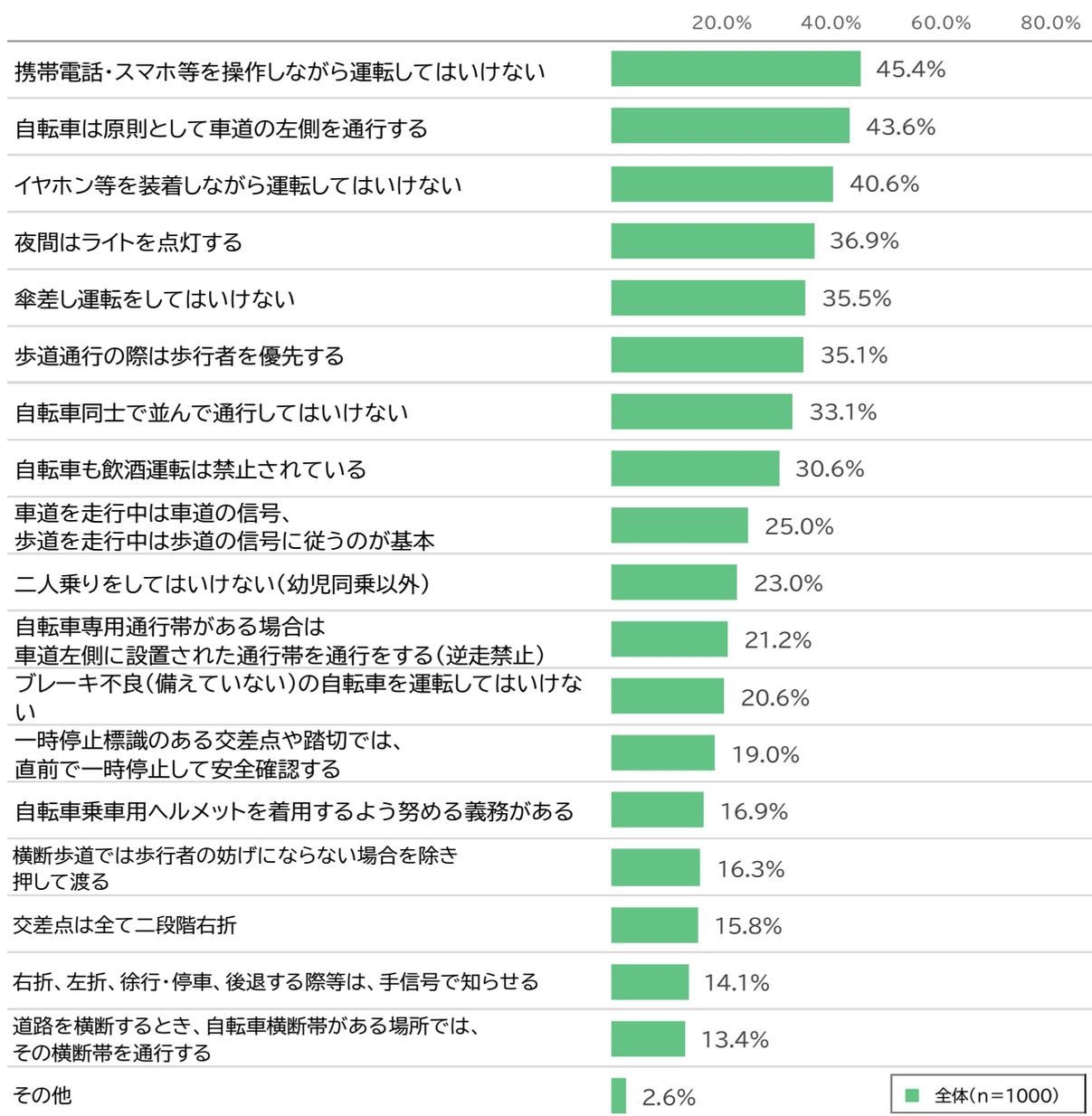
年代別にみると「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」は70代が73.8%と最も高く、次いで60代が51.1%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「取り締まりをしておらず、見つからないから」は30代が35.5%と最も高く、次いで60代が31.6%となっています。「守らなくても危険だと感じたことはないから」では10代で45.0%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			歩道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう	取り締まりをしておらず、見つからないから	守らなくても危険だと感じたことはないから	一時停止や二段階右折は面倒だから	周りの人も守っていないから	ルールの背景や意味が分からないから	その他
(n)									
全体	(1000)		43.4	30.7	29.4	21.4	15.5	13.9	3.3
性別	男性	(501)	38.1	35.5	33.5	24.2	17.4	12.8	2.6
	女性	(499)	48.7	25.9	25.3	18.6	13.6	15.0	4.0
年代	10代	(20)	30.0	30.0	45.0	25.0	10.0	25.0	5.0
	20代	(157)	28.0	31.2	29.9	25.5	21.7	14.0	3.8
	30代	(166)	38.6	35.5	26.5	18.1	19.9	16.3	1.2
	40代	(193)	40.4	30.1	26.9	20.7	13.5	15.0	3.1
	50代	(201)	38.8	30.3	30.3	15.4	10.0	14.9	3.5
	60代	(133)	51.1	31.6	31.6	19.5	18.8	8.3	6.0
	70代	(130)	73.8	24.6	30.0	32.3	11.5	11.5	2.3
地域	23区	(695)	41.7	31.7	29.6	22.3	16.1	15.4	3.5
	市町村	(305)	47.2	28.5	28.9	19.3	14.1	10.5	3.0

Q29. 自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことは何ですか。(複数回答)

(1)全体

自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことについて、「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」が45.4%と最も高く、次いで「自転車は原則として車道の左側を通行する」が43.6%、「イヤホン等を装着しながら運転してはいけない」が40.6%となっています。



●その他の内容

- ・特にない(20件)など

Q29. 自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことは何ですか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことについて、性別にみると「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」は男性が40.7%、女性が50.1%となり、女性のほうが9.4ポイント高くなっています。

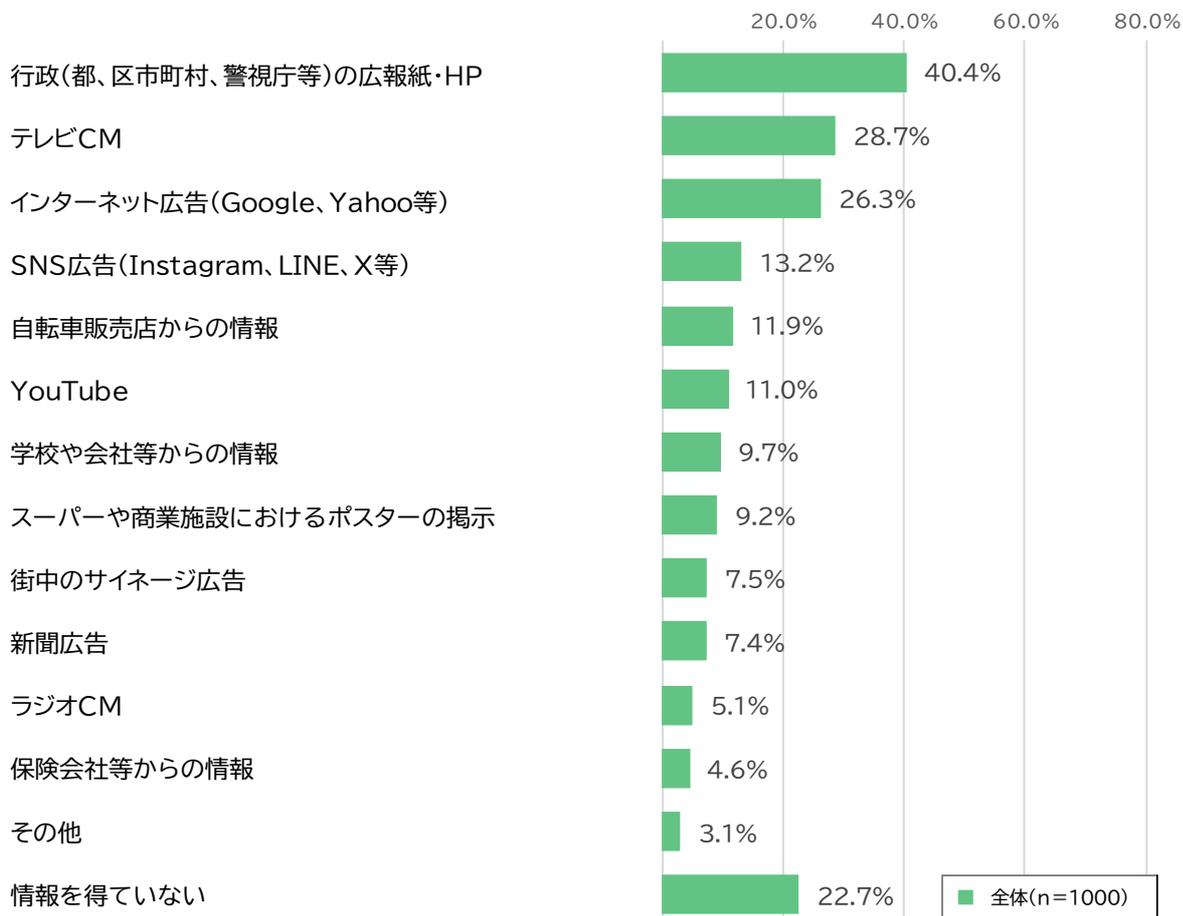
年代別にみると「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」は70代が73.1%と最も高く、次いで60代が62.4%となっています。「自転車は原則として車道の左側を通行する」は70代が52.3%、60代が49.6%、「イヤホン等を装着しながら運転してはいけない」は70代が63.8%、60代が58.6%となり、いずれの項目も年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。

横%		携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない	自転車は原則として車道の左側を通行する	イヤホン等を装着しながら運転してはいけない	夜間はライトを点灯する	傘差し運転をしてはいけない	歩道通行の際は歩行者を優先する	自転車同士で並んで通行してはいけない	自転車も飲酒運転は禁止されている	歩道を走行中は歩道の信号に従うのが基本	車道を走行中は車道の信号、歩道を走行中は歩道の信号に従うのが基本	二人乗りをしてはいけない(幼児同乗以外)	車道左側に設置された通行帯を通行をする(逆走禁止)	自転車専用通行帯がある場合は	ブレーキ不良(備えていない)の自転車を運転してはいけない	直前で一時停止して安全確認する	一時停止標識のある交差点や踏切では、	自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある	横断歩道では歩行者の妨げにならない場合を除き押し渡す	交差点は全て二段階右折	右折、左折、徐行・停車、後退する際は、手信号で知らせる	道路を横断するとき、自転車横断帯がある場所では、	その他
	(n)																						
全体	(1000)	45.4	43.6	40.6	36.9	35.5	35.1	33.1	30.6	25.0	23.0	21.2	20.6	19.0	16.9	16.3	15.8	14.1	13.4	2.6			
性別	男性 (501)	40.7	45.7	36.9	37.9	30.7	35.7	31.5	31.5	26.1	21.6	21.4	18.2	19.0	18.4	14.8	15.0	14.4	13.2	3.2			
	女性 (499)	50.1	41.5	44.3	35.9	40.3	34.5	34.7	29.7	23.8	24.4	21.0	23.0	19.0	15.4	17.8	16.6	13.8	13.6	2.0			
年代	10代 (20)	30.0	25.0	25.0	40.0	25.0	45.0	20.0	40.0	10.0	20.0	25.0	20.0	20.0	20.0	25.0	20.0	15.0	5.0	5.0			
	20代 (157)	31.8	36.9	29.9	27.4	24.2	23.6	22.3	23.6	23.6	17.8	17.2	18.5	15.9	17.8	13.4	15.3	15.3	12.1	1.9			
	30代 (166)	27.7	35.5	27.1	25.3	25.9	24.7	21.1	24.7	25.3	13.9	16.9	19.3	17.5	15.7	9.6	9.6	10.8	10.2	3.6			
	40代 (193)	43.0	42.0	36.8	37.3	34.2	31.1	30.1	26.4	21.2	20.2	17.1	17.1	15.0	11.4	11.4	11.9	10.9	11.4	4.7			
	50代 (201)	45.3	49.3	38.3	38.8	31.8	33.8	35.3	28.4	20.4	21.9	20.4	19.4	16.4	12.9	14.9	11.9	9.0	11.4	2.0			
	60代 (133)	62.4	49.6	58.6	46.6	45.1	48.1	43.6	40.6	27.8	32.3	27.8	23.3	22.6	18.0	26.3	22.6	19.5	20.3	2.3			
	70代 (130)	73.1	52.3	63.8	49.2	60.8	55.4	53.8	44.6	38.5	37.7	31.5	29.2	30.8	30.0	26.2	28.5	23.8	19.2	-			
地域	23区 (695)	45.3	45.0	42.0	36.0	35.8	33.5	33.2	30.9	25.6	22.9	21.7	21.3	18.4	17.0	17.0	14.7	14.8	14.4	2.6			
	市町村 (305)	45.6	40.3	37.4	39.0	34.8	38.7	32.8	29.8	23.6	23.3	20.0	19.0	20.3	16.7	14.8	18.4	12.5	11.1	2.6			

Q30. あなたは自転車の安全利用(自転車ルール全般)に関する情報を主にどの媒体から得ていますか。(複数回答)

(1)全体

自転車の安全利用に関する情報源について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が40.4%と最も高く、次いで「テレビCM」が28.7%、「インターネット広告（Google、Yahoo等）」が26.3%となっています。



●その他の内容

- ・テレビ番組、テレビニュース(26件)など

Q30. あなたは自転車の安全利用(自転車ルール全般)に関する情報を主にどの媒体から得ていますか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の安全利用に関する情報源について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が39.9%、女性が40.9%となり、男女間で大きな差は見られません。

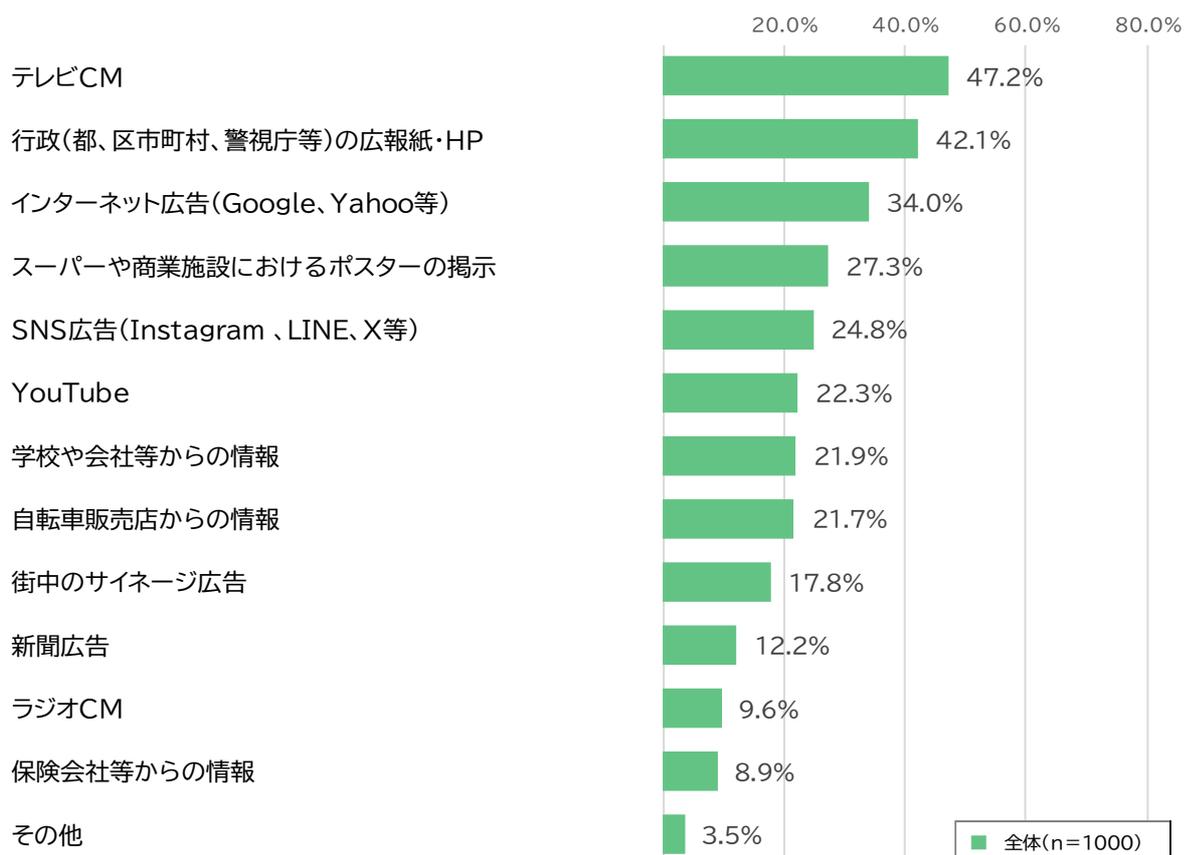
年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は70代が65.4%と最も高く、次いで60代が51.9%、「テレビCM」では70代が48.5%、60代が37.6%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。20代以下では「SNS広告（Instagram、LINE、X等）」が他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	テレビCM	インターネット広告（Google、Yahoo等）	SNS広告（Instagram、LINE、X等）	自転車販売店からの情報	YouTube	学校や会社からの情報	スーパーや商業施設におけるポスターの掲示	街中のサインージ広告	新聞広告	ラジオCM	保険会社等からの情報	その他	情報を得ていない
	(n)														
全体	(1000)	40.4	28.7	26.3	13.2	11.9	11.0	9.7	9.2	7.5	7.4	5.1	4.6	3.1	22.7
性別	男性 (501)	39.9	26.7	31.7	15.0	12.2	15.0	9.2	9.2	6.8	7.4	4.6	5.0	2.4	22.4
	女性 (499)	40.9	30.7	20.8	11.4	11.6	7.0	10.2	9.2	8.2	7.4	5.6	4.2	3.8	23.0
年代	10代 (20)	20.0	30.0	50.0	25.0	10.0	25.0	5.0	10.0	10.0	-	5.0	-	5.0	20.0
	20代 (157)	29.9	21.0	26.8	22.3	10.2	14.6	11.5	5.7	12.7	6.4	8.9	5.1	1.3	30.6
	30代 (166)	28.9	17.5	28.9	16.9	10.2	19.9	8.4	6.0	12.0	4.2	6.6	3.0	2.4	27.7
	40代 (193)	39.9	22.3	26.9	13.0	13.0	11.4	11.9	9.3	3.6	3.6	3.6	4.7	4.7	26.9
	50代 (201)	36.8	31.3	26.9	10.9	7.5	7.0	10.4	9.0	6.0	8.0	3.0	3.5	3.5	21.9
	60代 (133)	51.9	37.6	16.5	6.8	15.8	4.5	9.8	13.5	3.8	11.3	3.8	6.8	3.0	16.5
	70代 (130)	65.4	48.5	26.9	6.2	17.7	5.4	5.4	13.1	6.9	14.6	5.4	6.2	3.1	8.5
地域	23区 (695)	41.4	28.5	25.9	14.0	10.8	11.9	9.1	9.1	8.1	7.1	4.7	4.0	3.3	21.6
	市町村 (305)	38.0	29.2	27.2	11.5	14.4	8.9	11.1	9.5	6.2	8.2	5.9	5.9	2.6	25.2

## Q31. 自転車安全利用促進のため、効果的な広報手段は何だと思いますか。(複数回答)

## (1)全体

自転車安全利用促進のための効果的な広報手段について、「テレビCM」が47.2%と最も高く、次いで「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が42.1%、「インターネット広告（Google、Yahoo等）」が34.0%となっています。マスメディアである「テレビCM」を効果的とする回答が半数近くとなっています。



## ●その他の内容

- ・テレビ番組、テレビニュース(12件)など

Q31. 自転車安全利用促進のため、効果的な広報手段は何だと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

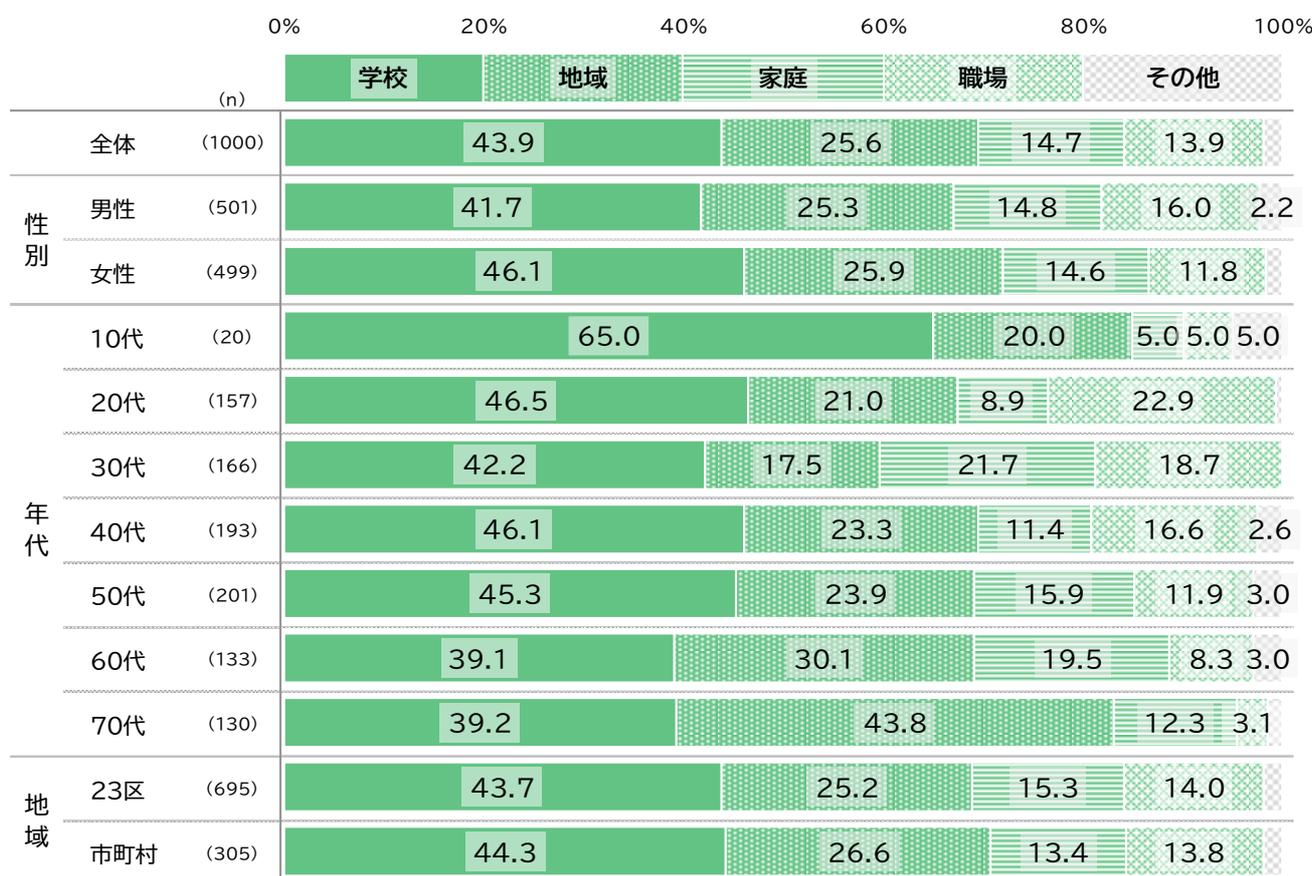
自転車安全利用促進のための効果的な広報手段について、性別にみると「テレビCM」は男性が43.3%、女性が51.1%となり、女性のほうが7.8ポイント高くなっています。

年代別にみると「テレビCM」は70代が67.7%と最も高く、次いで60代が61.7%、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」では70代が60.8%、60代が55.6%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。一方で「SNS広告（Instagram、LINE、X等）」「YouTube」は年代が下がるにつれて高くなり、10代では約半数が回答しています。

横%		テレビCM	行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	インターネット広告（Google、Yahoo等）	スーパーや商業施設におけるポスターの掲示	SNS広告（Instagram、LINE、X等）	YouTube	学校や会社等からの情報	自転車販売店からの情報	街中のサインージ広告	新聞広告	ラジオCM	保険会社等からの情報	その他
	(n)													
全体	(1000)	47.2	42.1	34.0	27.3	24.8	22.3	21.9	21.7	17.8	12.2	9.6	8.9	3.5
性別	男性 (501)	43.3	41.9	38.7	23.4	25.5	27.3	20.0	21.4	18.0	12.8	9.6	8.6	5.0
	女性 (499)	51.1	42.3	29.3	31.3	24.0	17.2	23.8	22.0	17.6	11.6	9.6	9.2	2.0
年代	10代 (20)	25.0	25.0	50.0	10.0	45.0	55.0	35.0	20.0	15.0	5.0	5.0	-	10.0
	20代 (157)	33.1	33.1	31.8	20.4	32.5	26.1	18.5	17.2	17.8	9.6	9.6	8.3	1.3
	30代 (166)	29.5	33.1	31.9	18.7	33.1	27.7	14.5	14.5	15.1	7.8	10.2	7.8	4.8
	40代 (193)	46.1	38.3	33.7	29.0	23.3	25.4	23.3	23.8	17.1	9.3	9.8	10.9	3.6
	50代 (201)	53.2	40.8	35.3	25.4	22.4	19.4	19.9	21.4	17.9	10.4	6.0	7.0	3.0
	60代 (133)	61.7	55.6	30.1	32.3	21.1	18.8	27.1	27.8	21.1	18.0	10.5	13.5	3.8
	70代 (130)	67.7	60.8	39.2	44.6	11.5	9.2	29.2	27.7	19.2	23.1	13.8	7.7	3.8
地域	23区 (695)	47.6	43.2	34.5	26.3	26.9	23.6	20.7	20.7	18.8	12.4	10.4	8.6	3.7
	市町村 (305)	46.2	39.7	32.8	29.5	20.0	19.3	24.6	23.9	15.4	11.8	7.9	9.5	3.0

Q32. 自転車事故や交通違反を減らすための交通安全教育の場所・場面として最も重要だと思うものをお選びください。(単一回答)

交通安全教育の場所・場面として最も重要だと思うものについて、「学校」が43.9%と最も高く、次いで「地域」が25.6%となっています。性別にみると「学校」は男性が41.7%、女性が46.1%となり、女性のほうが4.4ポイント高くなり、年代別にみると10代が65.0%と最も高く、次いで20代が46.5%となっています。



※ 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

●その他の内容

- ・その他(8件)など

Q33. 自転車に乗る中で、日ごろ不安に感じていることや自信がないことがあれば、お聞かせください。(自由回答)

●自転車の乗り方・マナー・ルールについて<128件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	葛飾区	車道を走らなければいけないのは知っているので守っているが、自転車の走行するスペースがほとんどない。歩道は歩行者に危険(実際自分が歩道を歩いているときに歩道を通る自転車が多すぎて危ない)だし、車道は車道で大してスペースがなく車との距離が近くて怖い。自転車の行き場がない。どこを走行しても自転車が悪者な気がする
男性	30代	国分寺市	自転車は車道を走るように言われるが車との接触のほうがより大きな事故につながると思うが、そのあたりの説明等を聞いたことがない
男性	50代	豊島区	フードデリバリーの事業者等の宅配業者など交通ルールが杜撰なので、特に規制を強化して欲しい
男性	50代	三鷹市	交通ルールを知らないか無視しているのか知らないが、自分勝手な人が多すぎる。また、モベッドが高速で交通ルールを無視してとても危険だと感じています
男性	50代	世田谷区	自分は普段ゆっくりしたスピードでしか走行しないのだが、子供を乗せた母親が前しか見ていないうえにかなりのスピードで走行している。後ろからあおられることはしょっちゅうであり恐怖を感じる
女性	60代	練馬区	自転車が車道を走る事を義務付けられていても、車を運転する方の立場では危険を感じます。子供も老人もいますし、自転車に乗っている人は狭い車道でも脇にも寄らず、堂々と走っています。道路の交通ルールを知らず、また知っていても自転車運転の時は無視している人も多いと思います。信号無視する人が殆どです。自転車への取り締まりはもっと厳しくするべきです。事故が起これば必ず自動車運転者の責任になります

●歩行者との事故に対する不安<52件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	江戸川区	お年寄りが多いスーパーの付近は特に危ない
女性	30代	文京区	曲がり角で人が急に出てきたときにぶつかりそうになる/都内の道は狭いので、人やものにぶつかりそうになる
女性	30代	調布市	周りを一切見ずに横断する人や歩行位置を変える人が怖い。轢かれても文句は言えないと思う
女性	40代	調布市	曲がり角で突然出てきた人や自転車にぶつかりそうで怖い。自分も相手も怪我をしたときの補償が大変
女性	50代	板橋区	子どもの飛び出し/年寄りの蛇行歩き/歩きスマホしている人
女性	60代	目黒区	スマホばかり見て前方を見ない歩行者や4列以上横に並んで歩道を占拠して歩く歩行者を何とかしてほしい

Q33. 自転車に乗る中で、日ごろ不安に感じていることや自信がないことがあれば、お聞かせください。(自由回答)

●車道走行に対する不安<52件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	足立区	私の地域は車道が狭いので、どうしても歩道を走ってしまうこと
女性	30代	八王子市	車に巻き込まれそうになることが多々ある
女性	40代	練馬区	国道等の大きい道路では車道は危なく感じる
男性	40代	板橋区	歩道も路側帯もない、交通量の多い車道を走らざるを得ない道路を走るとき、車との接触などの事故が不安
女性	50代	中央区	自動車が自転車の事を邪魔に思って嫌がらせや同じ車両として認めていないため、危険な幅寄せなどしてくるところ。自動車の運転手のマナーも徹底してほしいです
女性	60代	八王子市	車道は車がすぐそばで怖いので歩道を走ることが多い。自転車専用道路を完備してほしい

●運転能力について(視力・体力・判断力)<37件>

性別	年代	居住地	内容
女性	40代	練馬区	40代になって判断力や視野が狭くなってきて危険認識が悪くなった
女性	60代	板橋区	年齢的に判断力が鈍くなってきた
女性	70代	足立区	高齢なので、近いうちに自転車をやめようとは思っている。自転車で転倒したら、それを契機にしてやめようとは思っているが、それ以前でも体力に不安が大きくなったら、やめようと思っている

●電動アシスト自転車のスピードの速さに対する不安<15件>

性別	年代	居住地	内容
男性	40代	大田区	電動自転車に乗っている人が歩道をすごいスピードで走っていること
男性	50代	目黒区	バイクのように早い電動自転車がある
男性	50代	新宿区	電動アシスト自転車に乗った女性が多く、危険な運転をしていることを頻繁に目撃し、実際にぶつけられそうになった目に何度も遭っています。電動アシストのパワーでかなりのスピードで走行し、交通ルール違反している様子を見かけるたびに何とかしてほしいと毎日思います

Q33. 自転車に乗る中で、日ごろ不安に感じていることや自信がないことがあれば、お聞かせください。(自由回答)

●自動車の路上駐停車<15件>

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	目黒区	タクシーが路肩に駐車していることが多く、車道の左側を走行しているときに怖さを感じる
女性	40代	文京区	車道の端の自転車走行帯を走っていると、そこに駐車中の車があり、一端車道に出なければいけないとき、不安を感じる
女性	70代	板橋区	自転車で車道を走っているときに自動車の駐車が多く恐怖を感じる

●交通事故との遭遇<15件>

性別	年代	居住地	内容
女性	10代	東村山市	事故を起こして最悪の事態を引き起こしてしまう事
男性	20代	豊島区	交通トラブルに見舞われないか/盗難に遭わないか
女性	40代	八王子市	事故に遭うこと/人に怪我をさせること

●雨の日等、悪天候での運転<13件>

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	小金井市	雨の日は見通しが悪い
男性	40代	世田谷区	雨の日は滑りやすい
女性	60代	葛飾区	雨の日、傘をさしている人がいる

●自転車レーン<12件>

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	港区	車道の端にある自転車用道路は通り過ぎる車との距離が近すぎて衝突の不安がある
女性	70代	東村山市	自転車専用道路の少なさ、歩道通行と車道通行をしながらスピードを出して、乗っている人が多いと思う
女性	70代	武蔵村山市	車道に有る自転車走行道路の幅が狭すぎる

Q33. 自転車に乗る中で、日ごろ不安に感じていることや自信がないことがあれば、お聞かせください。(自由回答)

●狭い道での走行<12件>

性別	年代	居住地	内容
男性	10代	調布市	国道沿いの狭い道を走ること
女性	40代	八王子市	とにかく道が狭いのに交通量も多く、わざとギリギリを猛スピードで走る車や左右きちんと確認せず出てくる車等多く怖くて車道なんて走れない。キチンと誰もが安心安全に走れる自転車の道を全部整備して免許みたいに交通ルールもシッカリ説明して、やるべき事を先にしてからにしてほしい。突然取り締まりだけ厳しくするのはおかしい。標識や二段階右折とか言われても分からない
男性	60代	豊島区	狭い車道に出ると危険を感じるし、広い車道も自動車の速度が速く不安

●夜間等、暗くなってからの走行<10件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	東大和市	夜間ライトをつけてない人が想像以上にいること
女性	50代	足立区	夜間ライトを点灯していない自転車をよく見かける
女性	60代	足立区	暗くなってからの無灯火運転は怖い

●自転車のメンテナンス<9件>

性別	年代	居住地	内容
女性	10代	三鷹市	パンクに対する対応
男性	30代	板橋区	ブレーキ・タイヤの手入れ
男性	30代	板橋区	メンテナンスをしていないので壊れないか不安がある

Q33. 自転車に乗る中で、日ごろ不安に感じていることや自信がないことがあれば、お聞かせください。(自由回答)

●子供を乗せて走る自転車<8件>

性別	年代	居住地	内容
女性	40代	世田谷区	子供を2人乗せて運転している時に倒れてしまうと1人で自転車を起こすことができないので、大事故に巻き込まれないか不安
男性	70代	港区	歩道での子供を乗せた女性のスピード感覚が皆無/スピードの出し過ぎ
女性	70代	江戸川区	子供を乗せている電動自転車のスピードなど若い人は結構無謀な運転が多いので前後を走っているときはとても怖い/子供が小さい自転車で親の後を、一生懸命に自転車をこいでいるときなぜ親は自分の前に子供を走らせないのか、小さい自転車で親に追いつこうとして後ろから懸命な速さでこいでいる姿がとても危ないし実際転んでいたのを目撃した時、親は気が付かないでいたのを見てとても危険だと思った

●交通量の多いところでの走行の不安<7件>

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	目黒区	交通量の多い車道を走るとき、道路が狭く危険を感じる
女性	30代	目黒区	交通量が多いところや人通りが多いところだとぶつかりそうになる
女性	60代	日野市	交通量の多い道路で、自転車が走るスペースがなく、やむを得ず歩道を通行しなければいけないこと

●その他<22件>

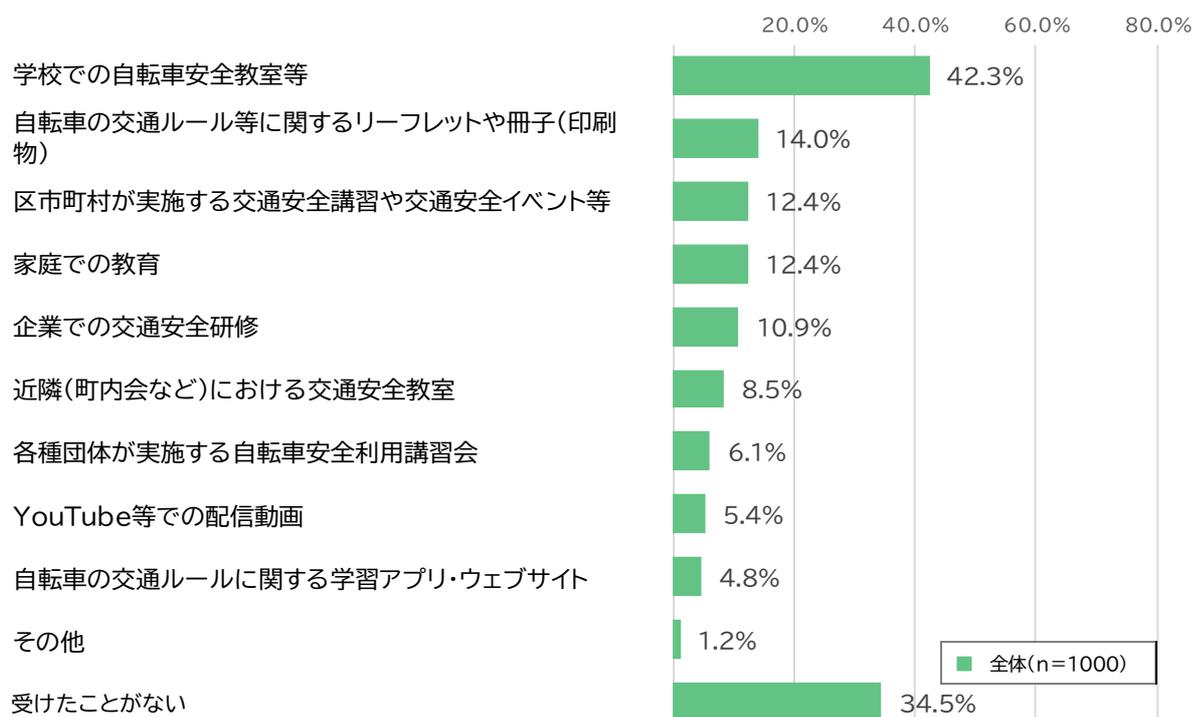
性別	年代	居住地	内容
女性	40代	江戸川区	地面が綺麗に舗装されていない、亀裂などの段差で転びそうになること
女性	50代	三鷹市	車道と歩道の境目に段差があり怖い

## 7.自転車の交通安全教育について

Q35. どのようにして交通安全教育を受けましたか。(複数回答)

(1)全体

どのようにして交通安全教育を受けたかについて、「学校での自転車安全教室等」が42.3%と最も高く、次いで「自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子(印刷物)」が14.0%、「区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント等」「家庭での教育」が12.4%となっています。



### ●その他の内容

- ・免許更新時の講習(2件)など

Q35. どのようにして交通安全教育を受けましたか。(複数回答)

(2)属性別

どのようにして交通安全教育を受けたかについて、性別にみると「学校での自転車安全教室等」は男性が39.9%、女性が44.7%となり、女性のほうが4.8ポイント高くなっています。

年代別にみると「学校での自転車安全教室等」は10代が60.0%と最も高く、次いで40代が50.3%となっています。「自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子（印刷物）」は70代が23.8%と最も高く、次いで60代が18.0%となっています。「家庭での教育」では10代が25.0%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

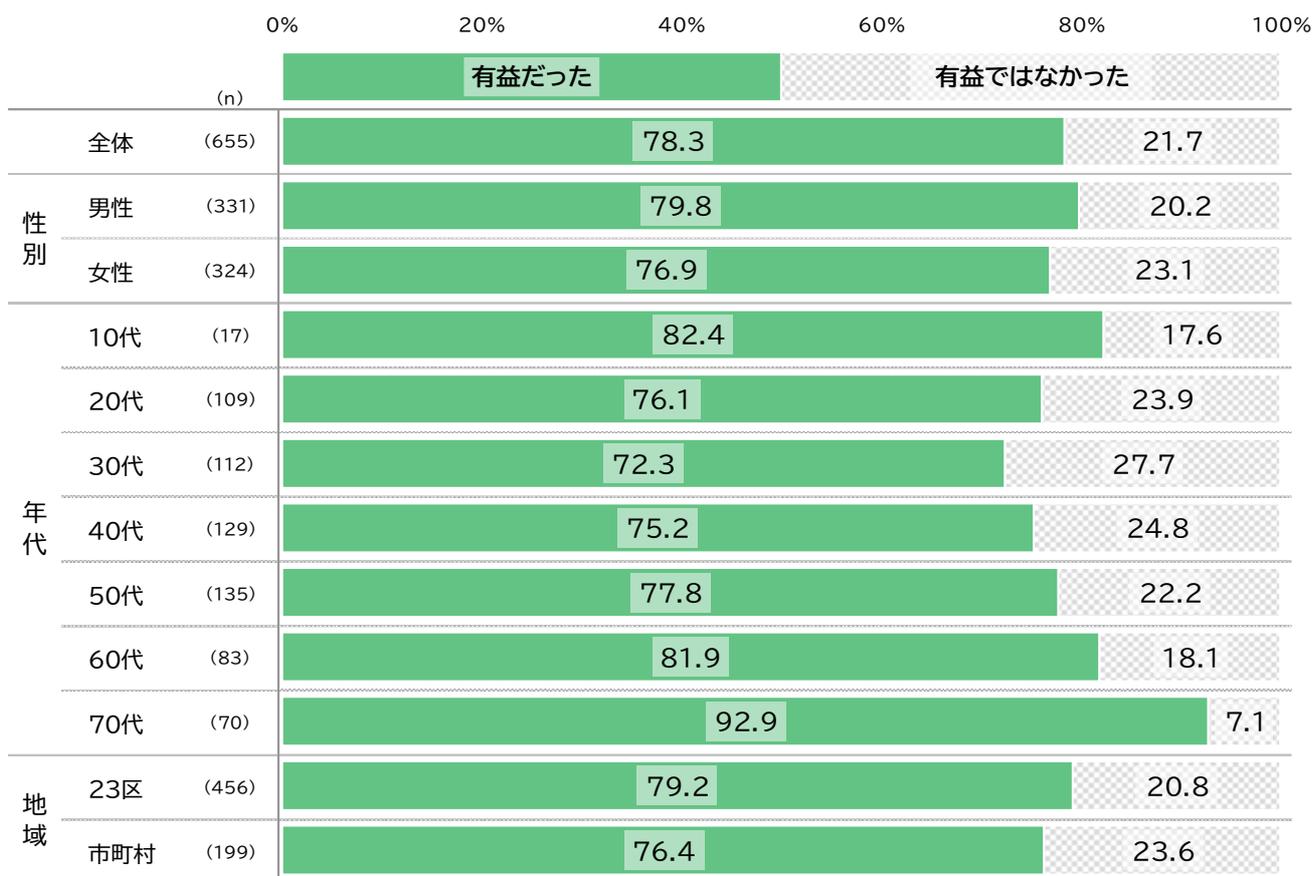
横%		学校での自転車安全教室等	自転車交通ルール等に関する印刷物	区市町村が実施する交通安全講習	家庭での教育	企業での交通安全研修	近隣（町内会など）における交通安全教室	各種団体が実施する自転車安全利用講習会	YouTube等での配信動画	学習アプリ・通ウエルブサイト	その他	受けたことがない
	(n)											
全体	(1000)	42.3	14.0	12.4	12.4	10.9	8.5	6.1	5.4	4.8	1.2	34.5
性別	男性 (501)	39.9	14.0	12.4	11.4	13.0	8.8	7.6	6.0	5.4	1.6	33.9
	女性 (499)	44.7	14.0	12.4	13.4	8.8	8.2	4.6	4.8	4.2	0.8	35.1
年代	10代 (20)	60.0	15.0	5.0	25.0	10.0	15.0	5.0	-	-	-	15.0
	20代 (157)	42.7	15.3	15.9	9.6	18.5	10.2	8.9	9.6	8.3	-	30.6
	30代 (166)	38.0	12.0	16.3	15.1	9.0	14.5	8.4	3.0	8.4	0.6	32.5
	40代 (193)	50.3	9.8	9.3	11.4	9.3	7.3	4.7	5.2	1.6	1.6	33.2
	50代 (201)	47.3	9.5	10.4	13.4	10.9	5.5	5.5	7.5	2.5	2.0	32.8
	60代 (133)	42.9	18.0	10.5	12.8	9.0	6.0	2.3	3.8	5.3	1.5	37.6
	70代 (130)	24.6	23.8	13.8	10.0	8.5	6.9	6.9	3.1	4.6	1.5	46.2
地域	23区 (695)	42.6	12.7	13.1	12.7	9.4	8.9	5.8	5.9	4.7	1.4	34.4
	市町村 (305)	41.6	17.0	10.8	11.8	14.4	7.5	6.9	4.3	4.9	0.7	34.8

Q36. 交通安全教育での学習内容は有益なものでしたか。(単一回答)  
 <Q35で、「受けたことがない」とした回答者を除く=655人>

(1)全体/属性別

交通安全教育での学習内容は有益だったかについて、「有益だった」とした回答が78.3%となっています。

性別にみると「有益だった」は男性が79.8%、女性が76.9%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が92.9%と最も高く、次いで10代が82.4%となっています。年代が上がるにつれて「有益だった」が高くなる傾向が見られます。



Q36. 交通安全教育での学習内容は有益なものでしたか。(単一回答)

<Q35で、「受けたことがない」とした回答者を除く=655人>

(2)Q35. 受けたことがある交通安全教育別にみた結果

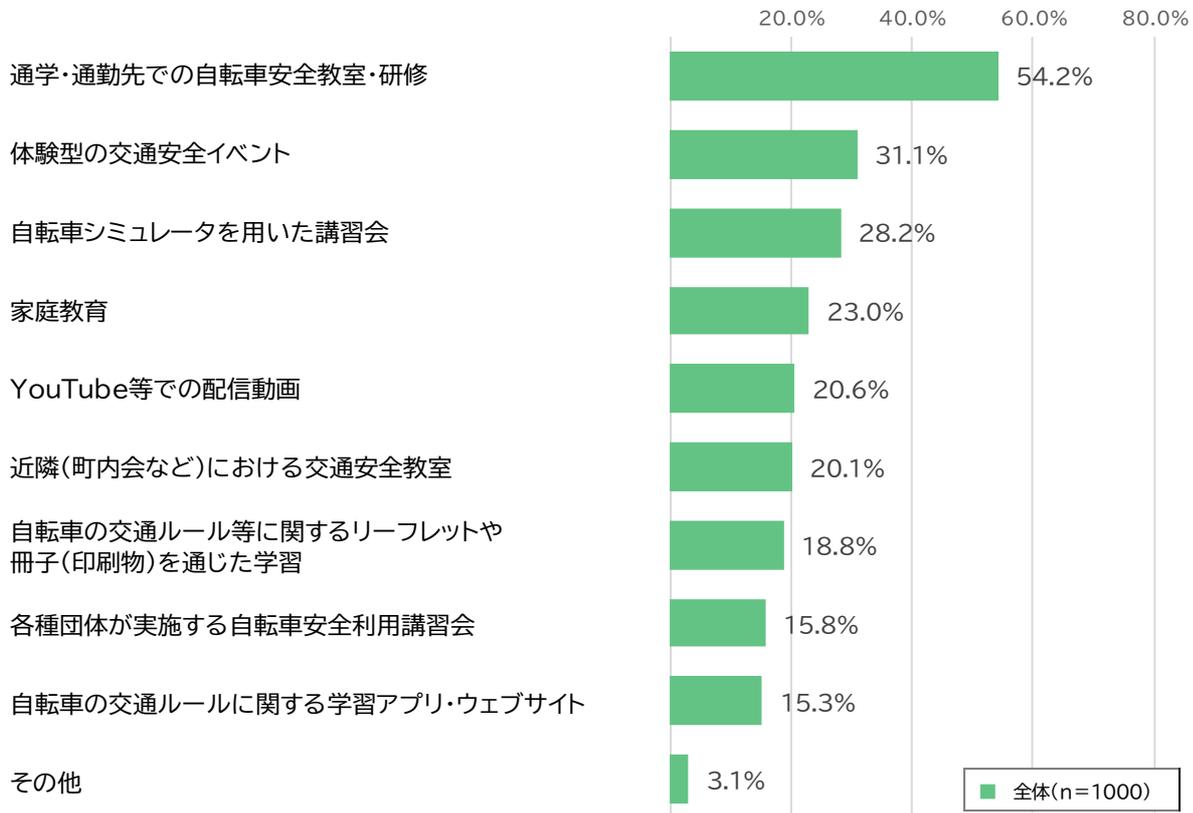
受けたことがある交通安全教育について、「有益だった」とした回答が最も高いのは「自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子（印刷物）」の86.4%となり、次いで「近隣（町内会など）における交通安全教室」が84.7%、「各種団体が実施する自転車安全利用講習会」が83.6%となっています。また、「有益だった」とする回答がすべての交通安全教育で7割を超える結果となっています。

横%		有益 だ っ た	有 益 で は な か っ た
(n)			
全体	(655)	78.3	21.7
Q 3 5 交 通 安 全 教 育	自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子(印刷物)	86.4	13.6
	近隣(町内会など)における交通安全教室	84.7	15.3
	各種団体が実施する自転車安全利用講習会	83.6	16.4
	自転車の交通ルールに関する学習アプリ・ウェブサイト	83.3	16.7
	学校での自転車安全教室等	81.8	18.2
	家庭での教育	80.6	19.4
	企業での交通安全研修	78.0	22.0
	YouTube等での配信動画	77.8	22.2
	区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント 等	77.4	22.6
	その他	(12)	83.3

Q37. 自転車を安全に利用する上で、どのような交通安全教育がより有益であると思いますか。(複数回答)

(1)全体

どのような交通安全教育がより有益であるかについて、「通学・通勤先での自転車安全教室・研修」が54.2%と最も高く、次いで「体験型の交通安全イベント」が31.1%、「自転車シミュレータを用いた講習会」が28.2%となっています。



●その他の内容

- ・取締り強化(2件)など

Q37. 自転車を安全に利用する上で、どのような交通安全教育がより有益であると思いますか。(複数回答)

(2)属性別

どのような交通安全教育がより有益であるかについて、性別にみると「通学・通勤先での自転車安全教室・研修」は男性が51.7%、女性が56.7%となり、女性のほうが5.0ポイント高くなっています。

年代別にみると「通学・通勤先での自転車安全教室・研修」は60代が60.2%と最も高く、次いで50代が58.2%となっています。「体験型の交通安全イベント」は70代が36.9%と最も高く、次いで10代が35.0%となっています。「YouTube等での配信動画」では年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

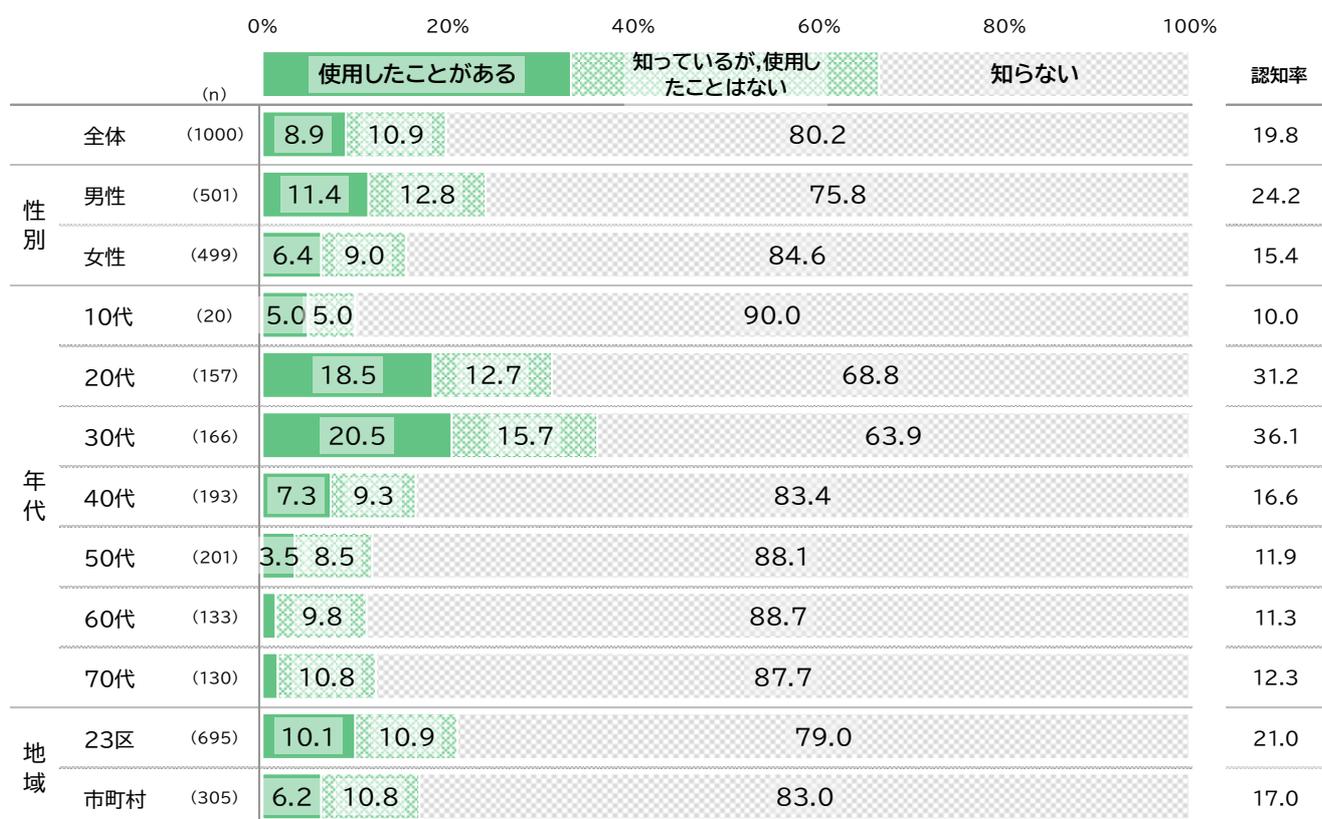
横%		自 通 車 ・ 安 全 教 室 ・ 研 修	体 験 型 の 交 通 安 全 イ ベ ン ト	自 転 車 シ ミュ レー タ を 用 いた 講 習 会	家 庭 教 育	Y o u T u b e 等 で の 配 信 動 画	交 近 通 安 隣 全 （ 町 内 会 な ど ） に お け る 教 室	を リ 自 通 車 の 交 通 ル ー ル 等 に 関 する 通 じ た 学 習 （ 印 刷 物 ）	自 各 種 団 体 が 実 施 す る 自 転 車 安 全 利 用 講 習 会	学 自 転 車 の 交 通 ル ー ル に 関 する ア プ リ ・ ウ ェ ブ サ イ ト	そ の 他
	(n)										
全体	(1000)	54.2	31.1	28.2	23.0	20.6	20.1	18.8	15.8	15.3	3.1
性別	男性 (501)	51.7	26.5	24.6	23.2	21.0	19.2	18.0	14.8	14.0	4.4
	女性 (499)	56.7	35.7	31.9	22.8	20.2	21.0	19.6	16.8	16.6	1.8
年代	10代 (20)	50.0	35.0	25.0	15.0	25.0	10.0	25.0	5.0	35.0	5.0
	20代 (157)	49.0	33.1	21.0	16.6	24.2	14.6	17.8	16.6	12.1	2.5
	30代 (166)	48.2	24.1	32.5	20.5	22.9	16.9	12.0	11.4	11.4	1.2
	40代 (193)	54.4	34.2	30.1	24.4	22.3	19.2	16.6	15.0	17.1	3.6
	50代 (201)	58.2	27.9	24.9	22.9	17.9	14.9	15.4	11.4	11.9	3.0
	60代 (133)	60.2	31.6	28.6	29.3	20.3	25.6	22.6	19.5	15.8	4.5
	70代 (130)	56.2	36.9	33.8	26.9	14.6	36.2	32.3	26.2	23.1	3.8
地域	23区 (695)	52.8	30.8	27.1	23.7	21.3	20.1	19.0	15.4	15.8	3.3
	市町村 (305)	57.4	31.8	30.8	21.3	19.0	20.0	18.4	16.7	14.1	2.6

## 8.スマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」について

Q38. 東京都では、自転車走行の体験学習が可能なスマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」を配信していますが、使用したことがありますか。(単一回答)

自転車走行の体験学習が可能なスマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」を使用したことがあるかについて、「使用したことがある」とした回答が8.9%となっています。一方で「知らない」は80.2%となっています。

性別にみると「使用したことがある」は男性が11.4%、女性が6.4%となり、男性のほうが5.0ポイント高くなっています。年代別にみると30代が20.5%と最も高く、次いで20代が18.5%となっています。一方で10代・40代以上では、8割以上が「知らない」と回答しています。



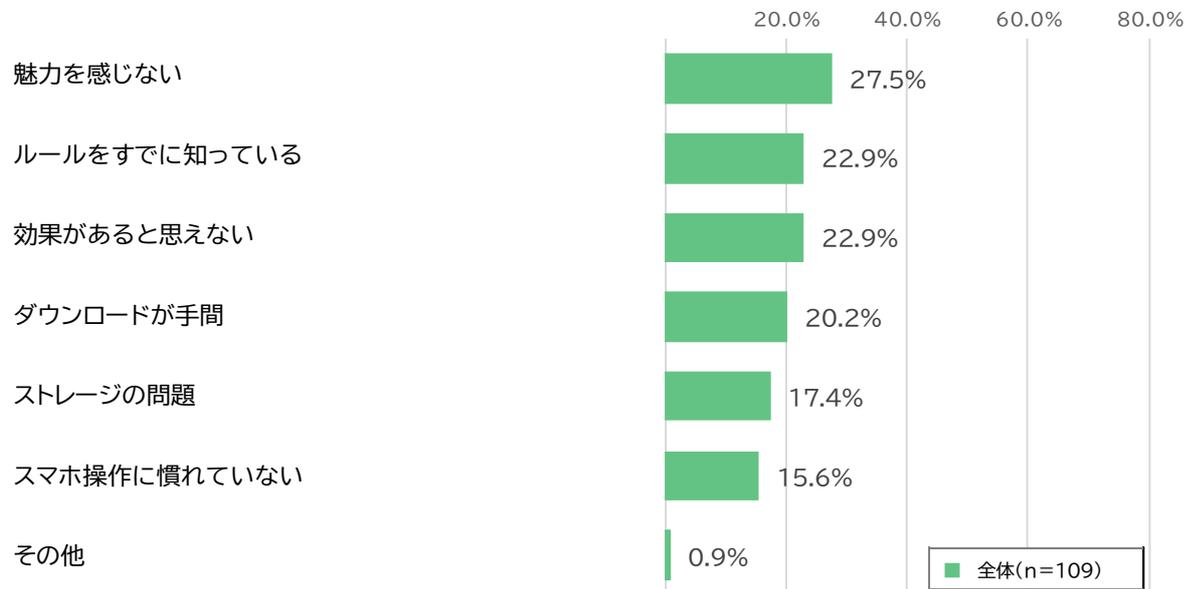
※1 認知率＝「使用したことがある」＋「知っているが、使用したことはない」

※2 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

Q39. (知っているが、使用したことがない)それはなぜですか。(複数回答)  
<Q38で、「知っているが、使用したことがない」とした回答者が対象=109人>

(1)全体

知っているが、使用したことがない理由について、「魅力を感じない」が27.5%と最も高く、次いで「ルールをすでに知っている」「効果があると思えない」が22.9%となっています。



●その他の内容

- ・明確なメリットがないから(1件)

Q39. (知っているが、使用したことがない)それはなぜですか。(複数回答)  
 <Q38で、「知っているが、使用したことがない」とした回答者が対象=109人>

(2)属性別

知っているが、使用したことがない理由について、性別にみると「魅力を感じない」は男性が29.7%、女性が24.4%となり、男性のほうが5.3ポイント高くなっています。

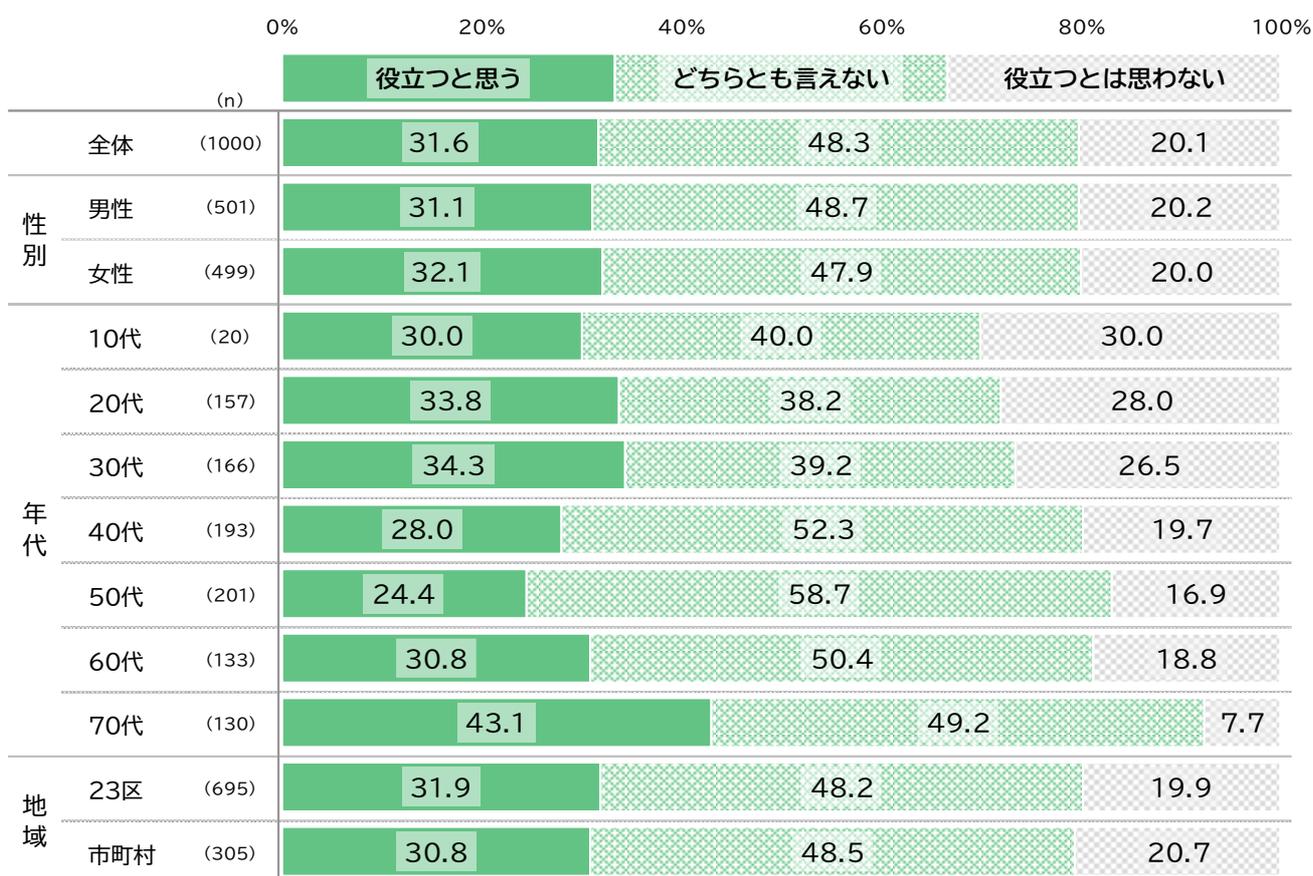
年代別にみると「魅力を感じない」は30代が38.5%と最も高く、次いで50代が35.3%となっています。「ルールをすでに知っている」は70代が50.0%と最も高く、次いで60代が46.2%となりシニア層で高い傾向が見られます。「ダウンロードが手間」「ストレージの問題」では20代が他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		魅力を感じない	ルールをすでに知っている	効果があると思えない	ダウンロードが手間	ストレージの問題	スマホ操作に慣れていない	その他
	(n)							
全体	(109)	27.5	22.9	22.9	20.2	17.4	15.6	0.9
性別	男性 (64)	29.7	31.3	25.0	21.9	17.2	15.6	1.6
	女性 (45)	24.4	11.1	20.0	17.8	17.8	15.6	-
年代	10代 (1)	-	100.0	-	-	-	-	-
	20代 (20)	35.0	10.0	35.0	35.0	40.0	10.0	5.0
	30代 (26)	38.5	15.4	23.1	23.1	15.4	15.4	-
	40代 (18)	16.7	5.6	27.8	11.1	27.8	22.2	-
	50代 (17)	35.3	23.5	5.9	17.6	11.8	17.6	-
	60代 (13)	15.4	46.2	38.5	7.7	-	7.7	-
	70代 (14)	14.3	50.0	7.1	21.4	-	21.4	-
地域	23区 (76)	31.6	21.1	23.7	19.7	17.1	11.8	1.3
	市町村 (33)	18.2	27.3	21.2	21.2	18.2	24.2	-

※ 10代はサンプル数=1のため、コメントは記載していない

Q40. "輪トレ"を含めた自転車の交通ルールに関する学習アプリは自転車の安全利用促進に役立つと思いますか。  
(単一回答)

自転車の交通ルールに関する学習アプリは自転車の安全利用促進に役立つと思うかについて、「役立つと思う」とした回答は31.6%となっています。一方で「役立つとは思わない」は20.1%となっています。性別にみると「役立つと思う」は男性が31.1%、女性が32.1%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が43.1%と最も高く、次いで30代が34.3%となっています。一方で「役立つとは思わない」は10代が30.0%と最も高く、次いで20代の28.0%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

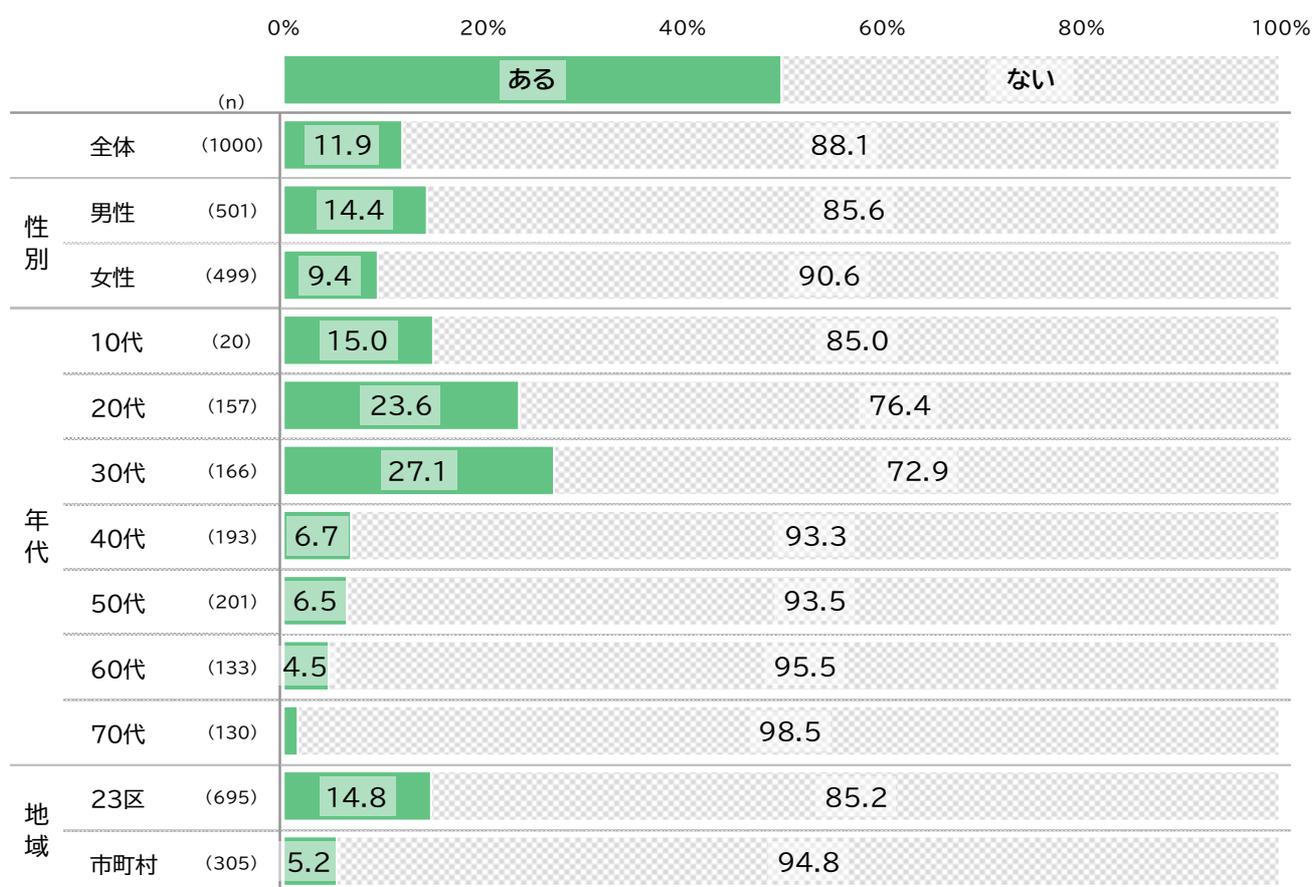


## 9.特定原付（電動キックボード等）について

Q41. これまでに特定原付(電動キックボード等)を利用したことがありますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

特定原付（電動キックボード等）を利用したことがあるかについて、「ある」とした回答が11.9%となっています。「ない」は9割に及ぶ結果となっています。性別にみると「ある」は男性が14.4%、女性が9.4%となり、男性のほうが5.0ポイント高くなっています。年代別にみると30代が27.1%と最も高く、次いで20代が23.6%となっています。30代以下で利用経験が高い結果となっています。

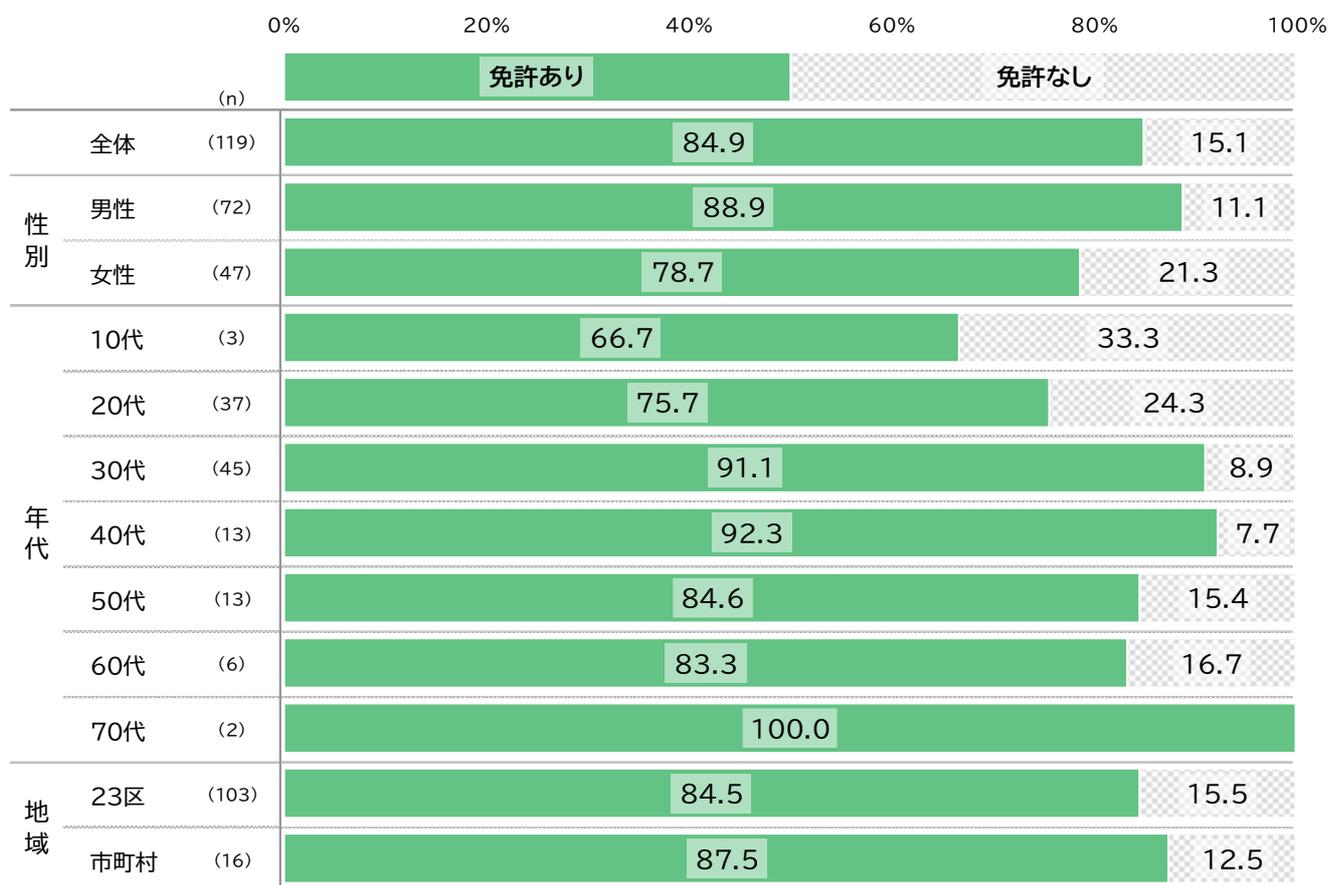


※ 2%未満の値はグラフ内での数字表記を割愛

Q41. これまでに特定原付(電動キックボード等)を利用したことがありますか。(単一回答)

(2) 特定原付(電動キックボード等)の利用経験者<n=119>でみた自動車(原動機付自転車を含む)免許の保有率

特定原付(電動キックボード等)の利用経験者における自動車(原動機付自転車を含む)免許の保有率をみると、「免許あり」が84.9%となっています。女性や20代では「免許なし」が他の層よりも高い結果となっています。

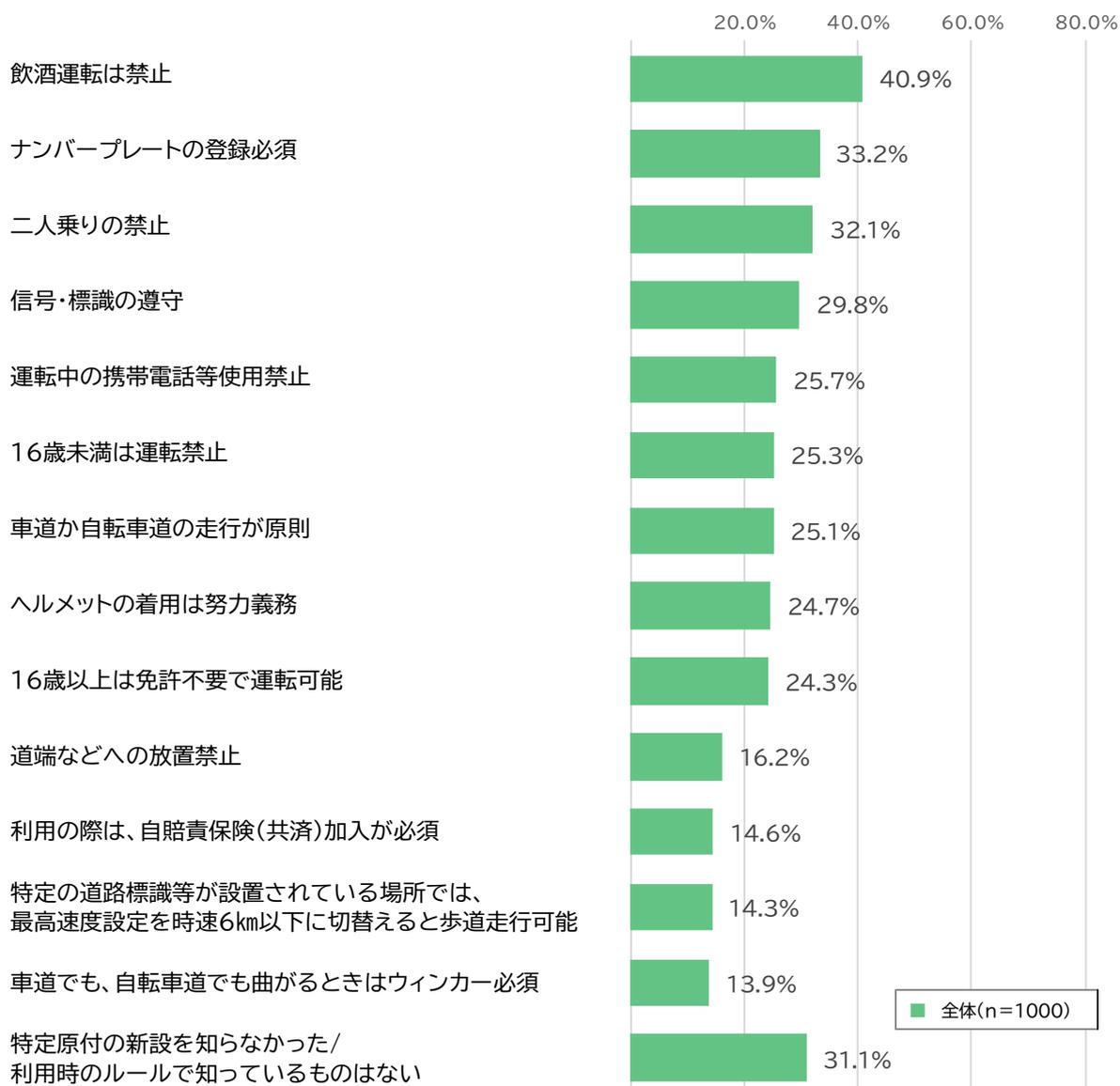


※ 10代はサンプル数=3のため、コメントは記載していない

Q42. 特定原付(電動キックボード等)利用時のルールのうち、あなたが知っているものをすべてお選びください。  
(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）利用時のルール認知について、「飲酒運転は禁止」が40.9%と最も高く、次いで「ナンバープレートの登録必須」が33.2%、「二人乗りの禁止」が32.1%となっています。一方で「特定原付の新設を知らなかった/利用時のルールで知っているものはない」は31.1%となっています。



Q42. 特定原付(電動キックボード等)利用時のルールのうち、あなたが知っているものをすべてお選びください。  
(複数回答)

(2)属性別

特定原付(電動キックボード等)利用時のルール認知について、性別にみると「飲酒運転は禁止」は男性が39.9%、女性が41.9%となり、男女間で大きな差は見られません。ただ、「ナンバープレートの登録必須」では男性が36.7%、女性が29.7%となり、男性のほうが7.0ポイント高くなっています。

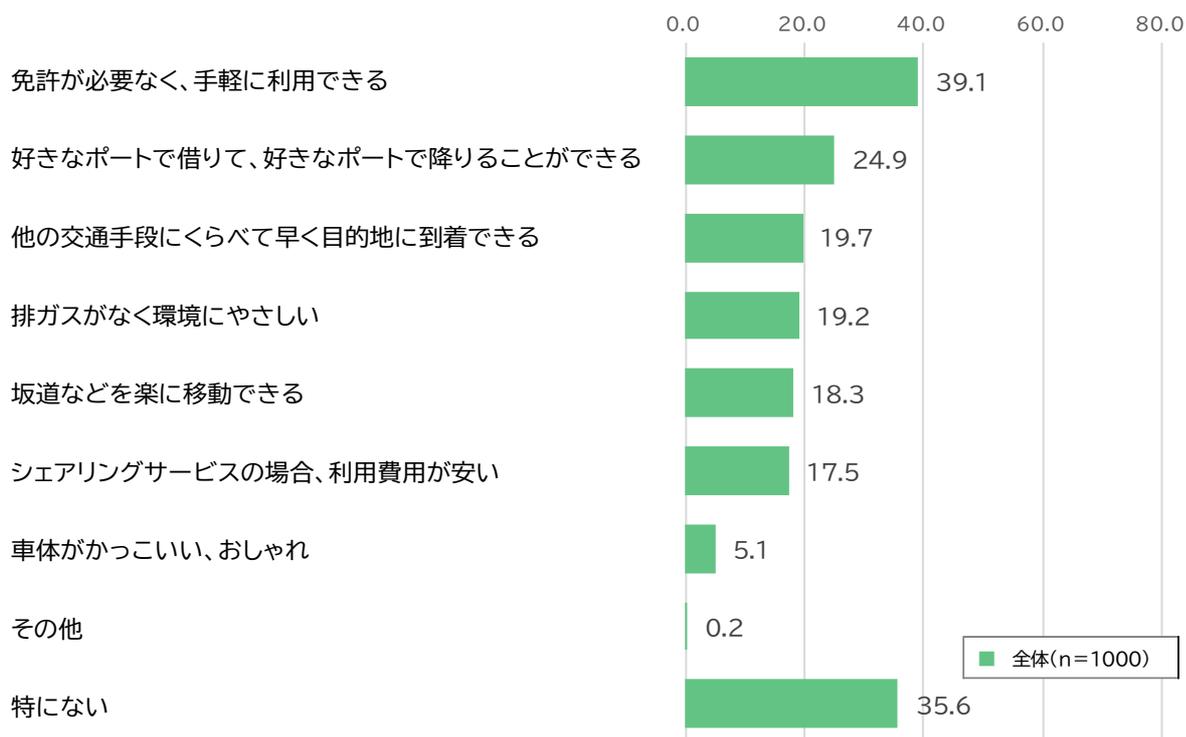
年代別にみると「飲酒運転は禁止」は10代が60.0%と最も高く、次いで70代が54.6%となっています。「ナンバープレートの登録必須」は70代が42.3%と最も高く、次いで60代が41.4%となりシニア層で高い傾向が見られます。一方で「特定原付の新設を知らなかった/利用時のルールで知っているものはない」では20代が38.2%と最も高く、次いで50代が35.3%となっています。

横%		飲酒運転は禁止	ナンバープレートの登録必須	二人乗りの禁止	信号・標識の遵守	運転中の携帯電話等使用禁止	16歳未満は運転禁止	車道か自転車道の走行が原則	ヘルメットの着用は努力義務	16歳以上は免許不要で運転可能	道端などへの放置禁止	利用の際は、自賠責保険(共済)加入が必須	特定の道路標識等が設置されている場所では、最高速度設定を時速6km以下に切替えると歩道走行可能	車道でも、自転車道でも曲がる時はウィンカー必須	特定原付の新設を知らなかった/利用時のルールで知っているものはない	
(n)																
全体	(1000)	40.9	33.2	32.1	29.8	25.7	25.3	25.1	24.7	24.3	16.2	14.6	14.3	13.9	31.1	
性別	男性	(501)	39.9	36.7	31.1	29.1	26.7	27.1	25.9	27.3	25.9	15.6	17.2	16.8	16.2	29.5
	女性	(499)	41.9	29.7	33.1	30.5	24.6	23.4	24.2	22.0	22.6	16.8	12.0	11.8	11.6	32.7
年代	10代	(20)	60.0	20.0	40.0	35.0	35.0	35.0	15.0	5.0	20.0	30.0	5.0	10.0	5.0	20.0
	20代	(157)	35.7	26.1	24.8	20.4	21.7	22.9	22.3	23.6	22.3	14.6	15.9	20.4	18.5	38.2
	30代	(166)	37.3	30.7	28.3	22.3	21.1	21.1	22.9	22.9	16.9	14.5	17.5	14.5	14.5	30.7
	40代	(193)	38.3	33.7	30.1	28.0	21.8	24.9	21.2	21.8	25.9	16.1	14.5	11.4	13.0	31.6
	50代	(201)	34.8	30.3	25.4	26.9	17.9	23.9	21.9	23.4	22.4	12.9	10.9	12.4	10.4	35.3
	60代	(133)	48.1	41.4	36.8	36.8	33.8	27.1	30.8	27.1	30.1	17.3	12.0	14.3	10.5	26.3
	70代	(130)	54.6	42.3	53.1	50.0	44.6	33.1	37.7	35.4	31.5	22.3	19.2	14.6	19.2	22.3
地域	23区	(695)	41.7	34.0	34.0	29.5	26.5	25.2	25.5	25.0	23.6	17.6	16.0	15.1	13.7	29.5
	市町村	(305)	39.0	31.5	27.9	30.5	23.9	25.6	24.3	23.9	25.9	13.1	11.5	12.5	14.4	34.8

Q43. あなたが特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。特定原付(電動キックボード等)を利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。(複数回答)

(1)全体

特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う理由について、「免許が必要なく、手軽に利用できる」が39.1%と最も高く、次いで「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」が24.9%、「他の交通手段にくらべて早く目的地に到着できる」が19.7%となっています。一方で「特にない」は35.6%となっています。



●その他の内容

- ・その他(1件)など

Q43. あなたが特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。特定原付(電動キックボード等)を利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。(複数回答)

(2)属性別

特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う理由について、性別にみると「免許が必要なく、手軽に利用できる」は男性が39.5%、女性が38.7%となり、男女間で大きな差は見られません。

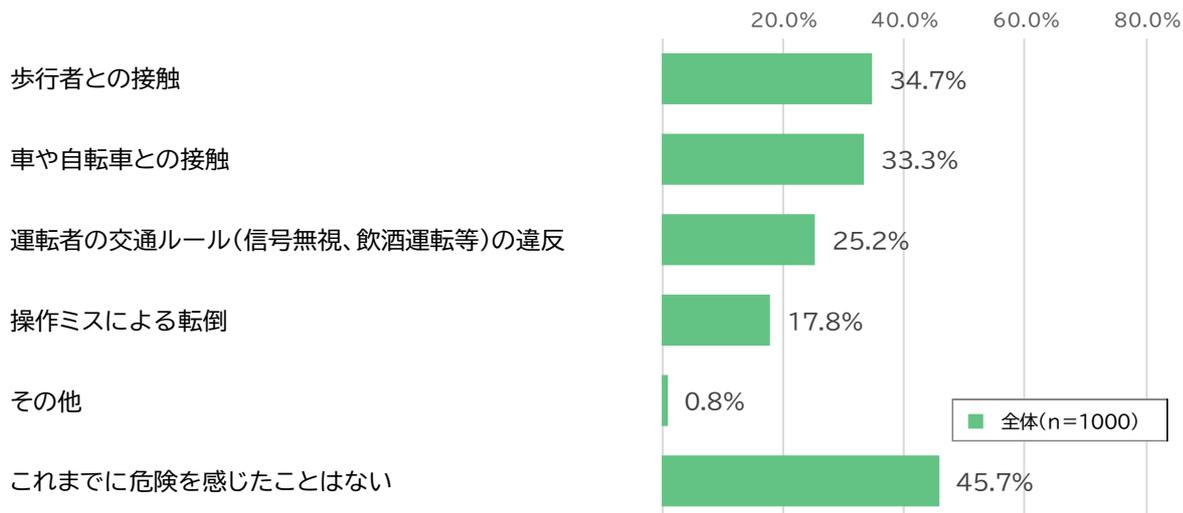
年代別にみると「免許が必要なく、手軽に利用できる」は10代が55.0%と最も高く、次いで70代が53.1%となっています。「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」は10代が35.0%と最も高く、次いで30代が30.1%となっています。「シェアリングサービスの場合、利用費用が安い」「車体がかっこいい、おしゃれ」では30代以下が他の年代よりも高いことが特徴です。一方で「特にない」は60代が43.6%と最も高く、次いで50代が37.8%となっています。

横%		免許が必要なく、 手軽に利用できる	好きなポートで 借りることができる	早他の く交通 目地的 手段に 到着で できる	排ガ スが なく 環境 にや さしい	坂道 など を楽 に移動 できる	シ ア リ ン グ サ ー ビ ス の 場 合 、 利 用 費 用 が 安 い	車 体 が か っ こ い い 、 お し ゃ れ	そ の 他	特 に な い
(n)										
全体	(1000)	39.1	24.9	19.7	19.2	18.3	17.5	5.1	0.2	35.6
性別	男性 (501)	39.5	24.8	17.8	17.2	17.4	18.6	4.8	0.2	35.5
	女性 (499)	38.7	25.1	21.6	21.2	19.2	16.4	5.4	0.2	35.7
年代	10代 (20)	55.0	35.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	25.0
	20代 (157)	33.1	28.0	24.2	15.3	12.7	25.5	11.5	-	35.7
	30代 (166)	38.6	30.1	18.7	18.7	15.7	21.1	8.4	-	30.1
	40代 (193)	36.3	25.9	18.7	19.2	18.1	15.0	3.1	0.5	34.2
	50代 (201)	40.3	18.4	18.4	15.4	17.9	15.4	1.5	0.5	37.8
	60代 (133)	33.1	22.6	15.0	19.5	18.8	12.8	1.5	-	43.6
	70代 (130)	53.1	23.8	23.8	30.0	28.5	14.6	3.1	-	34.6
地域	23区 (695)	38.1	25.9	19.6	19.1	18.1	18.1	5.5	0.1	35.3
	市町村 (305)	41.3	22.6	20.0	19.3	18.7	16.1	4.3	0.3	36.4

Q44. これまでに、特定原付(電動キックボード等)の利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。電動キックボードを利用している際に感じたこと、電動キックボードを利用している人を見て感じたこと、どちらの立場からでも構いません。(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）の利用時（または利用者を見て）に危険を感じた経験について、「歩行者との接触」が34.7%と最も高く、次いで「車や自転車との接触」が33.3%となり、上位2の経験が拮抗する結果となっています。



●その他の内容

- ・その他(7件)など

Q44. これまでに、特定原付(電動キックボード等)の利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。電動キックボードを利用している際に感じたこと、電動キックボードを利用している人を見て感じたこと、どちらの立場からでも構いません。(複数回答)

(2)属性別

特定原付(電動キックボード等)の利用時(または利用者を見て)に危険を感じた経験について、性別にみると「歩行者との接触」は男性が36.1%、女性が33.3%となり、男女間で大きな差は見られません。ただ「車や自転車との接触」では、男性が35.5%、女性が31.1%となり、男性のほうが4.4ポイント高い結果となっています。

年代別にみると「歩行者との接触」は30代が39.2%と最も高く、次いで40代が36.8%となっています。「車や自転車との接触」は40代が36.3%と最も高く、次いで30代が36.1%となっています。上位2の経験ともに30代・40代が他の年代よりも高いことが特徴です。

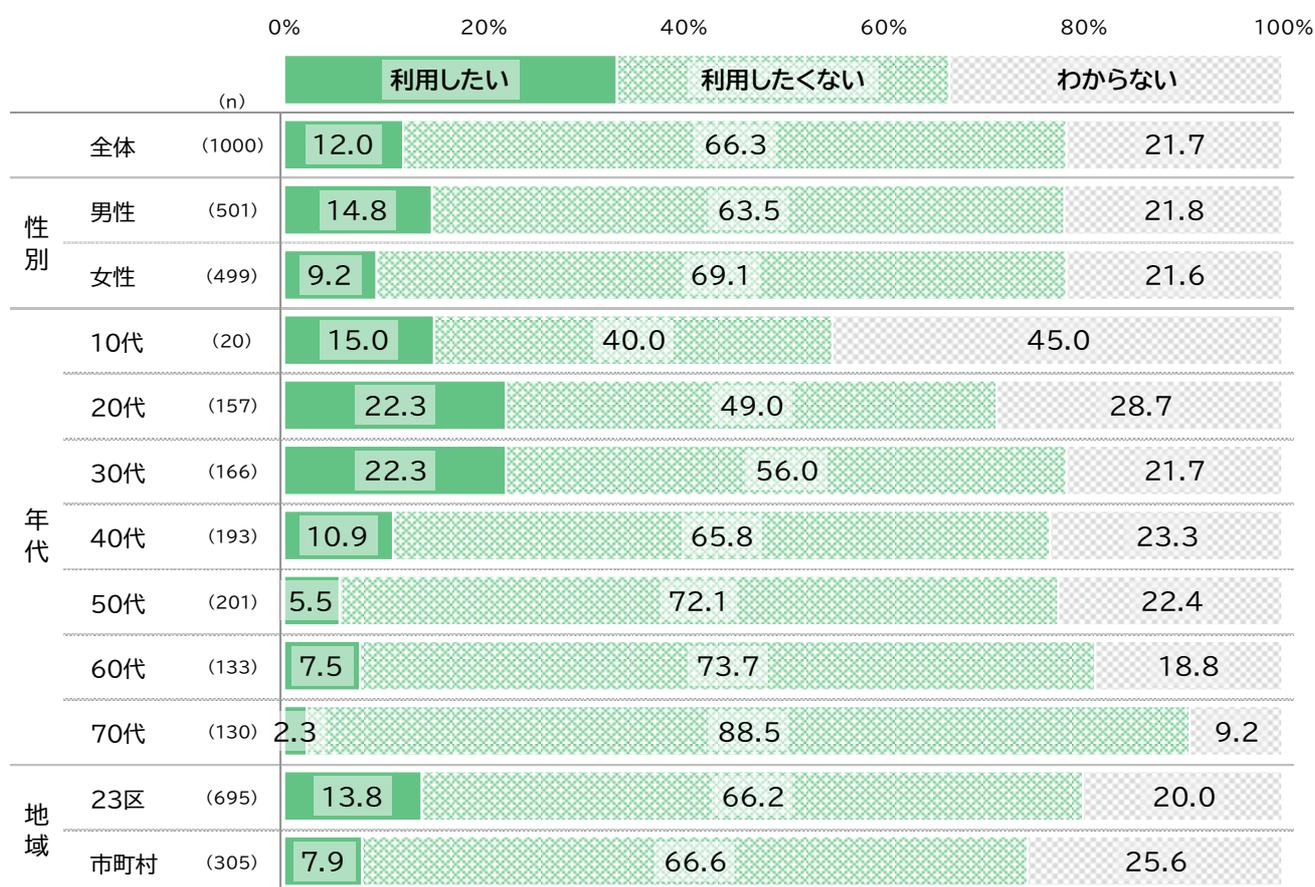
横%			歩行者との接触	車や自転車との接触	(運転者の視覚、アルコール運転等の違反)	操作ミスによる転倒	その他	これまでに危険を感じたことはない	危険を感じたことがある※
	全体	(1000)	34.7	33.3	25.2	17.8	0.8	45.7	54.3
性別	男性	(501)	36.1	35.5	25.7	17.8	1.0	42.7	57.3
	女性	(499)	33.3	31.1	24.6	17.8	0.6	48.7	51.3
年代	10代	(20)	15.0	25.0	15.0	30.0	-	55.0	45.0
	20代	(157)	28.0	31.8	21.0	20.4	0.6	49.7	50.3
	30代	(166)	39.2	36.1	26.5	19.9	-	36.1	63.9
	40代	(193)	36.8	36.3	25.9	21.2	0.5	42.5	57.5
	50代	(201)	34.8	33.8	26.9	13.9	1.0	44.8	55.2
	60代	(133)	35.3	30.1	24.1	12.0	0.8	52.6	47.4
	70代	(130)	36.2	30.8	27.7	16.9	2.3	50.8	49.2
地域	23区	(695)	37.4	36.8	27.5	19.0	0.7	41.4	58.6
	市町村	(305)	28.5	25.2	20.0	15.1	1.0	55.4	44.6

※「危険を感じたことがある」の割合は、全体/属性別の回答者から「これまでに危険を感じたことはない」とした回答者を除いて算出した値  
 ex)男性のみ「危険を感じたことがある」=57.3%の算出

→100.0% - (「これまでに危険を感じたことはない」とした回答者の割合=42.7%)=57.3%

Q45. 特定原付(電動キックボード等)を今後利用したいと思いますか。(単一回答)

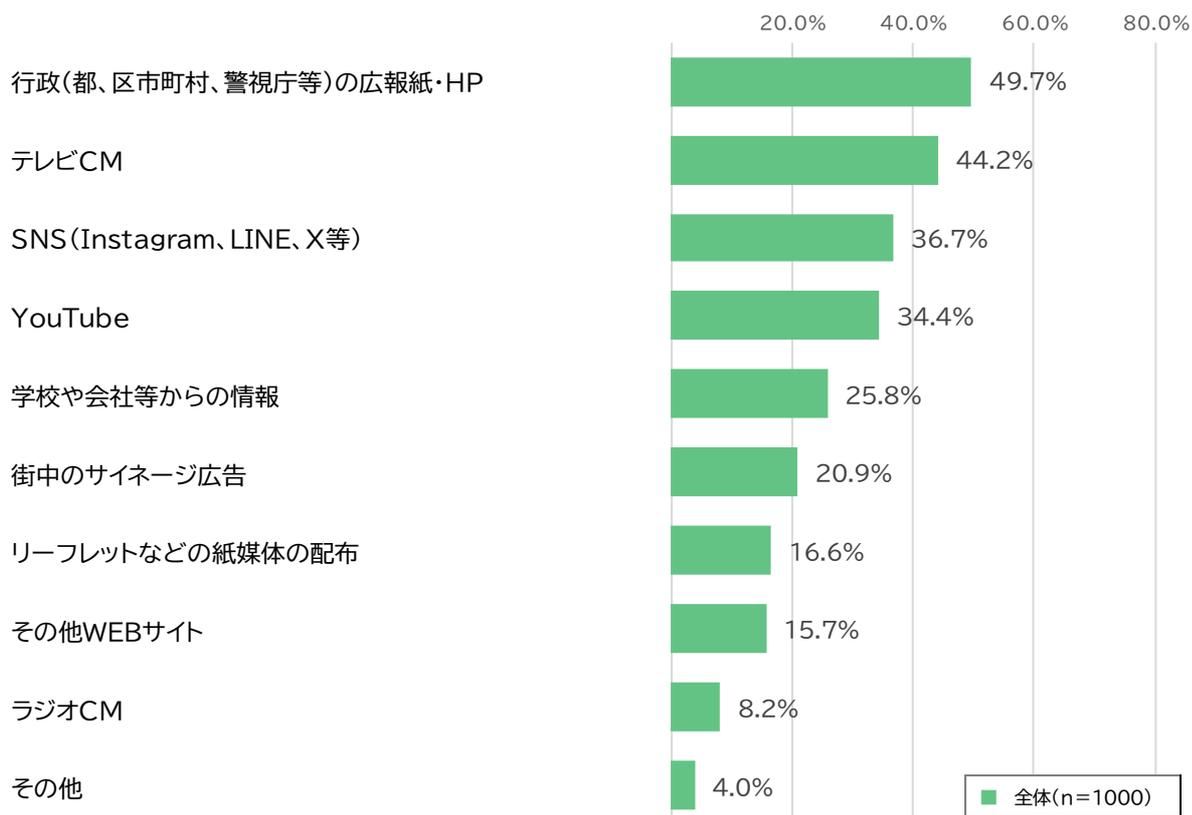
特定原付（電動キックボード等）を今後利用したいかについて、「利用したい」とした回答が12.0%となっています。一方で「利用したくない」は66.3%となっています。性別にみると「利用したい」は男性が14.8%、女性が9.2%となり、男性のほうが5.6ポイント高くなっています。年代別にみると20代・30代が22.3%と最も高い結果となり、他の年代よりも高いことが特徴です。



Q46. 特定原付(電動キックボード等)の利用者に交通ルールを周知してもらうためには、どのような広報手段が有効だと思いますか。(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）の交通ルールを周知してもらうための有効な広報手段について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が49.7%と最も高く、次いで「テレビCM」が44.2%、「SNS（Instagram、LINE、X等）」が36.7%となっています。行政からの発信が有効とする回答が半数近くとなっています。



●その他の内容

- ・テレビ番組、テレビニュース(5件)など

Q46. 特定原付(電動キックボード等)の利用者に交通ルールを周知してもらうためには、どのような広報手段が有効だと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

特定原付（電動キックボード等）の交通ルールを周知してもらうための有効な広報手段について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が52.1%、女性が47.3%となり、男性のほうが4.8ポイント高い結果となっています。ただ「テレビCM」「学校や会社等からの情報」では、女性の方が7.0ポイント以上高い結果となっています。

年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は70代が71.5%と最も高く、次いで60代が54.1%、「テレビCM」でも70代が68.5%、60代が53.4%と同様の傾向となっています。「SNS（Instagram、LINE、X等）」では、10代が60.0%と最も高く、次いで20代が46.5%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

横%		の行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	テレビCM	L S I N S E ( I n s t a g r a m , X 等 )	Y o u T u b e	学校や会社等からの情報	街中のサイネージ広告	リーフレットなどの紙媒体の配布	その他WEBサイト	ラジオCM	その他
	(n)										
全体	(1000)	49.7	44.2	36.7	34.4	25.8	20.9	16.6	15.7	8.2	4.0
性別	男性 (501)	52.1	40.7	36.3	35.7	21.8	18.8	16.8	18.0	7.6	5.4
	女性 (499)	47.3	47.7	37.1	33.1	29.9	23.0	16.4	13.4	8.8	2.6
年代	10代 (20)	40.0	40.0	60.0	50.0	25.0	15.0	10.0	5.0	5.0	10.0
	20代 (157)	41.4	27.4	46.5	35.0	17.8	17.8	12.1	15.9	8.9	2.5
	30代 (166)	38.0	28.3	39.2	40.4	19.9	15.7	13.3	17.5	3.6	2.4
	40代 (193)	47.2	45.6	34.7	32.6	29.5	20.7	17.1	15.0	11.9	4.7
	50代 (201)	52.2	47.8	32.8	34.3	23.4	22.4	17.4	13.9	7.0	4.5
	60代 (133)	54.1	53.4	31.6	33.8	32.3	26.3	15.0	14.3	9.0	5.3
	70代 (130)	71.5	68.5	32.3	26.9	34.6	24.6	26.9	20.0	9.2	3.8
地域	23区 (695)	50.1	44.0	38.8	34.8	25.2	22.2	17.3	15.8	8.2	4.3
	市町村 (305)	48.9	44.6	31.8	33.4	27.2	18.0	15.1	15.4	8.2	3.3

Q47. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)等の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●規制・取締り強化・免許制<199件>

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	足立区	運転免許の取得と同等の研修は受けさせたほうがいい
男性	30代	足立区	運転免許同様、別枠でキックボード専用の免許を作るなどの対策をしたほうが良いと思います
男性	40代	北区	自転車よりはモペットなどの違反が多く危険なので取り締まりを強化
男性	40代	板橋区	利用時や運用時の利用者マナーを様々な方面から周知して行くと共に、違反時の罰則の強化が必要/道路などのインフラの整備も必要ではないかと思う
男性	50代	調布市	運転免許のように罰金や点数制度を取り入れると安全に対する意識が変わると思います
女性	60代	杉並区	電動キックボードの危険なシーンそのものは見たことがないが、車道を走っているのを目にすると、ハラハラしてしまうこともある。転倒したら車に巻き込まれるのではないか
女性	60代	練馬区	キックボードは危ないので禁止した方がよい。または少なくとも免許あるいは講習必須にしないと危ない

●乗り方・ルールやマナーの周知<135件>

性別	年代	居住地	内容
女性	10代	豊島区	サービス提供企業が利用者に対して注意喚起を強く行うべきだと思う。例えばアプリなどで利用をする場合には利用前にルール動画の視聴を必須にするなど
男性	30代	板橋区	バイクより制限が緩い分、バイクより危険性を孕んでいるといえるので、安全の啓蒙が求められる
女性	40代	八王子市	自転車もそうだけど分かりやすくキチンとしたルール説明の本を配るとか警察で講習するとか皆が手軽にルールを理解し分かるようにしてほしい
男性	50代	小金井市	せっかく便利な移動ツールが開発されても使う側のモラル、マナー、ルールを守る気持ちがなければ、制限をもっと加えるしかないと思う
女性	60代	葛飾区	一定期間の講習と実習を必須にしてほしい
女性	70代	中野区	住宅地は道幅が狭いところが多いので、自動車から自転車への利用転換は環境や安全面、自由度でもメリットは多い。ルールの周知というと危険性ばかりが強調されがちであるので、メリットを楽しむためのルール徹底というスタンスで発信してほしい

Q47. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)等の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●電動キックボードの危険性<35件>

性別	年代	居住地	内容
女性	40代	三鷹市	キックボードの方の運転と遭遇して何度もヒヤッとしました。スピードがすごいことや急に止まらない事も考えられるので事故が目にかぶし絶対に危ない
女性	50代	三鷹市	車との距離感が近く、横暴な乗り方をする方が多い
男性	70代	練馬区	電動キックボードの事故は増加しており、今の道交法は緩すぎるのもっと厳しい法に変更して欲しい

●歩道での利用制限・利用禁止<15件>

性別	年代	居住地	内容
女性	30代	目黒区	歩道で走行していい通りをわかりやすくサインで出して欲しい
男性	30代	東大和市	歩道を原則走らないことを周知する
女性	40代	葛飾区	歩道禁止にして欲しい

●ヘルメット義務化<13件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	渋谷区	ヘルメット着用必須で免許制度を設けた方が良い
男性	30代	足立区	ヘルメットを義務化すべきだ
男性	50代	江戸川区	ヘルメットの着用と免許は必要

●道路の整備<6件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	目黒区	事故のないように整備も必要
女性	30代	立川市	道の整備が最優先
女性	40代	江戸川区	専用通路を整備してほしい

Q47. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)等の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●その他<87件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	練馬区	もっと多くの人が情報に触れられる機会がほしい
男性	30代	国分寺市	無料の体験型の講習会があったらいい
女性	40代	武蔵村山市	運転技術が乏しい人は講習を受けた方が良いと思う
女性	60代	江戸川区	自転車よりも、原動機付きバイクに近い乗り物という認識が必要だ と思う
女性	70代	国分寺市	交通量が多い時間帯は利用禁止にして欲しい

